令和5年12月15日発行（毎月1回15日発行）第565号

すべての子供の学力を保障する

教育トークライン

1
2024
January
No.565
教育技術研究所

特集

教師の「創意工夫」で躍動する教室

永久保存版！

4・8・1月号限定 TOSS 授業技量検定 高段者の国算授業

小学1年　算数　「粘土と百玉そろばんを使って大きな数を認識する」手塚美和
小学2年　国語　「詩『はんたいことば』（はらだ　なおとも）」井戸砂織
小学3年　算数　「個別最適で『説明する授業』を発展的に授業化する」小嶋悠紀
小学4年　国語　「『手紙』」長谷川博之
小学5年　国語　「情報スキルへの挑戦」椿原正和
小学6年　国語　「『既習事項を用いて説明文を図解させる」授業展開例」谷和樹

中学校の授業実践
英語　「海外の学校との交流にチャレンジしてみませんか？」
高校理科　「地球温暖化の授業」」

一目でわかる 板書術・ノート術

カラーで登場！ 酒井式絵画指導

特別支援教育にも対応
翔和学園のドラマ …… 松尾大輝
プロが教える“教室でできる日本語指導” …… 江副隆秀
学校現場のスペシャリストが教える合理的配慮

デジタル DIGITAL 教育トークライン

トークラインを定期購読頂いている方へ、本誌の内容をより深く理解できる動画と写真が満載のウェブサイトです！

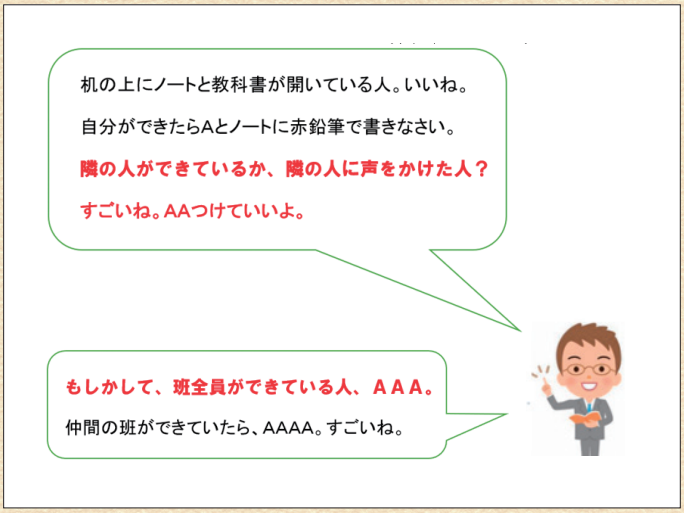
楽しい授業！ 子供たちの目はキラキラ

明日の授業にすぐに役立つ！ 実践的なスキルが満載!!

隣や班ができていることも評価しよう

自分以外を意識できる指示を扱い、声掛けや協力を少し増やしてみよう。

大阪府箕面市立西南小学校 山本東矢（やまもとはるや）



1 本アイディアのメリット

① 隣や班のフォローが当たり前になる。
② 助けたり、声掛けしたりが習慣になる。

2 前提条件

① 六月以降の二年生以上
② クラスの仲がよい。
③ 全員ができている時にこの技を使う（仲間との成功体験づくり、班の仲を良くするために使う）。
④ たまに使う。決して毎回使わない。
⑤ 毎回使うと、できていないときに子供たち同士で責める状況を生みだす可能性があることを知っておく。
⑥ 授業終了三分前に「隣の人も次の時間の準備ができたら休み時間にしますね。できた二人組は手を挙げて、休み時間です」というのをたまにしていて、隣を見るのが当たり前になっている。
⑦ とても遅い子がいる場合はしない。
⑧ 「隣ができた？→班ができた？→仲間の班ができた？」の声掛けの変化は、数か月かけて追加していく。
⑨ 授業の準備など、すぐにできる簡単なことで使う。
⑩ 優しい声掛けをしている子を取り上げて褒める。

3 大事な考え方

「この技だけで、協力を高めようとは思わない」ことがポイントである。
隣を助けている子を見付けて、後で取り上げて褒めるやり方などが王道である（全体の前でするか、通信で紹介するか、名前を出さずに褒めるかは、学年や状況によって変える）。

4 実践後

子供たちが友達に声をかけたり、助けたりするのが常態化してきた。

中学数学の指導

アナログで書かせる分野と、デジタルで進める分野を見極める。

埼玉県さいたま市立指扇中学校
星野（ほしの）優子（ゆうこ）

1　アナログで「書く」練習をする

中一数学、「方程式」の単元である。

方程式の計算では、解き方の習熟はもちろんのこと、式の書き方も指導する必要がある。

これまで、「＝（イコール）」は必ず左側に書いてそろえてきたが、この単元で初めて、真ん中で「＝」をそろえて書くという経験をする。ノートに書くときにも「真ん中イコール」と指示して書かせ、途中で「隣と確認」等、正しい式の書き方をしているかチェックさせている。

また、「移項するときには符号が変わる」ということの意識付けのため、最初は必ず「移項マーク（○や□で囲み、矢印でつなぐ）」を書かせるよう指導。生徒が板書する際にも移項マークを書くように指示し、「＝」が真ん中でそろっているかということと同時に確認している。

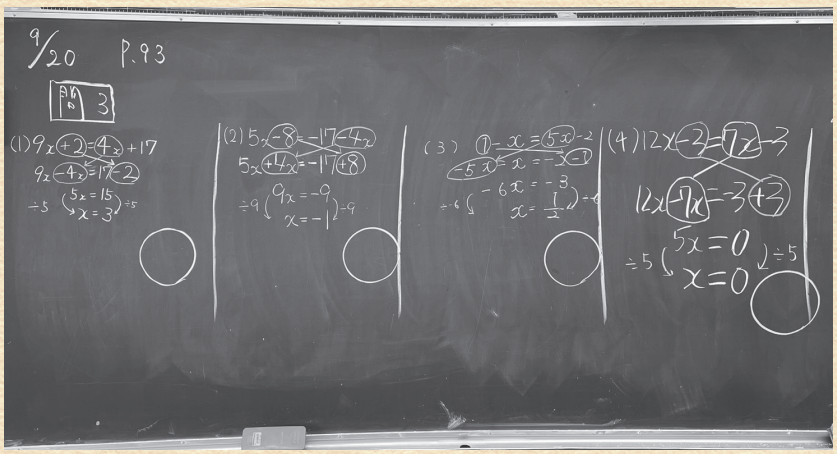
これは、ノートに繰り返し書かせることによって習熟させたい分野である。

黒板に書かせるときにも、黒板全体をゆったりと使って式がはっきり見えるようにし、全員が正しく式を書けるように指導を重ねている。

2　デジタルの活用

中学三年「$y = ax^2$」の単元において、「Geogebra」というフリーソフトを用いてグラフをかかせた。

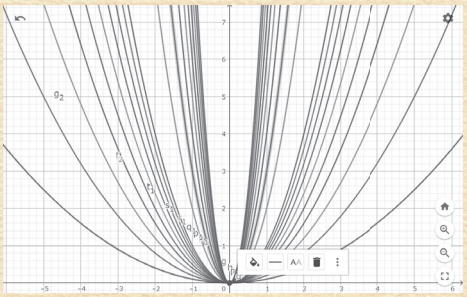
比例定数ａの値を好きに設定させ、グ



ラフを多くかくことによって、グラフの特徴や、aの値によるグラフの変化をそれぞれに読み取っていく。

これまではノートに手作業で何度もグラフをかかせていたが、手でかくとどうしても時間がかかってしまう。自分できれいな放物線のグラフをかけるようになる技能も身に付けさせたいが、優先順位は低いと判断した。

手作業によるグラフの練習は減らし、デジタルの作業を増やすことによって、少ない授業時間でも、生徒が多くのグラフに触れ、自らその特徴を見いだしていく姿が見られた。



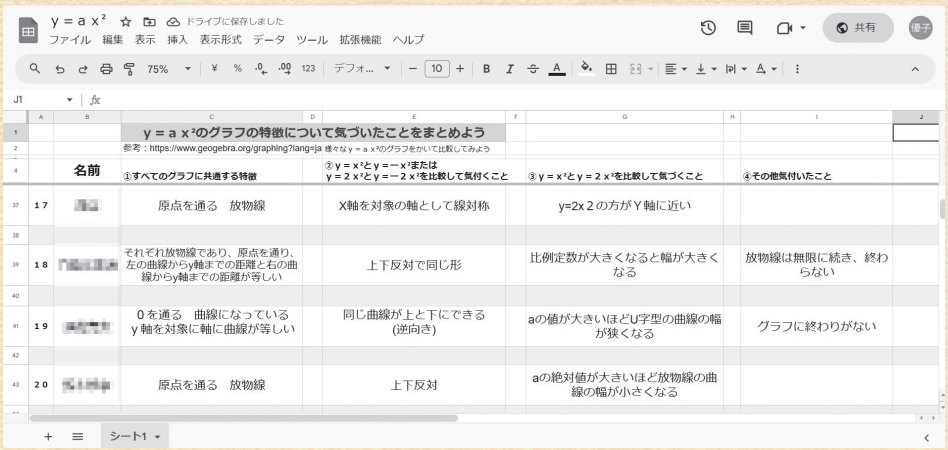
上写真はやんちゃな男子が黙々と作成したグラフの画像だ。全部で二〇本近くのグラフを表示し、放物線が美しく並んだ画面を見て「すげー、すげー」と喜んでいた。その画面を黒板にもプロジェクターで提示。教室からも歓声が上がった。

さらに、グラフを見て気付いた共通点・相違点等をスプレッドシートに記入させ、情報共有を行った。

「グラフがすべて原点を通っている」「比例定数の絶対値が大きいほどグラフが狭くなる」「比例定数の符号が反対になるとx軸を軸として線対称」など、こちらが説明しなくとも、グラフの特徴を生徒が全て発見していった。

さらに、「$y=ax^2$の後ろに＋bを付けると、グラフが上に動く」等、中三で学ぶべき内容を超えた意見も生徒から発見された。これは、ノートに手作業でかいていただけでは絶対に発見できない性質である。

黒板に映し出した画面で実際に動かしてみる。$y=2x^2$のグラフを見せた後、式の最後に「＋3」を加えてエンターキーを押すと、その瞬間にグラフがパッと上に動く。ここでも生徒の歓声が上がった。アナログとデジタルを有効に組み合わせ、指導を重ねたい。



y = a x²のグラフの特徴について気づいたことをまとめよう

参考：https://www.geogebra.org/graphing?lang=ja 様々なy = a x²のグラフをかいて比較してみよう

	名前	①すべてのグラフに共通する特徴	②y = x²とy = −x²またはy = 2 x²とy = −2 x²を比較して気付くこと	③y = x²とy = 2 x²を比較して気づくこと	④その他気付いたこと
17	[redacted]	原点を通る　放物線	X軸を対象の軸として線対称	y=2x 2 の方がＹ軸に近い	
18	[redacted]	それぞれ放物線であり、原点を通り、左の曲線からy軸までの距離と右の曲線からy軸までの距離が等しい	上下反対で同じ形	比例定数が大きくなると幅が大きくなる	放物線は無限に続き、終わらない
19	[redacted]	0を通る　曲線になっている y 軸を対象に軸に曲線が等しい	同じ曲線が上と下にできる (逆向き)	aの値が大きいほどU字型の曲線の幅が狭くなる	グラフに終わりがない
20	[redacted]	原点を通る　放物線	上下反対	aの絶対値が大きいほど放物線の曲線の幅が小さくなる	

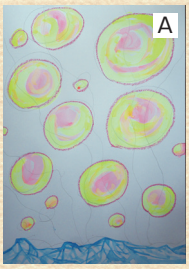
デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます!

大成功の絵画工作授業

魔法のシャボン玉で空を飛んだお話

小人や動物の描写は、存分に描けるようしっかり援助しよう。

酒井式描画指導法
酒井（さかい）臣吾（しんご）



C　雪山から登る上昇気流のような流れは技術的に面倒なように思えるが、意外に大丈夫である。教師が練習しておいて画用紙をくるくると回しながら描かせると良い（後述）。

A　四つ切り画用紙にクレパスで大小のシャボン玉を描き、蛍光オレンジと蛍光ピンクで薄く彩色する。水でしっかりと薄めて彩色すること。特にピンクはかすかに見える程度に。下に空色（セルリアンブルー）で雪山を描いておく。

B　一番大きなシャボン玉の中に楽しそうに遊ぶ小人さんを描く。この試作品はダンスをしたり猫さんと遊んだりしている。

ここはたっぷりと時間をとって他の試作品を見せながら、小人と猫たちの多様な場面を引き出していただきたい。

そのためには、シャボン玉一つ一つの中身を描くための画用紙の位置を描きやすい距離にして描かせること（後述）。

D　右下の猫が吹くシャボン玉が魔法の力で左へ流れていく構図にしてみた。子供たちの好みで、このような構図にするのも良い。

E　下の街並みから立ち昇る気流に乗っ

て昇っていく構図も動的で美しい。これらの絵はぜひ拡大して見てほしい。

F　色相の強い色を控え、明るい色を多用するようにした。清潔な画風になる。

細部はポスカの使用も良い。

G　どの作品にも言えることであるが、動物の絵のポイントになるのは、やはり目玉である。目玉は大きめにしっかりと描くこと。

H　描いているうちに、私は無意識の中で猫が犬に変身してしまっていた。子供たちもそのようなことがよくある。この場面は、子供たちの発想を大切にしてたっぷりと自由に。

I　猫たちは、毛並みを一色で描いてもいいが、ブチ模様や縞模様をつけるとガラリと生命感が高まる。お勧めである。

初心者のためのワンポイントアドバイス

絵を描くときは、描く人と画用紙の距離は、遠いほうがいい。少なくとも五〇センチ以上は必要である。対象物の細部にとらわれずに大きくとらえて表現するためである。

しかし、時には三〇センチ以内に目を近づけなければならない時もある。このシナリオは特にそのような場合が多い。例えば小人さんや動物たちが小さいのに、その中に目鼻を描かねばならない。ぐっと目を近づけて描かないと表情の変化などは全く描けなくなる。

画用紙が四つ切りの場合は特に注意を要する。**腕を伸ばしきっても届かない距離で描かせるのはNG。**

彩色の場合も全く同じである。画用紙をくるくると回して、適正な距離を保つように見守っていただきたい。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます!

4・8・1月号特別企画！ あの高段者の国語・算数授業

28 1年 算数 粘土と百玉そろばんを使って大きな数を認識する D 手塚美和

30 2年 国語 詩はんたいことば」（はらだなおとも） 井戸砂織

32 3年 算数 個別最適で「説明する授業」を発展的に授業化する 小嶋悠紀

34 4年 国語 「手紙」 長谷川博之

36 5年 国語 情報処理スキルへの挑戦 椿原正和

38 6年 国語 「既習事項を用いて説明文を図解させる」授業展開例 D 谷　和樹

「基礎・基本の授業例」と「主体的・対話的で深い学びの授業例」

40 理科 記録カードを仲間分けして明かりがつくつなぎ方を探す D 山内英嗣

41 理科 向山実践の追試と１人１台端末を組み合わせた自由試行 D 山内英嗣

新学習指導要領対応　道徳・英語・オンラインの授業実践

42 道徳 自分を守る力を身に付ける授業プラン 賀本岳陽

43 英語 Lesson8:What would you like? 吉川たえ

44 オンライン Jamboard終了でも大丈夫。子供たちは新しいオンラインホワイトボードを使いこなす D 塩谷直大

45 情報活用 他者参照が可能なツールで「情報の分類」スキルを身に付けさせる D 塩谷直大

中学校（高校）でのTOSS実践

46 英語 海外の学校との交流にチャレンジしてみませんか？ D 白鳥友樹

47 高校理科 地球温暖化の授業 D 上田浩人

向山型に挑戦！ 国語・算数の難問良問

48 木村重夫

特別支援教育 専門家の視点&全国で大人気 “特別支援教育の指導システム”

50 松尾大輝
51 小嶋悠紀
52 笹野達哉
53 江副隆秀 D

クラス全員が熱中するこの教材！ 授業が激変！　TOSS指導法最前線

54 湯本雅行 D
55 西城慶太
55 藤原　司 D
56 小島庸平

働き方改革！ 教師が「やりがい」と向き合うために

57 白鳥友樹 D
58 原田朋哉
59 櫻井愛梨 D
60 渡辺喜男
61 A 中井　光

授業技量向上の法則

62 上田浩人
63 長谷川博之
64 谷　和樹
65 高山佳己
66 板倉弘幸 D
67 林　健広 D

道標：教師としての高みを目指して

特別連載 68 向山行雄
70 西阪　昇
72 堀田和秀

人気女性ライター トークラインだけの裏話

74 師尾喜代子
75 美崎眞弓 D
76 安江　愛

社会貢献活動への取り組み

77 堂前貴美子

78 ◆ 若手道場　谷編集長が斬る！　川村　護
79 ◆ 向山・谷日記　向山洋一／谷　和樹
80 ◆ 今月のデジタル・トークライン／編集後記／次号予告

注意 ①本誌の内容の全部または一部を無断でインターネット等で転載することを禁じます。②向山著作をはじめとするTOSS関連論文を追試、その他の名目でインターネット上で公開することも禁じます。③授業または研究等で必要な場合は、TOSS最高顧問向山洋一までご連絡下さい。④著作権法を無視し続けた場合には、法的措置を取らせていただきます。

CONTENTS
No.565　表紙：信吉

教育トークライン 1月号 2024

特集

教師の「創意工夫」で躍動する教室

12

14　創意工夫から新たな実践が生まれる　向山行雄

〈教師自身が「探究力」を発揮しよう〉

16　サクラなし、ガヤなし、「笑育」で勝負　長谷川博之

17　討論のジレンマを解決した「ICT活用 複線型」で実施する向山型討論　小嶋悠紀

18　本当に必要かどうかは子供の事実が教えてくれる　太田政男

〈隣の教室と違っていいことvsそろえたいこと〉

19　「自由な風土」で教師の仕事は楽しくなる　許　鍾萬

20　違っていいことTop3とそろえたいことTop3　松島博昭

21　管理職の視点から考えるそれぞれ3つの視点　並木孝樹

〈創意工夫を阻害している学校の変な常識〉

22　挨拶させなくていい。まずは活動させる　林　健広

23　形式的なめあてではなく、子供の学力を伸ばすためのめあてとは何かを、議論してほしい　松﨑　力

24　教師が本来やるべき工夫ができない「導入・展開・終末の工夫」　木村重夫

25　本時の目標のためなら授業時間は延びてもいい？　溝端達也

〈働き方改革へのささやかな工夫〉

26　Googleドキュメントのコメント機能で、学級経営交流会を改善する　塩谷直大

27　職員室にモニターを設置して情報共有をする　安江　愛

巻頭論文

10　**オピニオン　今、教育界で起こっていること**
「生成AI」を授業の中で使い倒そう(6)　谷　和樹

写真で解説！　一目で分かる指導のコツ

1　教師の微差力　山本東矢

2　子供が変わる！　授業が変わる！　超凄腕　板書術・ノート術　星野優子

4　大成功の絵画工作授業　酒井臣吾

9　**向山洋一に聞く　教育Q&A**
第53回　A　向山洋一

デジタル・トークライン　http://talkline.tos-land.net
大好評の「お悩み解決！ 谷編集長の5min.アンサー」。今月のテーマは「発問を考えるための修業」です。
その他、必見・必聴の動画や画像、音声を本誌読者に限定公開中！　本誌連動の画像も満載です。　デジタル連動

トークライン読者限定!
お得な2大サービス

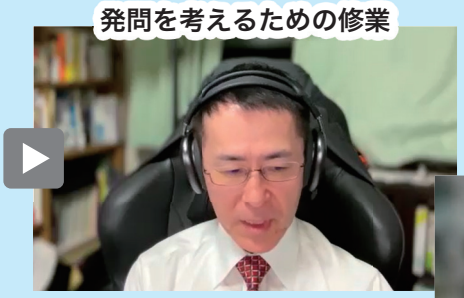
共通パスワード
※有効期間：2023年12月15日～2024年3月14日
（ワイ・さん・アイ・ろく・きゅう・に）
y3i692

WEBサービス
デジタル・トークライン

今月のトークラインID：TL1

アクセス方法
PC・スマホでサイトにアクセス！トップページのログインをクリックし、ID と共通パスワードを入力してください。
※ TOSS-SNS に入会されている方は、SNS からアクセスできます。

●今、ここでしか見られない動画



谷編集長の濃厚すぎる５分間

動画でも視聴できる！
高段者が答えるQ&A

子供の心に響く語り

●ダウンロードコンテンツ

本誌 PDF をダウンロードできます！

●ご紹介に使える「お試し版」

※そのほかにもコンテンツがいっぱい！（詳しくは P80）

TOSS教材をお得に購入
トークライン会員クーポン

上記の共通パスワードが会員クーポンになります！
COUPON

トークライン購読者限定で、TOSS 教材を割引価格でお申込みいただけるお得なサービスです！
トークラインをご購読いただいております、皆様が対象ですのでぜひご利用ください。

●サービス内容

サービス開始 2023 年 4 月号より

特典 TOSS オリジナル教材 HP にて、『教育トークライン』誌上に記載された「共通パスワード」を入力すると、 割引価格で教材をご購入できます！

ご利用条件
・Web 注文限定（TOSS オリジナル教材　https://www.tiotoss.jp）
・TOSS オリジナル教材の会員登録が必要となります。
・1回のご注文金額が 3,000 円以上の場合利用可能です。

※一部、対象外商品がございます。
詳細については、こちらをご確認ください。➡
https://www.tiotoss.jp/user_data/talk-line_coupon.php

第53回

研究授業の取り組み方②

回答：向山 洋一（むこうやま よういち）
（TOSS最高顧問）
質問：師尾 喜代子（もろおき よこ）
（TOSS中央事務局）

Q 研究授業について、指導案の作り方を教えてください。

十二月号では研究授業の取り組み方について、単元のどこをやるのかというお話までお聞きしました。その後の進め方について、指導案の作り方などを詳しくお願いします。

A たくさんの研究授業を調べ、学校の研究テーマに近いものを吟味し、自分のやりたいことを付け加えます。

授業する場面を決めるときには、重点を明確化することが必要です。

まず、その場面を授業化するにあたって、自分の学校の研究の中で、どこを重点にするのかを考えます。例えば、授業全体の組み立てを重点にする。討論の授業を行う場合は、討論のやり方を重点にする。あるいは、ノートの取り方を重点にする。研究によって重点がありますから、そこをはっきりとさせておかないとぐちゃぐちゃした授業になってしまいます。

どんな教科のどの単元であろうと、日本中を探せば、たくさんの人が研究授業をしていますから、インターネットその他で調べることは重要です。十くらいの授業案を調べればいいでしょう。その中で、自分の考えに近いものを探します。

めぼしいものが見付かったら、自分の学校の研究テーマに沿った形に近い指導案を吟味します。その上で自分ならどうするかを考えて、自分のやりたいことを付け加えていきます。

自分なりのものを付け加えずにそのまま行っても、きちんと調べているのですから悪くはありません。しかし、点数を付ければ五五点くらいです。自分なりに様々なねらいを考え、きちんと重点を絞ってやっていくということが必要でしょう。

その次に大事なのは発問の系列です。

どの発問を最初にして、次にどの発問をして、最後にどういう形でまとめるかということです。そういった基本的な授業の四五分間の流れを組み立て、教材と格闘しながら、指導案をどれだけ読ませるか、どんな発問をするのかということを具体化していくのです。

「生成AI」を授業の中で使い倒そう(6)

ChatGPTの苦手なことと得意なことを授業し、子供たちに体感させよう。生成AIは非常に便利な道具だが、単に情報や答えを求めるためだけに使っても意味がない。どんな内容を生成させるのか、そのクリエイティブなプロンプト（指示・命令）をこそ、子供たちに考えさせたい。それは人間しかできない思考である。

本誌編集長
谷（たに） 和樹（かずき）

一 「口に二画」をChatGPTに命令する

口という漢字に二画付け足して別の漢字をつくる

という授業がある。原実践は向山洋一氏である。有名な授業だ。

この課題をChatGPTにやらせた報告を見た。愛知の辻先生である。おもしろい発想だと思った。

氏のプロンプトは次である。

漢字を探して示します。口という三画の漢字があります。

この口という漢字に一画付け足すとできる漢字があります。例えば日、中です。

では、口という漢字に二画付け足すとできる漢字があります。すべて示して下さい。

ChatGPTは正しく答えられなかった。

何度かやり取りしたが結局難しかったようだ。そうだろうなと思った。

ChatGPTは、こういう検索は得意ではないのだ。

私も辻氏の追試をやってみた。私はプロンプトを次のようにした。

口という漢字の画数は三画です。

これにあと二画付け足すと画数が五画の別の漢字ができます。

例えば田です。

このように、口にあと二画付け足してできる五画の漢字を、日本の常用漢字の中からすべて探してください。

ChatGPTはやはり間違えた。

間違えたので、何度かやり取りして教えたが、やはり難しかった。

口に二画付け加えてできる漢字は、常用漢字の範囲では二七個ある。そのように、漢字辞典やWebで調べて答えが確定するものを、わざわざChatGPTに答えさせる意味はあまりない。

しかし、生成AIそのものの性質を学ぶための試みとしてはおもしろい。

子供たちにもやらせてみるといい。

規約上、子供はＣｈａｔＧＰＴを使えないから、教師が操作したものを見せてあげるようにするといいだろう。

ＣｈａｔＧＰＴの回答を予想させたうえで、命令し、

やっぱり間違えたね。

と子供たちと確認する授業なら、意味がある。

ちなみに、全く同じ命令でも、命令するたびにＣｈａｔＧＰＴは違う回答を出力する。みなさんもご自身の環境で試していただきたい。

二　では、何が得意なのか

では、ＣｈａｔＧＰＴは何が得意なのか。

得意なこともたくさんあるが、何といってもすばらしいと思うのは、その「生成力」である。「生成ＡＩ」というだけある。

口に二画付け足してできる漢字を、何度かやり取りして教えたが、難しいようだったので、私はプロンプトを次のように変えた。

今度は、口に別の漢字をくっつけて、本当は存在しない熟語を創り出そうと思います。例えば、次のようにします。

口＋黙＝口黙
意味：いつも黙っていること

このようなものを、他に考えることはできますか？

ＣｈａｔＧＰＴはどのように回答するだろうか。そうなのだ。こういう作業は、ＣｈａｔＧＰＴの最も得意とするところなのである。ＣｈａｔＧＰＴは瞬く間に、次の七つを出力した。内容も実におもしろい。

おもしろいアイディアですね！口を利用して、実在しない熟語を考える試みをいくつか試みてみます。

1　口＋誠＝口誠
言葉に一貫性があり、真実を話すこと。

2　口＋疾＝口疾
話すスピードが速いこと、または疾走するようにたくさん話すこと。

3　口＋恋＝口恋
話すこと、または言葉に対する深い愛情や情熱。

4　口＋密＝口密
他人には話さない秘密の話や、内密に話すこと。

5　口＋静＝口静
静かに、穏やかに話すこと。

6　口＋義＝口義
言葉の上での義理堅さ、または言葉における正義感。

7　口＋楽＝口楽
話すことによる楽しみや、会話を楽しむこと。

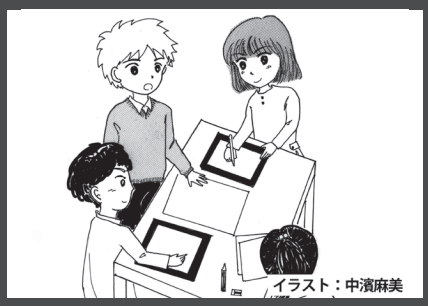
数秒でできた。こうした創作を自分がやろうと思ったら何分かかるだろうか。

2024年
1月号
特集

教師の「創意工夫」で躍動する教室

01
創意工夫から
新たな実践が
生まれる

02
教師自身が
「探究力」を
発揮しよう


イラスト：中濱麻美

03
隣の教室と
違っていいこと vs
そろえたいこと

04
創意工夫を
阻害している
学校の変な常識

05
働き方改革への
ささやかな工夫

1　いまだ一律で形式的な指導がある

聞いた話です。真偽のほどは分かりません。ある県では、校長や指導主事から次のような指導があるというのです。

1　全クラスを参観した後、「めあてを板書したクラス」「板書していないクラス」を一覧にして発表し、めあてを板書するように指導する。
2　教室前面に「学校の教育目標」を全クラス掲示するよう指導する。
3　研究授業で、授業者が考えた指導案ではなく学年や研究部で考えた指導案で授業するよう指導する。

いずれも、理由はあるのでしょう。

しかし、そもそもの目的である「教室で子供たちに良い授業をする」ということではなく、右のような「形式」だけが目的化して評価されているのだとしたら問題です。若い教師の躍動感にあふれた創意工夫が発揮される余地がありません。

2　変化の時代に対応する力とは

「主体的で対話的で深い学び」が大切だと子供たちには指導しているのではないですか？

先行きが不透明で激変していく社会の中で、自ら問いをもち、変化に対応していく力が必要だと言っているのではありませんか？

それを子供たちに指導する教師自身が変化をおそれ、横並びの統一を進め、外部からの批判を避けようとしているなら本末転倒ではありませんか？

もちろん、学校は意図的、計画的、組織的に教育を進める装置です。全部を自由にするわけにはいきません。共通理解して、みんなで同じことを同じように指導する場面も大切です。

しかし、「めあての板書」「教室の掲示」「研究授業の指導案」「使用する教材教具」「学級通信の内容」などがすべて一律では、どこにも創意工夫の生まれようがありません。

3　教師の創意工夫で躍動する教室を

未来を創っていくのは子供たちです。その子供たちを指導する教師たちが老いた感覚ばかりでは未来は萎（しぼ）みます。

とがった感覚

と俗に言います。

感性が鋭敏で個性的、他者とは違う感じ、流行の先端を求め突出した感じ、ギリギリの線を突いていてやや過激な感じ…そうしたイメージを言います。

教師が今こそ、「とがる」時ではないでしょうか。それは「デタラメ」で良いということではありません。一定の教育的な秩序と教師の倫理観のもと、しかし伸び伸びと変化させていく部分がほしいということです。とがった授業提案、とがった教室経営、とがった働き方改革等々を発露していただきました。

（本誌編集長　谷和樹）

創意工夫から新たな実践が生まれる

「子供をあっと言わせたい」という素朴な教師の情熱。そこから創意工夫を目指す教師修業が始まる。しかし、高度情報社会では、教師の創意工夫にも一定の困難さが伴う。教師が惚れただけの教材から、子供のフィルターを通した教材へ昇華する。この努力を経て、初めて「新たな実践」が始まる。

敬愛大学教育学部特任教授 全国連合小学校長会顧問　向山 行雄（むこうやま ゆきお）

1 子供を「あっと言わせたい」

二〇代のA教諭は社会科の日本国土の単元で、「夜の日本列島」の光景から、人口密度を捉えさせようと考えた。制作にひと夏かけた巨大な日本列島模型。

そこに、数十万人ごとに一つの豆電球を配線した。インターハイ相撲出場のA教諭は得意の力業（ちからわざ）を創意工夫と強く思い込んだ。

暗い教室で、スイッチを入れる。夜の日本列島が出現する。東京や大阪は煌々（こうこう）と輝く。子供は「あっと」驚く。興味を抱く、しかし、その後が続かない。せっかくの「ひと夏の経験」が霧散した。

地頭のいい三〇代前半の女性B教諭は、時代のトレンドを読んだ。運輸の単元で、できたばかりのヤマトの宅急便で教室に段ボールを運ばせた。子供の注目するなか、箱から取り出したのは、生きた金魚。子供は「あっと」驚いた。どうして生きた金魚を、遠くの町から運ぶことができたのか追究した。

AもBも社会科研究会仲間。後年、どちらも校長となり、社会科のリーダーとして活躍した。

私たちの修業時代、寝ても起きても、いい実践をするための「ネタ集め」をしていた。それが「創意工夫」だと堅く信じていた。旅に出ても「ネタ」の話。酒の席でも、「ネタ」の話。

2 創意工夫は失敗と隣り合わせ

そもそもが、「あっと言わせたい」ためのネタづくり。私も若い時代に、ずいぶんと空振り三振があった。

二九歳の五年社会工業単元。工業製品の仕組みに迫るために機会部品に注目。分解してもいい工業製品を持参させる。テレビ、ラジオ、自転車、時計など、たくさんの製品が集まった。五年生四学級の廊下は、工業製品と工業油のにおい。さながら町工場の様相を呈した。

二週間ほどかかり、分解して部品を比べた。工業製品に興味を抱いたが、さほどの追究はできなかった。

何よりも、大量のごみの始末に苦労した。

結局、教頭の助力を得て、トラック二台分の金属ごみを廃棄した。

迷惑をかけた実践もあった。四年運動会種目。マンネリ種目を変えたい。バレーボール練習後の居酒屋で「ネタ」の話。「そうだ、子供が協力して、重たい荷物を運ぶ種目を取り入れよう。きっと観衆も喜ぶ」と私のアイディア。題して「一トン引っ越しゲーム」。後輩の教師たちが「おもしろい！　おもしろい！」「今までにない種目」「会場も喜ぶ」とはやす。私は三四歳の教務主任。学校内の「アニキ」だった。

しかし、肝心のことを忘れていた。子供が一トンを運ぶのに苦労するということは、準備や片付けをする教師たちも一トンを運ぶ。運動会当日、必死の子供に喝采があったが、額に汗して運ぶ大人にも大声援があった。運動会後の飲み会で、準備係の教職員に酌をして回った。

「一トン引っ越しゲーム」は、たった一回だけの四年種目としてプログラムに記載された。再びの日はなかった。

3　新たな実践を生み出す創意工夫

「躍動する教室」は、子供が喜ぶ。愉快な学校生活を送れる。

「工業製品の分解」の授業から四年後。ビールの大びんを二八三本、教室に持ち込んだ五年社会工業単元の実践。教室の後ろには一四台のビールケースが並ぶ。まさに居酒屋。

学校近くに工場のあるアサヒビールのびんと、一番売れているキリンビールの形が違う。アサヒビールの刻印があるのに、サッポロビールのラベルが貼ってある。「はてな?」の追究から、全一四時間の実践、「ビールびんの旅」の実践が生まれた。初発の発問から、最終一四時間目まで、すべての発言を逐語記録に起こして実践を分析した。

私はここから、社会科教師として、多少は知られるようになった。社会科論文を書き、社会科教科書の執筆者や、講師を務めるようにもなった。

「ネタ」探しばかりになっていた私が、子供の思考の筋道を視座とする、創意工夫の授業を目指すようになった。

江戸日本橋から品川宿まで歩いたり、江戸の古地図を大量にカラーコピーしたりした六年「大江戸見聞録」等、その後も「力業」の学習を続けた。そこに、個の学習の成立を加えるようになった。授業過程、教材提示、学習活動発問、作品作りなどを工夫した。

子供から「はてな?」が生まれ、息の長い追究ができるようになった。

「創意工夫」は、時代のトレンドを読む、高感度のセンスから生まれる。

スマホを片手にSNSに興じる生活。生成AIで、簡単に情報が入手できる時代。モノにあふれ、「知への興味」を惹起(じゃっき)しにくい環境。

このような時代様相で、教師の創意工夫を具現化するためには、深い教材研究が必須だ。教師が惚れただけの教材では、不完全だ。子供のフィルターを通して、いけると思うまで、授業を創意工夫しなければいけない。そこから、「新たな実践」が始まるのである。

教師自身が「探究力」を発揮しよう

サクラなし、ガヤなし、「笑育」で勝負

「まだできない子」のみならず、「まだできない教師」にも優しく、易しい授業を提案するのが我が使命である。「子供たちのできないことをできるようにするために。そして、教育に苦悩する教師の成長に資するために」、実践を続けていく。

埼玉県吉見町立吉見中学校　長谷川 博之（はせがわ ひろゆき）

二〇二三年のサマーセミナーで「笑育」の授業を提案した。

ねらいは二点である。

教科書教材を使った「楽しい授業」ができない新卒教師にも、「ザ・楽しい授業」を経験させたい。児童生徒が言葉で伝え合う面白さ、楽しさを実感し、意欲的に学ぶようになる国語授業を提案する。

七月に参加した公的研修でのことだ。同じグループになった新卒二年目の女性教師が言った。

「発表者の授業がひとつの理想の形であることは分かりますが、勤務校はそういう状況にありません。そもそも生徒に話を聞かせること自体が難しいです」

そんな彼女に、「楽しい授業が大事だよ」と言うのは簡単だ。しかし、言っても何も変わらない。そもそも新卒二年目の教師が、中学校の抽象的な教科書教材を使って「楽しい授業」をするというのは、非常に高い壁だからである。たとえ良い「指導案」（発問・指示）があっても、たいそう難しいのだ。そこで私は考えた。この女性教師でも「生徒が楽しみ、笑いが起き、思わず取り組んでしまうような授業を創ろう」と。これまでも意図的にそういう授業を創ってきたつもりだが、今回は、このねらいにいっそう寄せていこうと考えたのだ。

尋常小学校の国語教科書に始まり、笑いで育つ力を明確にし、実際に創らせた。子役（サクラ）等をいっさい置かず、その場の対応で勝負した。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

教師自身が「探究力」を発揮しよう

討論のジレンマを解決した「ICT活用　複線型」で実施する向山型討論

どの子も意見を交わし学びを深める、協働と個別最適を往復する「討論のあり方」の一提案。

NPO法人TOSS理事
(株) RIDGE SPECIAL EDUCATION WORKS
発達支援コンサルタント
小嶋 悠紀（こじま ゆうき）

討論実践を初任から行ってきて、ずっとジレンマを抱えていた。

「話せていない子にとっては、本当に深い学びなのか」

「自分の話したい相手に話したいタイミングで話せない子は、討論で学んでいると言えるのか？」

「自分の意見を再度まとめたい子は、討論に置いていかれないのか」

そのような思いを抱えたまま、二〇二二年十月より、「向山型で貫くＩＣＴ探究型授業」を実践し続けた。当時はまだ、その授業の可能性や重要性にＴＯＳＳメンバーでさえ気付けていなかった。

「ＩＣＴを用いた相互参照によるタイムラグを打ち消す意見の確認」

「それぞれの立場や意見の瞬間的な俯瞰（ふかん）速度」

「個別最適と協働的な学びを自由に往復する複線型」

「深い学びへと連続して導くシンキングサイクル」

を組み合わせることで、これまでのジレンマを解決できるのではないかと考えた。

まず最初に当たった壁は、「授業時間」との戦いであった。四五分間の中に全てを入れ込むにはどうすれば良いか。これは、「反転学習」を組み込むことで解決ができた。

次に、「それぞれの立場の把握」であった。

討論はある意味で、数の理論と意見の移動によって盛り上がりが決まる。

それらをリアルタイムで把握できるようにするためにGoogleスプレッドシートを共有し、対立構造を明確にすることにした。

さらに「それぞれの意見の把握」である。これが最も難しかった。討論では、意見表明によって、それぞれの意見を明確にできる。しかし、発言しない子の意見については、教師はノートで把握できても、子供たち同士での把握は難しいものがあった。

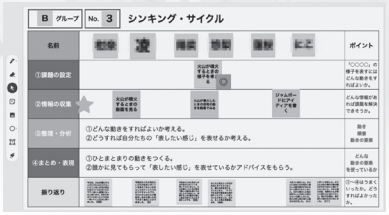
それらを解決したのは「チャット機能」である。特にPadletは意見の対立構造を明確にしながら、子供たちの意見を全て把握することができる。

このアプリを使うことで、意見を確認する時間を丸ごと削除することに成功した。

また、個別でもグループでも外れることなく討論を進めるためには「同じ意見同士の確認の時間」が重要である。

ここで紹介したのは工夫の一部に過ぎないが、四五分間途切れることなく、今まで以上に討論に参加する子供が多くなり、学びも深いものとなっていった。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！



本当に必要かどうかは子供の事実が教えてくれる

板書、めあて、ワークシート。本当に必要なら使えばよい。必要ないならやめればよい。大事なのは、子供にとって必要な選択をすることだ。

島根県川本町立川本小学校　**太田（おおた） 政男（まさお）**

表現運動の授業を公開した。大学教授を講師として招き、県内各地からも参加者があった。

だが、一般的に「やるべき」といわれているようなことはしなかった。

板書はゼロ。掲示物も一切作らなかった。

授業のめあても書かず、ワークシートも準備しなかった。

子供たちにとって必要がなかったからだ。

その代わりを果たしたのがＩＣＴ機器だった。

①　必要な情報は子供の端末の中にある。

子供たちは、自分の端末からいつでも必要な情報にアクセスできる。

シンキング・サイクル、構成表、家で考えてきたアイディア、表現のイメージを膨らませるために見付けてきた動画など、自分のニーズに合わせて、子供たちは情報にアクセスしていた。

②　子供たちが課題の設定をしている。

めあてはないが、子供たち自身が設定した課題はあった。Jamboardには、この一時間で「どんな様子を表したいのか」グループごとに決めて書いてあった。だから、教師がめあてを書かずとも、何をすべきかを子供たちは分かっていた。

五校時の研究授業を終え、六校時は研究協議だった。私のパソコン画面をモニターに映し出した。

「この下にある黄色い付箋が、子供たちが書いた今日の振り返りですね」

「え！　もう振り返りをしたんですか？」

「はい。今、教室で各自振り返りをしているところです。あ、今、この子も書き終わりましたね」

リアルタイムで付箋が付け加わったり、動いていったりする様子を見て、皆驚いていた。

しかし、参加者が一番驚いていたのは「子供の事実」である。六年生の子供たちが一人残らず伸び伸びと表現していることに、質問が続いた。

「どうやったら、このようになるのですか？」

指名なし発表、日記、学級通信など、これまでの一つ一つの積み重ねについて話した。参加者の求めに応じて、その場で学級通信や日記などを画面に映し出し、取り組みの一端を話した。

板書もめあてもワークシートも、一切話題に上らなかった。その必要がなかったことを、子供たちの姿が証明していたからである。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます!

隣の教室と違っていいこと vs そろえたいこと

「自由な風土」で教師の仕事は楽しくなる

基本的に「何もそろえない」。原則として自由。だから、日々の授業や学級経営にワクワク感が生まれる。「足並みをそろえる」ことで教師の仕事から楽しさが失われる。

兵庫県姫路市立英賀保小学校　許 鍾萬（ほ じょんまん）

そろえないこと1「形式」

四年生二クラス。私は三〇代半ば、隣のクラスのN先生は三〇代前半。四月のはじめに話し合ったことがある。当時の研究通信を引用する。

社会科研究通信①

◇N先生と年度はじめに話し合ったことのひとつに、「お互いに、やりたいことをどんどんやりましょう」というのがあった。何かのご縁で一年間、同じ学年を組むことになったのだ。共に研究したこと、実践したことを形にのこすのもいいだろう。

◇研究通信といっても何も難しいことばかり書くのではなく、授業について調べたこと、学年の打ち合わせで話したこと、普段の授業の記録などいろいろな情報をのせていければと思う。内容も自由。発行も自由。形式も自由。書きたいときに、書きたい人が、書きたいことを書く。そんな通信になればと考えている。

基本的に自由である。授業も学級経営も、それぞれに工夫し、情報をシェアした。

そろえないこと2「掲示物」

教室の背面黒板は子供たちに開放していた。係活動の掲示物を自由に貼らせていた。四月当初、「○○コンクールとか、行事のために描かせる絵を掲示するとか、すごく嫌なのです」とN先生が相談に来た。大賛成である。放課後、ふらっと教室に立ち寄りおたがいの掲示物を見せ合った。

そろえないこと3「足並み」

一年間「学年会」をしなかった。必要なことは職員会議中に決めていた。教室にあがるまで、歩きながら打合せは済ませていた。「足並みをそろえなさい」と管理職には言われたが、何も困ることはなかった。

そろえたいこと

①**「テストの実施日」**。これはそろえた。双子がいたからだ。進度はときどき話題にして極端に遅れないようにした。②**「授業時間を延ばさない」**。力のある先生だったので話し合わなくても授業時間はほぼ延びていなかった。③**「遅くまで学校に残らない」**。二人とも、二歳の娘がいた。夕方五時過ぎには帰途についていた。大事なことだ。

違っていいことTop3とそろえたいことTop3

目標とルールはそろえ、具体的な指導方法は各クラスの創造性に委ねる。

群馬県太田市立沢野小学校　松島（まつしま） 博昭（ひろあき）

1 目標とルールは徹底して共通理解

そろえたいことTop3は、【学年目標・ルール・時間】である。

学年目標をそろえるとは、学年スタッフが目標を共通理解するということである。四月から走りながら共に考えていく。目標は、学年の実態に応じてその時々で変わるからである。例えば、挨拶ができていないことが学年の課題だとする。その時の目標は、「自分から進んで挨拶できるようにする」となる。この目標に向かって、どのクラスも教育活動を行っていく。具体的な指導方法は各クラスが工夫すれば良いが、指導の根底となる目標の共有は、組織として子供たちを育てていく上で、極めて重要であると考える。よって、毎週の学年会で私が大切にしていることは、「各クラスの実態」と「学年の実態」の情報共有である。この情報をもとに、次の目標を共通理解していく。

次に、そろえるべきこととして「ルール」がある。学校にあるきまりは、どのクラスも守らなければならない。例えば、ペンが禁止となっているのに、自分のクラスだけペンを使わせるなどは絶対にやってはいけない。もし、ペンを使用させたいのであれば、ルールを変える提案をし、共通理解した上で使わせる必要がある。

最後に、「時間」である。「○○時に体育館で学年集会をします」というときに、一分でも遅れないようにする。一クラスが遅れると学年に多大な迷惑をかける。この三つは、そろえる必要があると考える。

2 子供から生まれるものは統一しない

では、学年でそろえないのは何か。それは、【1　掲示物　2　学級イベント　3　板書】である。三つとも、教師主導ではなく、子供主導で生み出されるものである。よって、どのクラスも個性があらわれてくる。その方が教育効果も高いと考える。掲示物は、子供の実態や子供自身が必要だと思って様々に作るからこそ、教室にいろどりが生まれる。学級イベントも、学年で統一してやるべきではないと考える。クラスの実態によってイベントの内容は変わって当然である。授業の板書も子供たちの意見によって埋まる。よって、どのクラスも同じにならなくて当然である。良いと思ったら、他のクラスのまねをすればよい。良いものは広まる。無理強いはしない。教師・子供の「やりたい」を大切にするからこそ、学校が躍動するのではないだろうか。

隣の教室と違っていいこと vs そろえたいこと

管理職の視点から考える それぞれ３つの視点

「学校・学年で統一して」と学級での取り組みを制限する事例を聞く。違うからいい、そろえるからいいこともある。

千葉県公立小学校　並木（なみき） 孝樹（たかき）

違っていいことＴＯＰ３。

① 授業の様々な行為
② 給食や掃除のルール
③ 朝の会・帰りの会

①は枠組みが大きすぎるのだが、端的に言えば「形式的な行為」を排除することである。毎回のように板書される形式的な「学習問題」が第一にあげられる。時には「～をしよう」という学習問題がある。これは問題ではない。問いになっていない。問いになっていないので、そのまとめ方に苦慮する。問いに正対していないまとめが行われる。形式的といえば授業の挨拶も同じくである。小学校では朝、全員で挨拶をする。以降授業する先生はほぼ担任である。教科担任制も多くなってきているが、「こんにちは、授業を始めます」でも授業はすぐにできる。

②は学級での様々なルールである。給食や掃除がその一つである。特に給食は、早く準備ができて時間どおりに終えることである。そのためには、いろいろな工夫がいる。本校では一〇分以内を目指して工夫してほしいと伝えている。

③朝の会・帰りの会はいろいろあっていいが、早く帰すことが最優先である。余分な活動は、ほぼないほうが早い。

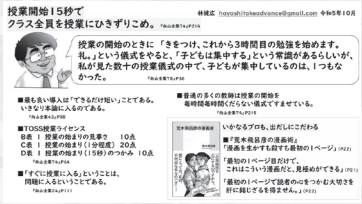
そろえたいことＴＯＰ３は次である。

(1) 教えて褒めるの原則
(2) 挨拶・返事・後始末
(3) 教科書を教える

(1)は学校経営の中核をなす。毎月職員会議で「教えて褒める」の具体例をあげて伝えている。例えば音読指導について範読→追い読み→交代読み（数種類）をさせるための指示内容を明記している。全てにおいて「教えて褒める」をするためにどう工夫するのかが教師の仕事である。

(2)は学校の重点目標にしている。この項目は森信三が提唱したしつけの三原則である。挨拶は子供にさせるのではなく、教師からして身に付けさせたい。返事については、するまで名前を呼び続けることを自分の経験からも伝えている。後始末は「いす・靴」である。特別教室に行って教室を空けることがある。その時、「いすが全員きちんと入っていたら一〇〇点」を前面のホワイトボードに書いていく。子供たちも先生も喜んでいる。

(3)は教科書を丁寧に扱って指導することの大切さを共有したい。これも職員会議で伝えている。特に算数の教科書の組み立ては重要であることを理解してほしい。先人の知恵が詰まっている。


授業開始15秒で
クラス全員を授業にひきずりこめ。

林健広 hayashi.takeadvance@gmail.com 令和5年10月

授業の開始のときに「きをつけ、これから3時間目の勉強を始めます。礼。」という儀式をやると、「子どもは集中する」という常識があるらしいが、私が見た数十の授業儀式の中で、子どもが集中しているのは、1つもなかった。

■最も良い導入は「できるだけ短い」ことである。
いきなり本題に入るのである。

■普通の多くの教師は授業の開始を
毎時間毎時間くだらない儀式ですませている。

■TOSS授業ライセンス
B表 ： 授業の始まりの見事さ　10点
C表 ： 授業の始まり（1分程度）20点
D表 ： 授業の始まり（15秒）のつかみ　10点

■「すぐに授業に入る」ということは、
問題に入るということである。

いかなるダロも、出だしにこだわる

■「荒木飛呂彦の漫画術」
「漫画を生かすも殺すも最初の1ページ」(P22)

「最初の1ページ目だけで、
これはこういう漫画だと、見極めができる」(P21)

「最初の1ページで読者のこをつかむ大切さを
肝に銘じざるを得ません。」(P22)

挨拶させなくていい。まずは活動させる

運動会ダンス練習。すでに並んでいる子、まだ並んでいない子に、どんな指示をするか。

山口県下関市立清末小学校　林（はやし）健広（たけひろ）

運動会、ダンスの練習。

朝、一時間目。約束どおりの時刻に、運動場に出ているクラスもあれば、出ていないクラスもあった。予想どおりである。それが自然だ。

私がしたことは以下である（右のQRコードから動画が見られます）。

「全員、起立」
「踊ります」
ダンスの曲をかける。

四年生は、昨年度、踊った。だから、踊れる。三年生は、まだ踊れない。そこで、「分からない人は、まねをしてもいいからね」とマイクで指示をした。三年生は、四年生のまねをしながら、踊り始めた。

曲をかけていると、まだ運動場に出ていないクラスが、どんどんと運動場に出てきた。ゆっくり歩いていた子も、あわてて自分の列に並ぶ。踊る。

私は、マイクを持ち、にこにこする。

「うまいねぇ」「さすが、四年生だ」

「三年生も、初めてとは思えないよ」

子供たちは褒められてうれしそうだった。自然とダンスの動きも大きくなっていった。

五分後。どのクラスも運動場に出ていた。どの子も踊っていた。

「林先生、遅れてごめんなさい」と若いA先生が言う。「少しも気にしないでくださいね。朝はいろいろありますからね」と笑顔で返す。

もし仮に、私が、授業開始の挨拶をするために全員がそろうのを待っていたらどうなるか？

遅れた先生は、さらに恐縮するだろう。待っていた子供たちは騒ぎ出すだろう。すると、「静かにしなさい！」と説教することになる。

説教から始まるのは、最低最悪の授業である。挨拶をさせずに、教師は子供を活動させ、褒めればいいのである。

長い休み時間の後の授業。校庭に遊びに行き、授業に遅れてくる子もいる。向山洋一氏は、そのような子供たちに次の言葉をかけていた。

「トイレに行きたい子は行ってらっしゃい」
「おかえり、いっぱい遊んできたかい…」

その子たちは、「次は向山先生の算数だから急ごう」と言い始めたそうだ。

再度、書く。説教から始まるのは最低最悪の授業である。すぐに活動させ、褒めるのである。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

創意工夫を阻害している学校の変な常識

形式的なめあてではなく、子供の学力を伸ばすためのめあてとは何かを、議論してほしい

単にめあてを書けば学力が向上するという言説を信じるのではなく、学習した内容をどうすれば定着できるかという視点で考え、どのようなめあてならそれが達成できるかをぜひ議論していただきたい。

関西外国語大学教授　松崎（まつざき） 力（つとむ）

めあてを板書することの功罪を考える。

まず「罪」である。学力テストで好成績をあげた県に視察に行くと、多くの場所でめあてを板書していた。だから、「めあてを板書すれば、学力が上がる」という言説をまことしやかに信じ、風潮として「めあてを書けば、授業にまとまりが出る」や「めあてを書くことで、学力を伸ばすことができる」と思い込んでいる節がみられる。

また、めあてを子供とつくるということを実践している地域もあるが、一時間で身に付けるべき資質・能力を子供が判断できるわけがない。「子供と一緒につくった」ということを免罪符にしている。

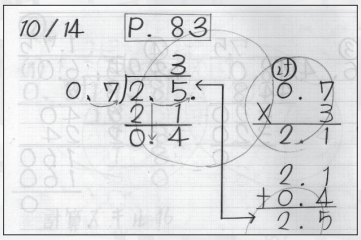
このような現状は、「何のために、めあてを書くのか」等の議論が十分になされておらず、いわゆる形式的なめあての強要となっている。

次は、「功」であるが、めあてには授業の中で身に付けさせたい能力や、達成した姿が描かれる（はずである）。その能力や姿を子供に伝えることが可能になるのが、めあてである。

ただし、功を成し得るためには、ルーブリック的な活用方法が必須となる。ルーブリックには、二つの活用法がある。一つは、教師が評価をする際に活用する方法である。例えば、パフォーマンステストであるが、このテストは評価が難しい。英語のやり取りを評価する場合を考えてみよう。やり取りは、コミュニケーション場面を評価するので正答数が限りない。そこで、望ましい行為を評価規準とし、レベル差を設けることで評価する。

もう一つは、子供が自分の学習のゴールとして捉える活用法である。評価規準の最高レベルが記されていれば、子供はその姿を目標に練習を繰り返すことが可能になる。つまりは、努力の方向性が見えてくるのである。めあてもこのルーブリックと同じように、一時間でどのような姿を目指すのか、子供にできるだけ具体的な姿で提示できる内容にしたい。それは果たして、どのような姿であるのかということを、ぜひ職員会議等で議論していただきたい。

また、まとめや振り返りの学習活動も強要されることが多いが、ここでもめあてを活用したい。振り返りの際に、めあてで掲げた内容が達成できるかをチェックする。そのため、私は「～ができる」という形のめあてを推奨しているが、これも議論の話題にしていただきたい。いずれにしても、形式的なめあてではなく、子供の学力を高めるためのめあてであってほしいと願う。



補助計算と検算

教師が本来やるべき工夫ができない「導入・展開・終末の工夫」

めあてや振り返りを毎時間書かされ、教科書が終わらず、宿題が山のように出され、学力が付かなかった算数を子供たちは嫌った。

東京都日本文化大学・講師　木村 重夫（きむら しげお）

異動した学校の五年生は、「算数が嫌い」と言う子が多かった。前の年のノートを見せてもらった。

「めあて」が書かれ、「振り返り」の感想が書かれていた。「自分だけで解く時間」（自力解決）をよくさせられたと言う。しばしば休み時間も授業が延長した。プリントや計算ドリルの宿題が山のように出された。テストの点は悪かった。

私は教科書をテンポよく教えた。基本型どおり書かせた。めあての板書なし。振り返りなし。「あかねこ計算スキル」（光村教育図書）で終了。一〇〇点が続出した。

私は冗談で言った。「去年のような、めあてや振り返りを書く算数の勉強をしましょうか？」

子供たちは叫んだ。「やだやだ！」「いやです！」

ある県の教育局がインターネット上に発信している「よい授業のポイント」には、「導入・展開・終末」の工夫がたくさん書かれている。学ぶべき点も多いが、気になる点もある。

【導入の工夫】 授業の冒頭において、本時の課題（ねらい、めあて）を明確に示し（板書等）、学習の見通しをもたせている。

毎時間、ねらいやめあてを板書する。子供はノートに写す。こうした形式的な導入が、授業をワンパターン化させる。教師が最も工夫すべき「つかみ」「巻き込み」の工夫ができない。

【展開の工夫】 自力解決の時間を保障し、児童生徒に自分の考えをもたせている。

問題を解く「知識」「技能」「見通し」を与えずに、「自力解決」という名の「子供まかせ」にする教師がいる。特に下位の子にとっては苦痛な時間だ。教科書にある「基本型」をきちんと教えて、「問題を解決する技」をもたせるべきだ。

導入・展開・終末までをぎっしり書いた**「構造的板書」**。その弊害は、ワーキングメモリの少ない子にとって情報量があまりに多すぎることだ。

【終末の工夫】 自分の言葉で本時のねらいに即した学習のまとめを書かせたり、発表させたりしている。

終末は、教科書に示された学習内容を全員が習得したかを確認すればよい。『スキル』で「一〇〇点！　がんばったね！」で終われば十分である。子供の「やったー！」の歓声が「まとめ」である。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

創意工夫を阻害している学校の変な常識

本時の目標のためなら授業時間は延びてもいい？

「子供たちの討論が止まりませんでした」と笑顔で10分間の授業延長を誇らしげに語る附属小教官～時間意識の欠落する附属小研究会

兵庫県明石市立大久保小学校　溝端（みぞはた） 達也（たつや）

某附属小学校研究会に参加した。授業時間は、終了時刻よりも一〇分間延びた。授業後の分科会で授業者がこう言った。

> 子供たちの討論が白熱して止まりませんでした。

その授業者は授業時間が延びたことを詫びることもなく、自信満々にそう言った。

「俺の授業はどうだ！」と言わんばかりだった。

そして、笑顔だった。

私は、若い頃、向山洋一氏から

> 授業時間をいかなる時も延ばしてはならない。

そう学んだ。

TOSS授業技量検定では、授業時間に関しては次のような定めが明示されている。

> 指定された授業時間の二%以上オーバーしたら評定外とする。

評定外とは、審査の対象ではないという意味である。例えば、五分の場合は六秒以上、七分の場合は八秒以上、一〇分の場合は一二秒以上。評定されないのである。

先の附属小学校授業者の場合、四五分間なので五四秒以上は評定外。分科会で検討の場には値しないのである。

前記に示した附属授業者だけでなく、教師は平気で授業時間を延長する。

どうしてもやむを負えない理由で延長したとしても、その分は必ず次の休み時刻に加算してあげるべきである。

私は現在、初任者の先生を中心に八人を指導する立場にある。

「子供たちに時間意識を求めるならば、教師が時間を守らなければ、子供たちはやらない」と話をしている。だから、初任者たちの授業ではほとんど授業時間が延びることはない。私が後ろで見ているからということもあるが、よくやっている。

学校の教育課程は、意図的計画的に構成されている。なかでも最も大切なのは時間である。与えられた時間内でその教科の内容を教えて、全員に習熟させなければならない。それをクリアするために指導法の工夫があるわけである。

働き方改革へのささやかな工夫

Googleドキュメントのコメント機能で、学級経営交流会を改善する

新年度、どの学校でも学級経営案を作成する。担当から学級経営案の書式が提案される。書式はワードなどのワープロソフトで作成されることが多いだろう。この書式をGoogleドキュメントにすると、学級経営交流会などで、多くの先生たちから助言をもらえるようになる。

北海道北見市立三輪小学校　塩谷（しおや） 直大（なおひろ）

1 口頭だけの学級経営交流会

学級経営交流会は、自分が作成した経営案に他の先生からアドバイスをもらえる貴重な場だ。しかし、口頭のみの交流のため、次のような状況が発生しやすい。

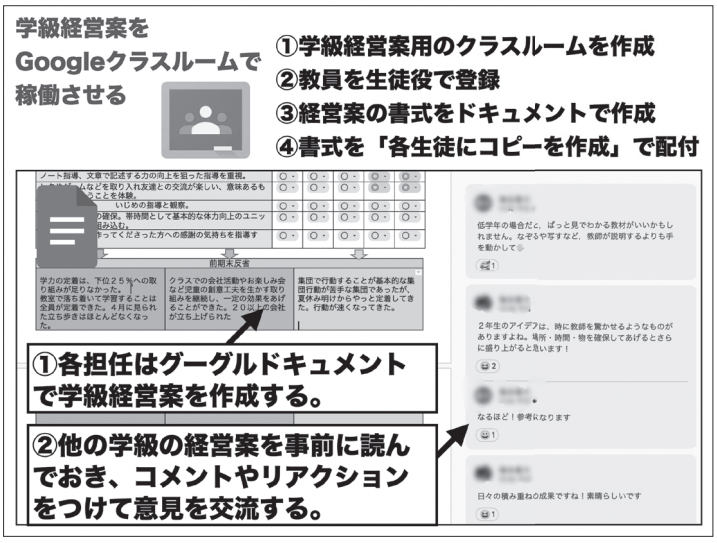
> どんな助言をもらえたのか後から振り返りにくい。また発言した人だけの助言しか明らかにならない。

2 Googleドキュメントで学級経営案

担当になって、これまでワードで作成していた学級経営案をGoogleドキュメントで作成するようにした。手順は次の通りだ。

① 学級経営案用のクラスルームを作成
② 教員を生徒役で登録
③ 経営案の書式をドキュメントで作成
④ 書式を「各生徒にコピーを作成」で配付
⑤ 各担任はドキュメントの書式で学級経営案を作成する

交流会の際には、全員のドキュメントのリンクを共有し、閲覧しながら助言し合う。ドキュメントにはコメントやリアクションを付けることができる。教員には、交流会の前や最中に助言を書き込んだり、リアクションを付けたりするようにお願いした。助言がコメントに残るので後から振り返ることもできる。発言した人以外の助言もコメントに残るので、多様な視点からの助言を学級経営に反映できる。職員の間でも好評であった。



デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます!

働き方改革へのささやかな工夫

職員室にモニターを設置して情報共有をする

職員打合せをやめるとみんな幸せ。

京都府京都市立深草小学校　安江（やすえ）愛（あい）

1 退勤時刻三〇分前は追い込み時間

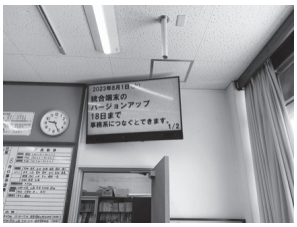
定時退勤を目指している先生にとって、退勤時刻三〇分前は貴重な時間だ。定時が迫ってくるので、仕事のスピードは必然的に上がる。明日の準備や、やっておきたい仕事を、ものすごい勢いで終わらせていく。そんな時間に職員室に集められ、ダラダラと情報共有をされたら、定時退勤が難しくなる。どうしても必要な場合を除き、職員打合せはやめたい。

朝の打合せも、できればやめたい。本校では朝読書をしている。その時間に担任が職員室にいるのはよくない。担任と一緒にシーンと読書をしてこそ意味がある。落ち着いた朝がスタートできる。朝の打合せがあると、読書の後の朝の会までに間に合わないこともある。子供たちを安定させるには、毎朝のルーティンが崩れないことが大切である。

よって本校では、新しい教職員を迎える時や、見送る時以外は、できる限り打合せをしないようにしている。そうすると、教職員も子供たちも幸せである。

では、どのように日々の情報共有をしているか。

2 大型モニターで情報共有



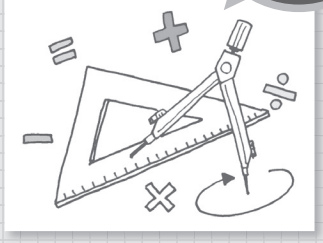
職員室内に大型モニターを設置した。そして、ワイヤレスＨＤＭＩの送信機と受信機を取り付けた。

教務主任がパワーポイントを毎日作成する。スライド一枚につき、連絡事項を一項目表示する。全部でいくつの連絡事項があるかは、右下の分数の分母を見れば分かるようになっている。そのパワーポイントを自動再生機能で流しておくだけでよい。一枚の表示時間は五秒にしてある。

これまで、職員打合せで伝えていた連絡事項も、このモニターに書いておくだけで全教職員に伝わる。前日の夜に作成しておき、朝一番で用務員さんがテレビをつけると、スライドショーが始まるようになっている。教職員は、出勤してから、まずモニターを見る習慣が身に付いている。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

1年 算数 Mathematics



粘土と百玉そろばんを使って大きな数を認識する

粘土を使うことで、数え間違いをしやすい大きな数も正確に数えようとする。

教育出版・1年・P142-143

静岡県静岡市立清水有度第二小学校
手塚 美和
奈良部 芙由子
静岡県公立小学校

1 導入は、百玉そろばんで

導入は百玉そろばんで入る。百玉そろばんで数の仕組みを理解してから、具体物（粘土）の操作を行う。

(1) **10とび**

T：10とび。
C：10、20、30…。

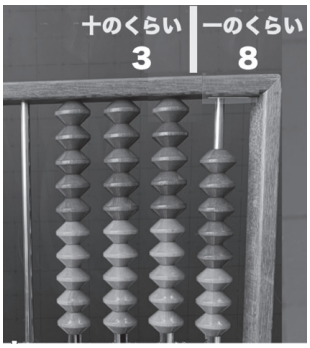
(2) **10が○つで○○**

T：いくつ？
C：20。
T：10が二つで20。
C：10が二つで20。
T：10が三つで30。
C：10が三つで30。
T：10はいくつ？
C：三つ。
T：（3を板書）十のくらいの数字は3。はい。
C：十のくらいの数字は3。
T：1はいくつ？
C：八つ。
T：（8を板書）一のくらいの数字は8。はい。
C：一のくらいの数字は8。

同様の問題をランダムに出していく。

(3) **百玉そろばんで位取り**

百玉そろばんを九〇度回転させる。玉が落ちないようにクリップで止める。下半分は、見えないように画用紙で隠す。位を書いた黒板の前に置く。



2 粘土をつぶして数える

教科書の朝顔の種の写真を拡大印刷した用紙を配付する。

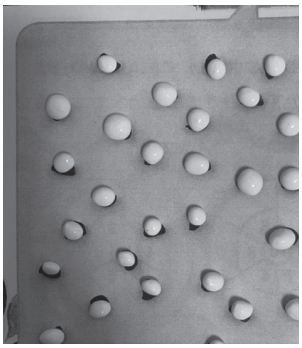
そして、子供たち一人一人に粘土を用意させる。

可能なら油粘土よりも、上段の写真のような、手がベトベトしないシリコンパテタイプの粘土のほうが望ましい。

左の写真のように、粘土を朝顔の種の上に置き、指でつぶしていく。

触覚を含めた五感を使って学ぶことができるため、より効果が高まる。

ボストンのランドマークスクールで学んだ方法である。



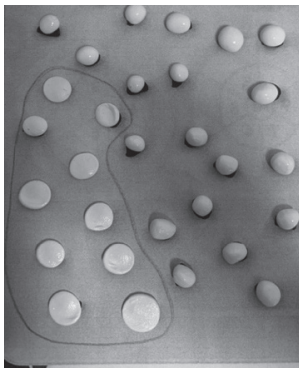
T：種の上に粘土を丸めて置きます。
T：数えた粘土をこうやってつぶします。
T：一緒に数えてね。

C：1、2、3、4…。

③ 10のまとまりをつくる

T：あれっ、いくつか分からなくなっちゃった。どうしたら、数えた数が分からなくならないのかな？

C：前に、一〇個のまとまりを作ったよ。



T：そうだね。一〇個のまとまりを作りながら数えます。

T：一緒に数えてね。

C：1、2、3、4…10。

T：一〇個を忘れないように、ぐるっと囲んで、「10」と書きます。

T：みんなも、朝顔の種の上に粘土を置いて、数えましょう。

子供たちは、一つずつ粘土の玉をつぶしながら、数を数えていくことになる。特に低位の子に有効な方法である。

T：10のまとまりはいくつ？

C：三つ。

T：（3を板書）十のくらいの数字は3。はい。

C：十のくらいの数字は3。

T：1はいくつ？

C：八つ。

T：（8を板書）一のくらいの数字は8。はい。

C：一のくらいの数字は8。

T：全部でいくつですか？

C：全部で38です。

T：すごいなあ。大きな数がよく数えられたね。

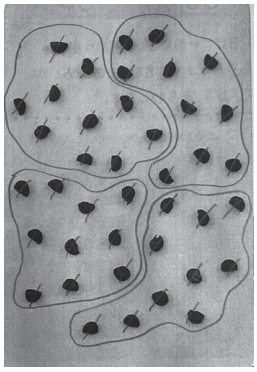
④ 粘土を使わないで数える

T：男の子の朝顔の種も数えます。今度は、粘土を使わないで数えます。

T：粘土を使わないで、数えたことが分からなくならないように、どうしたらいいかな？

C：前に、鉛筆で印を付けながら数えたよ。

T：そうだったね。よく覚えていたね。



T：数えた朝顔の種にこうやって印を付けたね。よく見えるように一つずついねいに書きます。

T：最初の一〇個を数えたら、先生にもってきます。

T：10のまとまりはいくつ？

C：四つ。

T：みんなも、同じようにノートに書きます。

C：十のくらいの数字は4。

T：1はいくつ？

C：何もない。

C：0。

T：（0を板書）一のくらいの数字は0。はい。

C：一のくらいの数字は0。

T：全部でいくつですか？

C：全部で40です。

◆◆◆

本実践では「粘土をつぶして数える」という手法を加えることで、数を認識しやすくした。

児童はつぶす感触が楽しくて、ゆっくりと数えていた。

〈参考〉「算数」授業の新法則（学芸みらい社）

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

2年 国語 Japanese

詩「はんたいことば」（はらだなおとも）

１つに、「モデリング」と「変化のある繰り返し」で、詩を楽しむ授業をする。もう１つは、本当に「みんな　せいかい」か思考する授業をする。

光村図書・２年下・P79

愛知県豊田市立中山小学校
井戸（いど） 砂織（さおり）

①「うれしい」の反対ことばを考える

板書
はんたいことば
はらだ　なおとも
「うれしい」の
はんたいことば

発問1　「うれしい」の反対ことばは、何ですか。

三年生に授業した。「さいてい」「わるい」「うれしくない」「かなしい」「いやなことがあった」などが出た。

②「いしれう」が何かを考える

板書
「うれしい」の
はんたいことば
（　　）
「うれしくない」
「かなしい」

指示1　ここ（「うれしくない」の前）に、もう一つ、書きますから、どういうことか分かったら、黙って立ちます。

板書
「いしれう」

気付いた子が、次々と立つ。「うれしいを反対から書いています」

指示2　逆から書いているのですね。ここまでを読みます。

③三連を自分で作る

説明1　（板書した詩を指しながら）詩のこのようなかたまりのことを「連」と言います。ここが一連、ここが二連。この詩は、三連まであります。

板書
みんな
□

指示3　□に何が入るか考えます。

「うれしい」「楽しい」「よろこぶ」「友だち」「おもしろい」

次々に言わせていく。褒める。

板書
みんな
せいかい

指示4　みんな　せいかい

三つとも正解と言っているのですね。題から最後まで、読んだら座ります。

④他の形容詞を考える

発問2　「うれしい」のように最後に「い」がつく様子を表す言葉を「形容詞」と言います。どんなことばがありますか。

「大きい」「明るい」「楽しい」

⑤一、二連を自分で作る

説明2　「大きい」で、詩を作ってみましょう。ここは？（いきおお）、ここは？（大きく

ない）、ここは？（小さい）そう！

三連は、このまま。

板書
はんたいことば
○○　○○
「大きい」の
はんたいことば
「いきおお」
「大きくない」
「小さい」
みんな
せいかい

指示5 みんなも「うれしい」を変えて、ノートに詩を完成させます。少し難しいなという人は、この「大きい」の詩を写します。完成したら、先生のところにノートを持ってきます。

6 三連を自分で作る

説明3 次は、一連と二連は変えません。三連だけを自分で作ります。一行や二行でも良いです。すぐ思いつく人。

（「みんな　うれしい」）そのように作ってノートに書きます。「みんな　さいこう」「みんな　わらう」「きみも　せいかい　ぼくも　せいかい」などが出た。

7 一～三連を自分で作る

発問3 最初は、一、二連を変えました。次は、三連だけを変えました。最後は、何と言うと思いますか。（「全部変える」）

全部作るが、難しい子は、一連、二連のみを自分で作れば良い。

三年生が作った詩である。

はんたいことば
○○　○○
「おおい」の
はんたいことば
「いおお」
「おおくない」
「少ない」
世界には、
たくさんの人がいる。
ぼくはその中の一人。

はんたいことば
○○　○○
「しぜん」の
はんたいことば
「んぜし」
「木が少ない」
「人工」
しぜんは
太陽の光、音でつつまれている

8 本当に「みんなせいかい」か？

二時間目には、こう授業する。

発問1 三連に、「みんな　せいかい」と書いていますが、本当にみんな正解ですか。

A　正解
B　正解ではない

指示1 自分の考えと理由を言います。

発問2 二連。三つのうち、反対言葉ではないものがあるとしたら、どれですか（挙手で確認）。

「いしれう」が違うという人。立って、理由を言います。

（同様に他も言わせる）

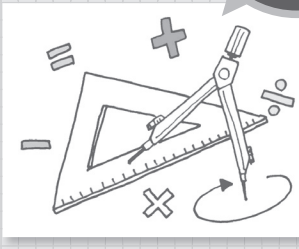
指示2 「うれしい」の反対言葉は、「かなしい」以外にもあります。探して、ノートに書きなさい。

発問3 題名と一連の「はんたいことば」、ここを変えれば、「みんなせいかい」と言えます。どう変えますか。

伴一孝氏の代案から組み立てた。

3年

算数
Mathematics



個別最適で「説明する授業」を発展的に授業化する

向山型算数で学び方を身に付ける

NPO法人TOSS理事
㈱RIDGE SPECIAL EDUCATION WORKS
発達支援コンサルタント
小嶋 悠紀（こじま ゆうき）

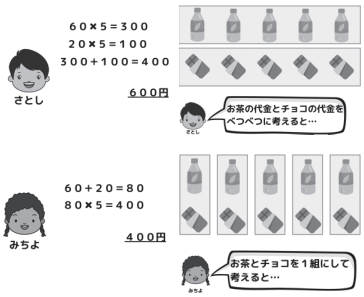
三年算数では、「まとまりを考えて」という単元が多くの教科書で登場する。

次のような問題である。

「お誕生会を開くので、ゆうきくんは買い物をしました。1本60円のお茶を5本と、1個20円のチョコを5個買いました。代金は全部でいくらでしょう」というものだ。

下のような場面が、教科書には載っているだろう。

これらの教科書のパーツでは、逐一、教師の指示と発問によって授業を展開することが可能である。



その場合、赤鉛筆でまとまりを付けて、数字や式を書き込む。

その上で、さとしとみちよのそれぞれが立式したところと関連付けて、説明をさせるのが定石となるだろう。

ところで、この単元は、「すでに三年の後半に差し掛かっている」時期である。

前述のような展開は、学級崩壊寸前のクラス、学級としての成長が著しく困難な学級であれば、教師主導でやったほうが良いだろう。

しかし、私がこのページを授業するのであれば、向山型算数のあの発問をする。

「先生が一目で見て分かるようにして持っていらっしゃい」である。

しかも、このページをＩＣＴを用いたクラウド上で学習させる。

そのためには、このページにたどり着くまでに、何回もこのような発問の授業を子供たちがくぐり抜けている必要がある。

この発問について、若い先生から質問を受けることがよくある。

「この発問で授業がうまくいかない」

「評定をどのようにすればよいか分からない」

というのである。

私も若い時にこの発問の難しさを痛感しているので、とてもよく分かる。

この発問の指導展開で最も迷うのは、

「発問→学習→評定」の中の「評定」なのである。

「先生が一目で見て分かる」とは、どのような状態なのかが、教師の側で明確な基準をもちづらいというのである。

またルーブリック的な観点からも、評定基準が子供に伝わっていることが必要であろう。

私はこの発問の授業の時に、観点を大体三～四つ用意して子供に提示していた。

① 説明が少ない

まずは「一目で見て」なので、文字による説明が極力少ない形が望まれる。文字による説明が

主体の場合、減点をする。

② **順番が分かる**

式の説明の場合、順番が重要な要素になる。どのような順番で考えられているのかを、数字で明示させることが必要となる。

③ **図示されている**

これもかなり重要である。

矢印などを用いて、絵や式のどの部分が関連しているかを示さなくては「一目で見て」という条件は突破できない、

加えてJamboardなどのクラウド上のアプリを使う場合、次の条件も付け加える、

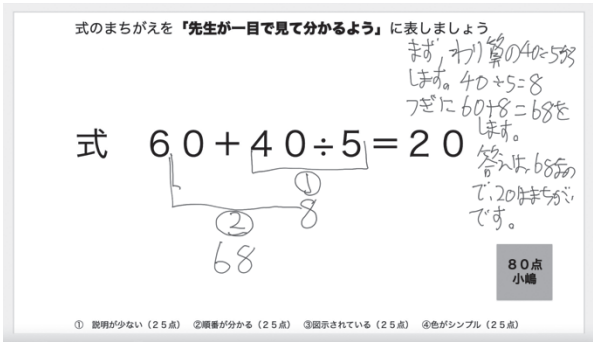
④ **色がシンプルになっている**

アプリは便利な分、色などを多く使ってしまう子供がいる。そこを抑えるために、この条件を付け加える。

①～③はノートで作業させる場合なので、それぞれを三〇点で構成し、ノートや文字の綺麗さなどで「一〇点」を四つめの評点項目にするとよいだろう。

ICTクラウドアプリを用いる場合、それぞれを二五点項目とする。

実際に小嶋のJmanoardの画面を見てみよう。



評点を明確にするだけで、ここまでシンプルにまとめることができる。しかし説明が多いので、その分、減点をしている。

また評定もアプリ上で行うことが重要である。

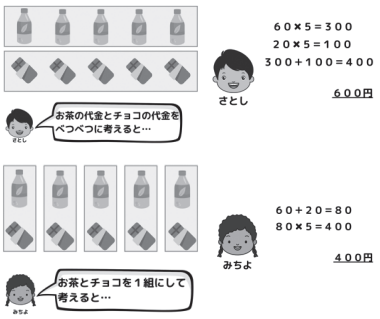
そうすることで、子供への評定もタイムラグを生じさせることなく行える。また、子供も即座にフィードバックを返してもらえるので、修正も早くなる。

さらには、「相互参照」である。このよう学習が得意でない子供もいる。

その子たちは、他の子の学習を相互に参照することができる。

このことがとても大切である。

さて今回の単元については次のような画面構成にするだろう。



Jamboardページを、さとしだけで一つつくる。その評定が終わったら、みちよのページに取り掛かるという構成になる。

評定基準は、

① 説明が少ない（二五点）

② 順番が分かる（二五点）

③ 式と絵の関係が図示されている（二五点）

④ 色がシンプル（二五点）

となる。

特に絵と式との関連性が図示されていなければ、このページは意味がないとさえ言えるだろう。

またこのページを一人で作業をさせてもいいが、

「協働的な学び」

を推進するページとしても授業ができる。

このようなICT上での「先生が一目で見て分かるように」の授業は子供がかなり熱中する。

ぜひ何回もやってほしいと考えている。

4年 国語 Japanese

「手紙」

小学生と中高生が同じ解を出す必要はない。発達段階に応じて自分の思いを自分の言葉で表現できればそれでよい。

東京書籍・4年・P70

埼玉県吉見町立吉見中学校
長谷川 博之（はせがわ ひろゆき）

1 順番を整え、無駄を省く

東京書籍四年、「手紙」。我が志士舞サークルの新井亮氏が授業した。

発問1 題名は何ですか。

発問2 手紙はいくつ出てきますか。

発問3 誰が送り届けていますか。

発問4 手紙は三つだけですか。どんな手紙がありそうですか。

発問5 川は何を思い返していますか。

発問6 それは「反省」ですか「満足感」ですか。

発問7 川の果たした役割とはなんですか？

子供相手の授業でもすっと流れるように思う。ただし、突っ込みどころがいくつかある。

まず、発問3が難しい。「誰」と聞くならば、子供たちが擬人法を理解していなければならない。

発問2と3の間が切れてしまっているから、問うならば4のあとがよい。そのほうが、子供たちは手紙の種類に焦点化して思考することができるだろう。

次に発問5であるが、字義どおりに読めば「じぶんの果たした役割」を思い返しているのである。しかし、6のように選択肢を出さないほうがよい。

> 狭める前に、土俵を限定した上でいろいろ出させてみたいのである。

問うならば5のあとに6であろう。

発問7は子供たちにとって難解だ。普通一般の川の役割を答えるのではない。この詩にある「川」の「役割」を答えなければならないのである。子供たちの思考が止まってしまった時、どのような指導言で学びを促すのか。考えておく必要がある。

2 反応を予想し対応案を練る

今回は思うところがあり、他の方々にも尋ねてみた。

一人めは宮城県、中村友紀氏である。

発問1 （手紙の部分をすべて□にして）同じ言葉が入りますか。何でしょう。

発問2 手紙と川は、どんな関係だと考えますか。

発問1はあり得る。隠すという行為を形式的に禁止しても意味がない。隠したほうが学びが深くなるならば、隠すがよい。

ただし、この教材であれば、手紙は明示しておいたほうがよいだろう。

> もっと他に考えさせるべき事柄があり、本道から外れる発問は子供たちにとってノイズになる恐れがあるからである。

発問2は難問である。子供たちからどんな解が出されると予想して問うのか。解が出なかった場合、どう対応するのか。逆に多様な解が出た場合、どうさばくのか。そのようなオプションを考えて臨む必要があろう。

二人めは福井県、村上睦氏だ。

発問1 季節はいつですか。

発問2　対になる言葉はどれですか。

発問3　「自分の果たした役割」とはどんなことですか。

発問4　題名は「手紙」ですが「川」ではないのはなぜですか。どちらが良いですか。

発問5　「川」の他に「役割」を果たしている存在はありますか。

発問2が良い。子供たちは例えば「おくりとどけ」と「受け取り」、「はなびら」と「落葉」等を挙げるのだろう。そのパーツをどう締めくくり、次にどうつなぐのかが重要になろう。

発問5では間接的に問うて主題に迫らせようとしているのだと推察する。だが、このままでは混乱が予想される。詩の内容に沿う形で「役割」を限定してから問わないと、しっちゃかめっちゃかになる恐れがあると思うが、いかがだろうか。

3 「人は」に変えて書かせる

以上のように考えていたところ、志士舞の山田賢氏が例会で授業した。

発問1　題名は何ですか？（手紙）

発問2　何種類の手紙が出てきますか？（三種類）

発問3　それぞれの季節は何ですか？（はなびらの手紙→春落葉の手紙→秋粉雪の手紙→冬）

発問4　ない季節は何ですか？（夏）

発問5　夏の手紙がない理由を予想します。（夏には落ちるものがないから）

発問6　夏の手紙があるとします。どのような手紙がありますか。

指示1　「おくりとどけたあと」に線を引きます。

発問7　川は、手紙をどこにおくりとどけるのですか。

指示2　「粉雪の手紙」に線を引きます。

発問8　川は、粉雪の手紙をおくりとどけることはできますか。

発問9　この詩の主題は何ですか。

発問2、3、4、5、6の流れは私がよく行う指導である。この詩をひと目見て、夏がないことに気付けたら、力がある。

なぜないのかも大事だが、夏ならばどうなるかと問い、作らせたらおもしろいのだ。

私は次に何をするか。

川は「手紙」を実際に受け取るかと確認する。これは比喩である。次いで、送り届けるかとも確認する。これも比喩である。

川が擬人化されているのだね、と整理する。

> 川を擬人化し、わざわざ「受け取り」や「おくりとどけ」という行為をさせたのはなぜか。

そこに主題を感じないだろうか。

ひとつの解釈として、これは「人」を暗示している。

倒置部分を直す。

川は
粉雪の手紙を
まいにちまいにち
受け取りながら
じぶんの果たした役割を
そっと思いかえしている

「人は」に変えて書かせる。

> 人ならば、毎日毎日、何を受け取っているか。「そっと」思いかえす、自分の「役割」とは何か。

川のように、意図することなく、自然のままに生きながら、受け取り、送り届けているもの。それを考えさせたい。

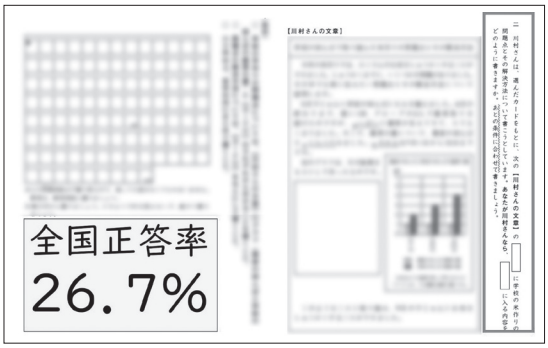
5年 国語 Japanese

情報処理スキルへの挑戦

全国正答率26.7％問題を解く成功体験を！

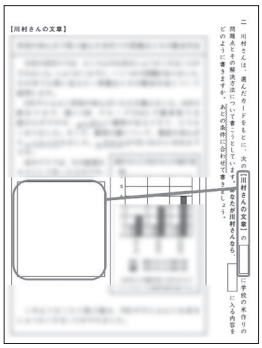
R５全国学調国語大問１(4)

教授法創造研究所
椿原（つばきはら） 正和（まさかず）



1 四つの作業で解ける！

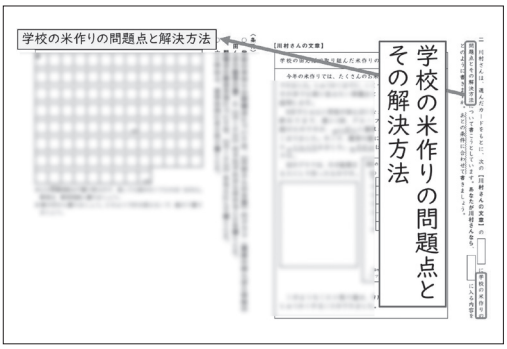
作業①丸で囲む
作業②線で結ぶ



丸で囲むのは、「太い文字」だ。これは、資料のタイトルだ。該当箇所の四角を探し丸で囲み、線で結ぶ。

作業③エアーライン
作業④＋α（題名）

記述式問題は、作文問題だ。題名が必要だ。その題名は設問の中に書いてある。探して原稿用紙の上に視写させる。



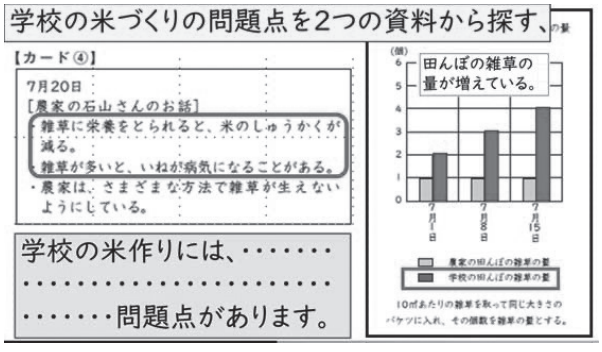
これで何を書くかが確定する。あとは、「条件」だ。

2 条件は一つも落とさない

条件は三つある。
箇条書きの番号を付けさせる。
条件①は、次である。

学校の米作りの問題点については、【川村さんの文章】のグラフと【カード④】のそれぞれから分かることを書くこと。

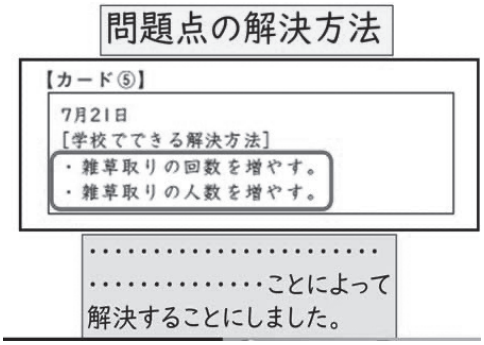
■作業①丸で囲む
「【川村さんの文章】のグラフ」と「【カード④】」を囲ませる。該当箇所も探させる。



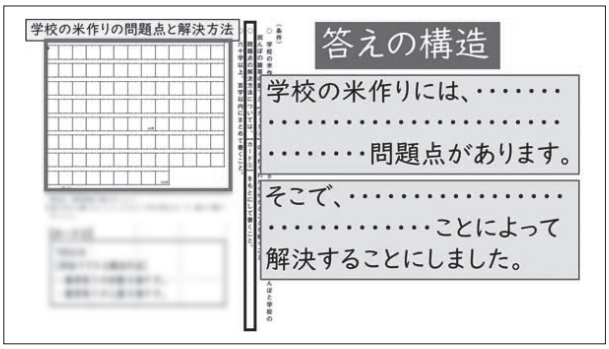
■作業②線で結ぶ
■作業③エアーライン
ページをまたいでいる場合は線で結べない。その時は、両方に記号「A」を書かせる。
■作業④＋α（重要語句）
「学校の米作りの問題点」と「それぞれから分かること」を丸で囲ませる。
答え方の構造を教えることが大事だ。
正答率が低かったのは、ここで一つの資料（【カード④】）からだけ問題点を探して書いたからである。
条件①の中の「それぞれから」がポイントだったのだ。一つでも見逃すと0点だ。
つまり、この問題の最大のポイントは、「グラフ」から分かった問題点を書かせることにあった。これまでは、本文や資料の中に答えが書いてあった。しかし、今年の問題では、一部答えが書いてなかったのである。子供が資料を読み取れているかを問うていたのだ。
これが、今年の全国学調の大きな変化だ。次年度以降も続くと思われる。
記述式問題では、いきなり書かせない。

答えの構造を提示！

次のように指導する。
① 答えの構造に合わせて自分でつぶやかせる。



② できた子供に発表させる（二～三名）。
③ 全員に口頭で発表させる。
条件②は、【カード⑤】から解決策を書くことになっている。左の図の枠で囲んだ部分が答えになる。
これも先程と同じように答えの構造に合わせてつぶやかせる。



口頭作文という。作文指導の基本だ。
条件②は、【カード⑤】の中に答えが書いてあるから、すぐに分かる。
最後に、条件①と条件②の答えを合わせて日本語として適切になるように「整えさせる」のである。
全員の答えに丸を付けてあげて授業は終了となる。解けたという自信が大事なのだ。

『椿原流 図解で早わかり国語授業①：説明文読解の授業』
（椿原正和著 学芸みらい社）
定価：税込2420円（本体2200円＋税）
説明文を「頭括型、尾括型、双括型」の3タイプに分けて捉えると、筆者の主張がスラスラわかる！ 椿原流図解で早わかりの1冊。

6年 国語 Japanese

「既習事項を用いて説明文を図解させる」授業展開例

ポイントは「キーワードの確定」と「段落の構造を読み取らせる」こと。

光村図書・6年・P189-198

玉川大学教職大学院教授
谷 和樹（たに かずき）
藤橋 研（ふじはし けん）
東京都福生市立福生第六小学校

1 既習事項を用いて図解させる

一八九ページ。単元名は次である。

筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話し合おう

深いテーマだが「今後の自分の生き方」についてとりとめもなく話し合うのではない。大切なのは、

自分の考えを、叙述と経験とを結び付けて、論理的に説明する

ことである。だからこそ、国語の授業なのだ。

教科書には「これまでの学習」が五六ページ等にあることがナビゲートされている。この既習事項を使って本時の学習を展開したい。

五六・五七ページのポイントの一つは次である。

「図解」で考えること

したがって、私の発問は基本的にこれだけである。

発問 「メディアと人間社会」を図解しなさい。

「五六・五七ページで学習したことも思い出してごらんなさい」

と加えてもいいだろう。

班で相談させる。できた班から持ってこさせる。

持ってきた図解をみて、代表的なものを板書させたり、端末で共有させたりする。

発問 どの班の図解が良いですか？ 検討しなさい。

ひとしきり討論させる。

2 キーワードを確定する

図解させる上でのポイントは、

キーワードの確定

である。各段落のキーワードが確定できなければ図解はできない。キーワードの確定が難しそうであれば、教師から指示する。

発問 第二段落から第五段落で大切なキーワードはどれですか。

次のようになる。

二 文字
三 電波を使ったラジオ
四 電波を使ったテレビ
五 インターネット

次に「この文章全体に通じるキーワードの確定」である。第一段落に

「思いや考えを伝えたい。」「社会がどうなっているのかを知りたい。」という欲求をもっています。

とある。それは第六段落にも書かれている。したがって、この文章全体に通じるキーワードはこれである。

欲求

3 各段落の構造を読み取らせる

二、三、四、五段落は、この「欲求」というキーワードを受けて書かれている。

そこで、次のように問う。

発問 それぞれの段落における欲求とは、どんな欲求ですか。

次のようになる。

二　遠くの相手と思いや考えを伝え合いたいという欲求
三　情報を早く伝えたいという欲求
四　情報をありありと伝えたい、理解したいという欲求
五　情報を広く発信したいという欲求

これらが、各段落のキーワードとセットになって図解される必要があるのだ。

さらに、それぞれの段落にはそれぞれのメディアの問題点が書かれている。

それらは、すべて次の構造で書かれている。

～という欲求でそのメディアをつくったところ～という問題点が生じた。

教師がこれを全部説明してしまうのではない。

子供たちが書いた図解の中から、こうしたキーワードや構造につながりそうなものを取り上げて褒めるのである。

最初に書かれた図解を評定してもよい。評定基準はもちろん「キーワード」と「構造」である。

そのうえで、

「再度書き直してごらんなさい」

というふうに進めるのだ。

子供たちが最初に描いた図解は、そのクラスの子供たちの力を測るものさしとなる。

年間カリキュラムに基づいて計画的な指導をしてきたかどうかが、三学期の授業にあらわれる。

4 本文と関連付けて議論させる

この単元には、「大切な人と深くつながるために」の文章もある。「コミュニケーションの技術が上達するほど大切な人とつながることができる」とあるが、具体的な技術については記されていない。そこを議論させたい。例えば

① 言葉を交わさなくてもその場にいる人と深くつながれる非言語的な技術
② 自分の意見の良いところと相手の意見の良いところを取り入れる技術
③ 時には妥協して相手の言うことを取り入れる技術

等が考えられる。

本文と関連付けながら、具体的な技術について議論させたい。

デジタル版 DIGITAL 動画を見ることができます!

基礎・基本

理科
Science

記録カードを仲間分けして明かりがつくつなぎ方を探す

「電気の通り道」の単元では、実験結果を仲間分けすることで明かりがつくつなぎ方を発見させる。

大日本図書・3年・P134-135

愛知県豊田市立飯野小学校
山内 英嗣（やまうち えいじ）

1 課題の確認

教科書を活用して、「乾電池と豆電球を導線でどのようにつなぐと、明かりがつくのでしょうか」という問題を追い読みして確認する。

2 実験器具の確認

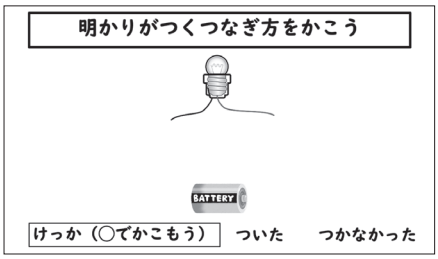
個人用に購入した市販の実験キットを使う場合は記名させる。その後、実験器具を確認する。「先生と同じものを持ちます」と言って、豆電球を見せながら、児童も持っているか確認する。「付いて言います。豆電球」と指示し、名称を言わせる。同様に、導線、ソケット、乾電池も確認する。

確認後、実験に必要ないものは箱や袋などにしまわせる。

3 予想と実験

明かりがつく時のつなぎ方を予想して記録カードに絵を描かせる。絵が苦手な子でもできるように、記録カードには図（右下）のように豆電球とソケット、乾電池が描かれていて、線で結べば完成できるようにしている。

次に実験させ、結果を同じ記録カードに書かせる。



4 結果のカード仲間分け

次に、明かりがついた記録カードと、つかなかった記録カードを仲間分けさせる。

紙の記録カードならば黒板に貼ったり、カメラアプリで撮影してクラウドにアップロードしたりして共有させ、学級で仲間分けする。

5 電気の通り道に気付かせる

その際、児童には、元の絵に電気の通り道を描き加えさせるとよい。それにより、電気の通り道が輪になっている場合のみ豆電球に明かりがつくことに、自ら気付く児童が出てくる。その子の発言を中心に話し合いを展開し、乾電池の＋極と－極に導線をつなぐと、豆電球に明かりがつくことを結論付ける。教科書を活用して「輪になっている電気の通り道を回路という」ことをおさえる。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます!

主体的・対話的で深い学び

理科 Science

向山実践の追試と1人1台端末を組み合わせた自由試行

1人1台端末を活用して、実験結果をアプリに発信させ、明かりがつく決まりを見付ける協働的な学びにする。

大日本図書・3年・P134-135

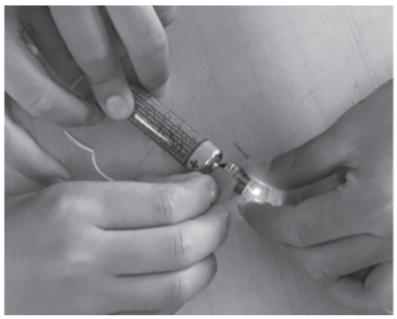
愛知県豊田市立飯野小学校
山内（やまうち） 英嗣（えいじ）

1 導線一本で豆電球をつける

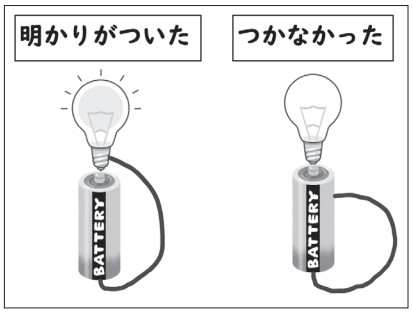
乾電池一個、導線一本で豆電球がつきます。つけたらそっと先生に教えます。

と、教師が実験道具を見せながら指示する。向山洋一氏の二年「まめでんきゅう」の追試である（『教え方のプロ・向山洋一全集25』教育技術研究所）。

安全のため、アルカリ乾電池ではなくマンガン乾電池を使う。導線が熱くなるので＋極と－極を直接導線でつないではいけないこと、熱くなったらすぐ手を離すことを指導する。



児童は、一人もしくは小グループで協力しながらあれこれ操作するが、豆電球はなかなかつかない。初めて明かりがついた子は、「あっ！　ついた！」と喜んで教えるだろう。他の児童にも情報が自然に伝播していく。



2 つなぎ方を図で表す

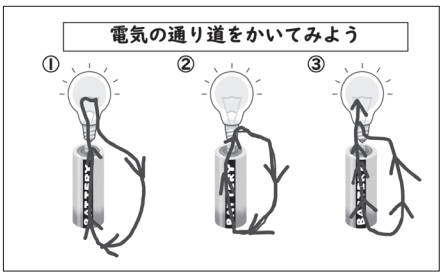
アプリを活用し、明かりがついたつなぎ方とつかなかったつなぎ方について、実験の写真かイラストを用いて、結果をできるだけたくさん発信させる。

3 電気の通り道を検討する

二時間目は、明かりがついた時の電気の通り道が分かるようにイラストに表現させる。

描かせたイラストをもとに、明かりがつくときの電気の通り道を子供たちに考えさせる。

右図の①のように考えた子に説明させる。「＋極と－極までが輪になった時につくのではないか」と仮説を立て、フィラメントにも電気が流れていることに気付かせる。その後、明かりがつくための条件をまとめ、「輪になっている電気の通り道を回路という」ことをおさえる。



デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

道徳6年

自分を守る力を身に付ける授業プラン

1時間の授業の中で、効率的に様々な場面における安全な行動を検討する。そうすることで、自分を守る力を身に付ける。

日本文教出版・6年
P130-133
「自分を守る力って」

兵庫県洲本市立大野小学校
賀本（かもと） 岳陽（がくよう）

1　児童の危機管理について

小学校道徳の学習指導要領解説編には、「安全に関することとしては、交通事故及び犯罪や自然災害から身を守ることや危機管理などがある」という記述がある。道徳の授業でも、児童一人一人が生活を振り返り、見直していくことが求められる。

2　「自分を守る力って」の授業

〈あらすじ〉母親に頼まれた買い物の途中に友達に誘われサッカーに参加したヒデキ。そこで鉢合わせた中学生にお金を貸してほしいと頼まれ困ってしまう。

①　教材文の読み聞かせ

②　状況設定の確認

・登場人物やあらすじを確認。

③　主発問

発問1　ヒデキの行動は何がよくなかったのですか。

・買い物の途中にサッカーをしたこと。
・中学生の視線に気付いたのに、そのまま遊び続けたこと。

発問2　ヒデキはどの場面でどうすべきだったのですか。

・サッカーに誘われた時に、事情を話して断ればよかった。
・中学生に気付いた時に、その場を離れればよかった。

意見を一つ一つ認める。

④　教科書の四つの場面について考える

教科書にはヒデキの例のほかに、「友達の家でゲームをしていて帰りが遅くなり、慌てて家に帰っていたら自転車にぶつかりそうになった場面」など、危険な場面が四つ設定されている。

それぞれの場面について効率的に検討するために、タブレットの共同編集機能を用いる。おすすめは「padlet」である。友達の投稿に対してコメントする機能がある。「シェルフ」というボードを選び、①～④のセクションに分け、次の発問・指示でどんどんと自分の意見を書き込ませていく。

発問3　あなたならこのような場面で、どのように行動しますか。理由もあわせて投稿しなさい。

指示1　意見を投稿できたら、友達の意見に対する質問や反論をコメント欄に書き込みましょう。

時間を十分にとる。意見の交流が進んでいない場面については「○番が人気ないなあ」と言って意見を促せばよい。こうして一つの画面の中で四つの場面の安全な行動について同時進行で議論させていく。そのうえで次のように問い、安全を守るための心構えを共有する。

発問4　危険だと分かっていても危険なことに巻き込まれてしまうのはなぜですか。

・少しぐらいなら大丈夫という気持ち。

発問5　自分の安全を守るためにはどんな心構えが必要ですか。

・後先を考えて行動すること。

単元のゴール「お店屋さんを開き、買い物をしよう」

1　単語練習

食べ物・飲み物（pizza, hamburger, steak, spaghetti）

数字（100 ～ 999）

2－1　状況設定①

日本人の「たえ」が、外国のイタリアンレストランで注文をする。A→店員　B→たえ

A: Hello. Welcome. What would you like?
B: I'd like pizza, salad, and soda.
A: Here you are.
B: Thank you.

2－2　状況設定②

状況設定①の続き

B: How much is the pizza?
A: It's 780 yen.
B: How much is the salad?
A: It's 230 yen.
B: How much is the soda?
A: It's 200 yen.
B: OK. Thank you.
A & B：

計算で戸惑ってしまう児童がいるため、買い物の合計金額は出さなくてもよい。

2－3　状況設定③

状況設定①②を通す。さらに、新出事項と既習事項とつなげる。この活動で、やり取りの力をさらに伸ばしていく。

B: I'd like pizza, salad, and soda.　新出
A: What pizza do you like?　既習
B: I like margherita.　既習
A: Me too.　既習

〈英語5年〉

Lesson8：What would you like?

買い物をするときの表現を、３ステップで指導する。①買い物をする②お金を払う③つなぐ、３つのステップに分けることで、どの子もやり取りができるようになる。

開隆堂

埼玉県草加市立小山小学校
吉川（よしかわ） たえ

3　問答練習　T→教師　C→児童

T: What would you like?
C: I'd like pizza.
T: Here you are.
C: Thank you.

問答を交代する。ジェスチャーを入れると、楽しく覚えることができる。

4　アクティビティ

(1)　ペアで会話練習

Googleスライドで作成したメニューを使いながら、やり取りを行う。

(2)　グループ同士で会話練習

ここでは、お客と店員（注文を聞く人・料理を作る人）に分かれ、やり取りをする。

活動に慣れてくると、料理の感想やおかわりの注文をするなど、楽しいやり取りになる。

オンライン・
ハイブリッド授業で使える

12のワザ

学びのプラットフォーム活用編

Jamboard終了でも大丈夫。子供たちは新しいオンラインホワイトボードを使いこなす

2024年末でJamboardが終了する。現在のJamboardを使い慣れていれば、子供たちは新しいツールでも問題なく使いこなすことができる。

北海道北見市立三輪小学校
塩谷（しおや） 直大（なおひろ）

1　Miroで二年生に授業する

Miro（ミロ）はオンラインホワイトボードの一つだ。Jamboardに代わるサードパーティ製のアプリとして注目されている。担任している二年生でミロを使って授業してみた。

その際に、次の二点を意識して授業に臨んだ。

① 事前に教師が少し操作してみること
② 使い方を細かく教えなくても、子供たちは直観的に使いこなすだろうということ

2　教師が操作してみる

授業前に三〇分ほどミロを操作してみた。Jamboardと似ているところが多い。Jamboardに慣れている子供たちなら、問題なく使いこなすだろうと予想した。アカウントの取り方や招待の仕方がJamboardとは違う。自分で気付いたことは、校内で共有できるように資料にまとめた（資料参照）。

3　直観的に使いこなす

実際に授業で使わせてみると、私の予想どおりになった。付箋の付け方、ペンでの描き込み方、文字の入力の仕方など、一つ一つを説明しなくても問題なく操作していた。

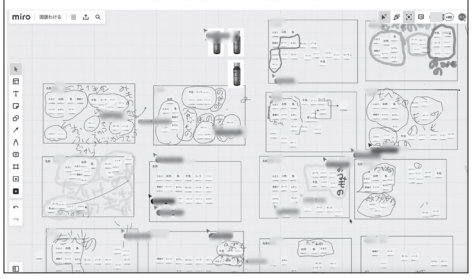
4　共同編集の感覚

子供たちは、これまでJamboardでの共同編集に慣れていた。ミロでの共同編集も、全く混乱がなかった。

一度、共同編集の感覚をつかんだ子供たちは、他のオンラインホワイトボードでも、転用して取り組めるのだ。

低学年のうちから共同編集の感覚をつかませておくことの大切さを改めて実感した。

Miroでの共同編集の画面



使い方を動画で紹介　　**北海道　塩谷直大**

miro　Miro のオンラインホワイトボードは web会議で活躍するホワイトボードアプリです。

Jam boardの段階的終了（Googleより）
①2024 10/1　でジャムボードでの新規作成・編集が不可→閲覧のみ可
②2024 12/31　でジャムボードが完全に終了→過去のデータも完全に削除される
③Google workspace内でジャムに代わるサードパーティ製のアプリと提携する。

Miroはジャムに代わるサードパーティ製のアプリの１つです。

1　どんなことができるの？ ジャムボードのように共同編集ができます。付箋や書き込みなども同様にできます。	共同編集の場面を動画で見てみよう。模擬授業で付箋の仲間分けをしている場面。	https://youtu.be/06CUi6WpmE04
2　どうやってはじめるの？ アカウントの作成、ダッシュボードの設定、ボードの作成、共有という流れです。	Mircと検索するところから使い始めるまでを動画にしています。	https://youtu.be/h2mH24dZuJQ
3　子供たちを招待するには？ 現在のMiroの設定ではチームに招待し、ボードに入ってもらう形になります。	子供たちの画面（招待される側の画面）を動画で見てみよう。	https://youtu.be/sSTfIGjR0Hs

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます!

新時代の
情報活用能力を伸ばす指導法

他者参照が可能なツールで「情報の分類」スキルを身に付けさせる

Miro（ミロ）で「仲間分け」を授業した。1つのボードにクラス全員が入り、共同編集できるので、他の人の考えをすぐに参照させることができた。

北海道北見市立三輪小学校
塩谷（しおや） 直大（なおひろ）

1　Miro（ミロ）で共同編集

オンラインホワイトボードのミロは、Jamboardの代わりとして注目されているツールの一つだ。Jamboardに慣れている子供たちならば、大きな混乱なく操作できる。このミロを使って、二年生の子供たちに「仲間分け」の授業を行った。情報を分類し、グルーピングするスキルは、「情報を整理する」ための基本的な技能である。

2　買った物を分類

事前にミロのボード上に「教師が三日間で買った物」を付箋で列挙しておいた。一五枚の付箋のセットを学級人数分にコピーして、並べておく。座席表の順番に並べておくと、子供たちは自分でどれが自分の付箋セットなのか見付けることができる。

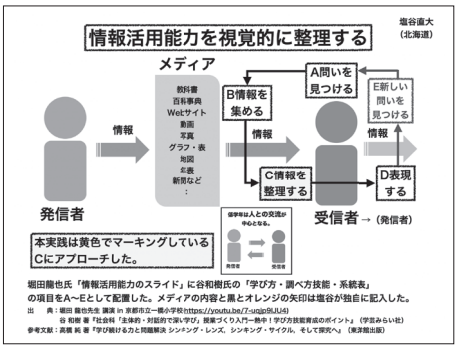
指示　先生が買った物を仲間分けしてごらんなさい。

指示　仲間をペンで囲んで、「○○関係」と名前を付けておきなさい。

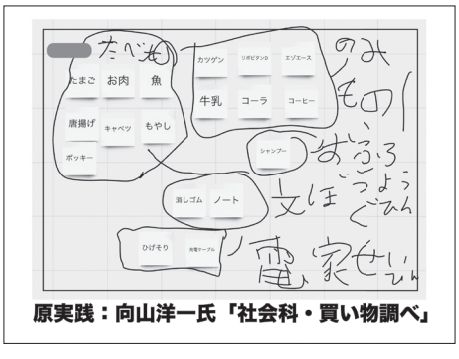
指示　分からないものは、「分からない物関係」というグループに入れておきなさい。

子供たちはミロのボード上で一斉に分類を始める。分類で迷った時は、同じボード上で友達が分類しているので、参照することができていた。

「同じ付箋なのに、A君の分け方は私と違うね」友達の分類の仕方から新しい発見をする子がいた。楽しい授業になった。



堀田龍也氏「情報活用能力のスライド」に谷和樹氏の「学び方・調べ方技能・系統表」の項目をA～Eとして配置した。メディアの内容と黒とオレンジの矢印は塩谷が独自に記入した。
出　典：堀田 龍也先生 講演 in 京都市立一橋小学校(https://youtu.be/7-uqjp9UJU4)
参考文献：谷 和樹『社会科「主体的・対話的で深い学び」授業づくり入門―熱中！学び方技能育成のポイント』（学芸みらい社）
参考文献：奥西 拓 著『学び続ける力と問題解決 シンキング・レンズ、シンキング・サイクル、そして探究へ』（東洋館出版）



原実践：向山洋一氏「社会科・買い物調べ」

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

中学校の授業実践
英語

海外の学校との交流にチャレンジしてみませんか？

オーセンティック（本物の）な言語活動で子供たちのやる気を引き出し、学んだ知識を活用する。

長野県長野市立長野中学校
白鳥（しらとり） 友樹（ともき）

1　ボストンランドマークスクールの生徒と文通

TOSSが海外視察で交流しているランドマークスクールの生徒と、二年間で四回、往復の手紙のやり取りをした。生徒は回数を重ねるごとに、手紙を書いた相手のことを考えて、英文を書いていた。本稿では、二回目に手紙が届き、その返事を書く実践を紹介する。

2　リアルな相手がいるから書きたい気持ちが湧いてくる

国際郵便で届いた封筒を子供たちの目の前で開き、中を見せた。

「おー！」と歓声が沸いた。二度目なので、文通する子の名前を覚えていて、手紙を渡すと、自分からどんどん読み始めた。分からない単語があると、端末で調べる子もいた。実際の手紙を手にした子供たちから「読みたい」「書きたい」という気持ちが伝わってきた。英語を使って海外の人とつながる経験が、やる気を引き出すのだ。

3　子供と考えたルーブリック

特別支援学級在籍のA子への手紙には、pen palの好きなアーティストが書いてあった。「どんなことを書く？」と問うと、「質問に答えたい」「相手が興味のあることについて自分も伝えたい」という意見が出た。さらに、ランドマークスクールの先生から①のようにリクエストがあった。子供たちとやり取りをしながら、手紙の返事のルーブリックを決めた（②）。

◆Landmark schoolの先生よりメッセージ
We want to climb Mt. Fuji, try Japanese food, and visit Tokyo.
We learn about festivals and holidays.
We learned about how to make paper cranes.
We look forward to your next letters. ①

◆手紙の返事ルーブリック
AA　A, Bに加えて、landmark schoolの先生のメッセージを参考にして、日本のことについて伝えようとしている。
A　質問されたことを元に、話題をつなげて書いている。
B　相手の質問に答えている。 ②

Dear Tom
Thank you for your nice letter. You like music very much.
Your favorite artists are Billie Eilish and Tom Felton.
I know Billie Eilish, but I don't know Tom Felton.
Do you know BTS？ I like BTS. I like JUNG KOOK and V.
They are cool. Please listen.
Sincerely,
A

A子が書いた手紙

すでに手紙の書き方や形式を学習していたので、相手の名前、書き出し、結びの言葉をスラスラと書いていた。授業で学習した知識をオーセンティックな場面で活用している姿だと思った。多くの子は一時間の授業で仕上げたが、「持ち帰って書いてきていいですか」という子もいた。また、B子は、日本の折り紙のことを書き、手紙と一緒に折り紙を送ることを学級に提案した。リアルな相手がいるからこそ、子供たちの心が動き、本物のコミュニケーションが生まれるのだと実感した。

勤務校は来年、台湾との交流が決まった。交流を言語活動の軸に位置付け、「やる気」を引き出す授業を行っていきたい。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

高校の授業実践
理科

地球温暖化の授業

TOSSランドにある楠康司氏の実践「氷が溶けると水はこぼれるか？」を追試した地球温暖化の授業である。優れた実践を取り入れることで熱中が生まれる。そこに発達段階に合わせた発問を追加することで、小学校の実践を中高版に変えることができる。

北海道浦河高等学校
上田（うえだ） 浩人（ひろと）

「地球温暖化が進むと、困ることは何ですか。口々に言います」

気温上昇、異常気象、海面上昇などが出る。

「今、海面上昇という発言がありました。なぜ、地球温暖化が進むと海面上昇が起きるのですか。お隣と相談します」

数名に発表させる。氷が溶けて水が増えるからという意見が出る。

「今の意見に反対の人はいますか」

「写真のように、コップに氷を入れ、水をあふれるギリギリまで注いだとします」

「水が溶けたら、コップの水はどうなるでしょう。どれかに手を挙げます」

① あふれる。
② 少しあふれる。
③ あふれない。

「分布を確認します」

あるクラスでは、次のような分布になった。

① あふれる。……一名
② 少しあふれる。……四名
③ あふれない。……一八名

「理由をノートに書きます」

「理由を発表します。では、少なかった①から」

少ない意見から①、②、③の順で発表させていく。

「では、実験で決着を付けましょう。写真と同じように準備し、やってごらん」

五～一〇分ほどかかる。時間を早めたい時は、手でコップを温めさせるとよい。

「結果はどうなりましたか」

水はあふれない。

「念のため、確認です。水があふれたという人はいますか」

「いませんね。なぜあふれないのですか。理由を前後の人で言い合います」

出ない場合はGoogle検索や生成ＡＩ等で調べさせても良い。

「発表します」

溶けた氷の体積と増えた水の体積が同じであるため、あふれることはない。

「コップの水はあふれないのに、なぜ水面上昇が問題になっているのですか」

水面に浮いた氷ではなく、陸上にある氷が溶けている等の意見が出る。

「陸上の氷とは、どこの氷のことですか」

南極、グリーンランドなどの意見が出る。

「地球温暖化について調べ、まとめてみましょう」

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

問題づくりで豊かな発想やユーモアを引き出す

「５００円玉での買い物問題」は正しい。が、その先の豊かな広がりを追究するのが向山学級だ。

東京都日本文化大学・講師　木村重夫（きむらしげお）

東京書籍（平成７年度版）
４年上・P76

５００－25×８の式を使ってとく問題をつくりましょう。

東京の高校数学教師・村瀬氏の分析。

「不思議な問題である。『５００円』とは書いていないのに、５００円玉のイラストがある。おそらく、教科書会社の親切心で児童に問題を想像しやすいように、かかれたのであろう」

この「５００円玉イラスト」に引きずられた方が多かった。

山口の林氏。マイナス二〇点。

イラストに５００円玉がある。となると、問題文は、買い物の場面となる。「ひく」なので、おつりとなる。

愛知の岩井氏。マイナス二〇点。

イラストに五百玉が描かれていることから、お金の問題である。引き算だからおつり、買ったものは25×８。

教科書会社が加えた「５００円玉イラスト」によって、問題づくりが買い物に限定され、広がりに欠けてしまった。

別の解釈もある。東京の徳本氏。

なぜならば、「初めに５００円持ってきました」とするならば、２００円出してしまえば、お釣りがなくなるので、ちょうどよく、実際の生活場面にそぐわなくなる。ここに載っている５００円玉のイラストには、意味がある。

「１００円玉５個」でなく「５００円玉」だからこそ「おつり」が生じるという。この分析はプラス一〇点。

向山氏は初めから「５００円玉」を超越した問題づくりを考えていた。

５００だから５００円でもいいし、５００人でもいいし５００億円でもいいんです。５００kgでもいいし。

問題ができた子六人に板書させた。

◆１個25円のアメを８個買って５００円出しました。おつりはいくらですか。

◆１個25円のガムを８個買って５００円出しました。おつりはいくらですか。

全員に発表させたとき、ある男の子がボソッとつぶやいた。

みんな同じじゃん。つまんねえ。

みなさんなら、この男の子の発言にどう対応しますか？（立たせる？　もう一度言わせる？　ビシッと叱る？　無視す

る？）

向山氏は言った。

今、先生と同じようなことを言ってくれたの誰だっけ？　今なんて言った？（中略）「つまらない」って言ったじゃない。先生もそう思ったの。ごめんね。つまらなくてもちゃんと合ってるんだから、いいんですよ。

向山型算数を追う私たちは、向山氏の対応の「その先」を見る必要がある。正答を認めながらも、さらに要求するのだ。

向山氏はたし算、ひき算について「語り」をされた。たし算というのは本当は三つある。ひき算は「おつり問題」（求残）ばかりでなく「どちらが多いか比べる問題」（求差）もある。そしてクラスの子供をモデルにした問題を語ってみせた。これぞ向山式例示である。

サトイチ君、親戚が1人しかいません（笑）。それでお年玉を５００円もらいました。ニシハラ君、親戚いっぱいいます。８人もいます。（ワー）１人から25円ずつもらいました（笑）。はい、サトイチ君は１人の人から５００円もらいました。ニシハラ君は８人の人から25円ずつもらいました（大騒ぎ）。どちらがどれだけ多いでしょうか。問題になりますね。

子供の豊かな発想やユーモアは、教師の発想やユーモアに規定される。

私たち教師が「５００円玉の買い物問題」しかイメージできなければ、子供の発想も狭いものに終始するだろう。

子供が「言いたい！」と発表した。

◆ある日、A君が５００本の木の枝を集めていました。集め終わったキャンプファイヤーの枝を25本ずつ分けてから８つにまとめました。さて余ったのは何本でしょう。

向山氏**「優秀な問題だなあ！」**

◆５００人の生徒が25人乗り８台のバスに乗りました。このままだと何人が乗れませんか。

向山氏**「なるほど素晴らしい問題だ」**

応募された方の中でも、ご自分で買い物以外の問題をつくられた方がいた。教師が手本をつくってみせることは大切だ。

宮城県の管野氏。ユニークな問題だ。この問題だけでプラス二〇点。

五百円から離れた問題を作った子を褒める。（中略）先生問題です。

「４年生の五百人で遊園地に行きました。最後に二十五人乗りのジェットコースターに乗ります。閉店間近のため、残り八回しか動いてくれません。何人の人がジェットコースターに乗れずに悲しんでしまいましたか。」

教師と子供の「分かり合えなさ」に橋をかける

子供の発言の中に、本当に分かってもらいたいメッセージが隠れている。

NPO法人翔和学園　松尾（まつお）大輝（だいき）

松尾 大輝
NPO法人翔和学園

››››翔和学園でのドラマ

昼休みが終わってもスマホをいじり続けているM君に、南先生が声をかけた。それを見ていたN君がM君をビンタした。別室に呼んで話を聞いた。N君は、「この学校にいられない、帰らせてほしい」と主張して泣きながら学校から帰っていった。

一　言い分を聞く

次の日、オンラインで彼の言い分を聞くと、以下のとおりであった。

① Mがスマホゲームをしながら昼ごはんを食べていた。

② 南先生に言われてもごはんを食べなかった。俺も注意したけど、全く食べてくれなかった。

③ M君は南先生に「殺す」と言った。

④ スマホをやめなかった。

⑤ N家では、食事中にスマホをしてはいけないルール。マナー違反だ。弟も言っていた。

⑥ だから、制裁を加えた。

⑦ もうこの街にはいられない。もう終わり。

⑧ お母さんに怒られた。学校に行けと言われる。気持ちを分かってくれない。

その日からN君はオンラインで授業に参加するようになった。何度も説得して登校を促した。しかし、「Mがいるから」と言って登校しない。

二　過去の経験を聞く

保護者から以下の情報をもらった。

(1) 家庭でもルールやマナーを守ることは厳しく言っている。

(2) 小中学校時代に激しいいじめを経験している。友達から責められることが多かった。

N君自身も同じようなことを話してくれた。

三　彼の言い分を解釈する

N君の中にはルール違反をするたびに厳しく責められた経験があり、「ルールは守るべきだ」という固定観念がつくられていた。

また、N君は何度も「制裁」という言葉を言っていた。N君の中での、「ビンタ」は「悪を制する正義の制裁」なのである。

四　洞察して仮説を立てる

彼が怒ってビンタをしそうになる瞬間が予想できた。それは以下のとおりだ。

1. 守るべきルールを犯す人がいる。
2. 何度も注意を受けている人がいる。
3. 反抗的な態度を取る人がいる。

彼が怒ってしまい、そのまま放置するとビンタしてしまいそうな瞬間が見えるようになった。そこで、怒ってしまう前に声をかけられるようになった。

怒らなくても済むようになった彼は、再び登校してきた。

「漢字が苦手」への支援プラン

順序性の課題へ対応する。無想起課題へ対応する。

NPO法人TOSS理事
㈱RIDGE SPECIAL EDUCATION WORKS
発達支援コンサルタント
小嶋（こじま）悠紀（ゆうき）

様々な学級で漢字指導をたくさん見てきた。

漢字が苦手な子供の相談もたくさん受けている。

もちろん特別支援的な観点でのアドバイスはできる。

しかし、その前に、いくつかちゃんと学習指導ができているかをチェックしたい。

①　漢字スキルを宿題にしていない

まずは最低条件であるが、新出漢字の指導を宿題にしている場合、絶対に苦手は克服されない。

②　指書きを徹底している

指書きを徹底していない場合、発達凸凹の子供たちは漢字習得が難しくなる。

③　書き順を声に出させている

書き順を声に出させるのは、順序性を保証するうえで、とても重要である。

最低でもこの三つが保証されている授業であり、「あかねこ漢字スキル」をユースウェアどおりに使っていて、それでもなお「漢字の書字に困難がある」という場合は、本当の意味で通常の漢字指導では習熟が難しいということができる。

それでは、通常学級で私がよく行っていた支援をご紹介する。

●　筆順の順序性のサポート

最初の段階では、漢字テストなどは、

「先生が赤鉛筆で書いていくから、『その先は書けるよ』というところまで来たらストップと言ってね」

と伝えて、書き順を言いながら書いていく。

最初は残りの一画や二画を残すだけだと思う。それでも、

「ここからは思い出したんだね！　えらいね」

と言って、褒める。

このような支援を続けていくうちに、

「残り一～二画だったのが、五～六画になる」

のである。

最終的に、

「最初の一～二画を書けば思い出せるようになる」

子も多い。これは「順序性」を「思い出せない」ことに原因があるのである。

このような支援でも、できない子は多い。

それはそもそも「順序性」のような面に課題があるのではなく、「漢字の形自体が想起しにくい」という根本的な問題を抱えていることが多い。思い出せないのに、順序性を支援しても苦しいだけなのだ。

そこで私は、

「部首とそれ以外の部分をバラバラにして組み合わせる漢字テスト」

を用意しておく。

漢字を組み合わせるので、とても簡単にテストができる。

この場合、筆順の必要性がない。

無想起のような課題が生じている子供には、とても効果のある指導法である。このことは、私が実践を通して感じている。

【インスタグラムアカウント】
@oshietekoji1t

安原ドクター語録から学ぶ
特別支援教育

YCCもこもこにくる子供たちとその支援法

子供の自己効力感の学習支援を大切にするために。

㈱onevision YCCもこもこ
笹野 達哉（ささの たつや）

アドバイザー

安原 昭博
安原こどもクリニック　院長

(1) 自己効力感が低下した子供たち

適切な理解と支援がないと、自己効力感の低下、「どうせでけへんねん」、「わたしにはわからへんねん」という自己否定感につながる。

(2) 学習性無力感

無力感（「でけへん㊟」「わからん㊟」「しらん㊟」子供の3N）を学習すると、本来、力があるのに、取り組む姿勢や意欲がなくなり、何事に対しても引いてしまう子をつくってしまう。

一人一人にあった指導法を研究し、子供の事実をもとに試行錯誤を重ねながら教育支援教材・教具を作成していくことがYCCもこもこでは求められる。

算数障害の例を踏まえて説明をする（安原ドクター二〇二〇年のLDの講演より抜粋）。

算数障がい（ディスカリキュア）の学習者は、シンプルな数の概念を理解することの困難や直感的に数を捉える力の欠如があり数的事実と処理手順の学習に問題を抱えている。たとえ、正しい答えを出し、正しい方法を使ったとしても、機械的に答えを出しているのであって、確信をもった理解をしていないと思われる。また、黒柳徹子さんは、算数障がいだと言われており、※頭の回転が速いのに、「徹子の部屋」で計算する場面が出てくると、フリーズしてしまう。

学習性無力感をつくらないような支援方法が望まれる。

※『小さいときから考えてきたこと』（黒柳徹子著　新潮文庫）より。

(3) 学習支援のヒントとして

① いろいろなアプローチ

小さな成功体験を積み重ねる。その子にあった教材、教具を与えること（合理的配慮）で褒めることができる。

《間髪入れずに褒める》。

② 適切な学習支援法

具体物、半具体物を利用することによって、イメージしやすいようにする。文章題の内容などは図で示す。また、位取りを色別に明示するなど、分かりやすくしたマス目に書かせる。一回に解く問題の数を少なくする等の適切な学習支援を行うと、「分かった！」などといった自信を示す発言が出てくる。柔らかな表情と笑顔、笑い声も出てくる。できると思う心（自己効力感）が芽生える。人と比べるのはなく、少し前の自分と比べる（絶対評価）ことが大事である。

プロが教える 教室でできる 日本語指導

大人も子供も「替え歌」で楽しく日本語を覚えられる

外国人への日本語教育から「ろう教育」にまで活用された新しい文法④

新宿日本語学校：江副（えぞえ）隆秀（たかひで）　協力：白杉（しらすぎ）亮（りょう）

江副 隆秀
学校法人 江副学園
新宿日本語学校 校長

日本語指導の初期段階では、「月」「日」「曜日」など覚えることがたくさんある。新宿日本語学校では、これらを歌詞に取り入れた様々な替え歌をつくり、学生たちに紹介している。この替え歌による指導は小学校の外国人児童向け日本語学級でも実践され、「子供たちがすぐに覚えた」と好評である。

以下に概要とYouTubeリンクを掲載したので、参照されたい。

1 「月」の歌～幸せなら手をたたこう

「いちがつ、にがつ…」といった月の読み方は、「幸せなら手をたたこう」のメロディーに乗せて歌うと覚えやすい。特に「しがつ」「しちがつ」「くがつ」など間違えやすい読み方は、初期にしっかりと覚えさせることが重要である。児童の場合は、手をたたいたり足を踏み鳴らしたりなど体の動きも取り入れるとよい。

2 「日付」の歌～シャボン玉

「ついたち、ふつか」といった日付の読み方も、初期に覚えてしまったほうが良い。こちらは、「シャボン玉」のメロディーに乗せて歌う。

ちなみに「ついたち」は「月＋立つ」＝「つきたち」（月が立ち上がる→月が始まる）からきている。場合によっては語源も紹介するとよい。

3 「曜日」の歌～ハッピーバースデー

「げつようび、かようび…」はハッピーバースデーの曲が適している。単に曜日だけでも良いのだが、漢字の学習も組み合わせて、「つき（月）とひ（火）と…」と覚えさせると効果的である。

「月」「日」「曜日」のどれも、歌の最後に「なんがつ？」「なんにち？」「なんようび？」という問いの形を示している。問い方とセットで覚えさせることも重要である。

4 日本語教材「みるみるにほんご」

この度、教育技術研究所から、外国人児童生徒向けの教材「みるみるにほんご」および江副文法関連書籍が発売された。前者は江副式日本語教授法を児童生徒向けにアレンジした教材で、ダウンロードしてすぐに活用できるようになっている。ぜひご活用いただきたい。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

感情のコントロールが難しいA君を救った「アンガーコントロールトレーニングキット」

付箋を動かすことで、目に見えない「成長」を実感できる。

富山県立特別支援学校高等部　湯本（ゆもと）雅行（まさゆき）

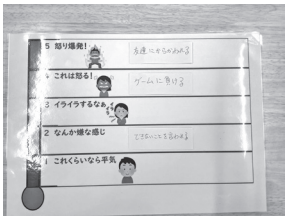
TOSS教材
お得情報!!
くわしくは、下をご覧ください。

「俺、イライラしなくなったかもしれん」

前年度、感情に任せた暴言・暴力が多かったA君を、高等部二年生で担任した。A君は傷つき体験も多く「どうせ俺なんて」が口癖だった。

そこで、自立活動で高等部用に修正した、「アンガーコントロールトレーニングキット」を用いて、感情のコントロールの練習を行った。

まず、A君と一緒に、過去に怒りを感じた場面を付箋に書き、怒りの度合いを数値にした「怒りの温度計」に貼って整理した。その後、怒りに合わせた対処法を相談したり、認知の修正を行ったりした。



面談を重ねる中で、A君はイライラを我慢する場面が見られるようになった。そのたびに多いに褒めた。すると、少しずつ「怒り爆発」に貼ってあった付箋が減ってきた。

付箋が動くことで、A君は成長を実感していった。

「感情のコントロール」は目に見えないため、成長を実感しにくい。しかし、この教材は「付箋の移動」で成長を実感できる。

◆TOSS教材　お得情報！　2023年12月15日～ 2024年1月14日　現在

教育技術研究所だけでなく、光村教育図書、正進社、騒人社、学芸みらい社、日本教育新聞社、などのお得な情報を随時お知らせいたします。（P54，55の上欄の記事と連携しています）

繰り返し練習して覚える!
フラッシュカード　正進社

●トークライン読者限定！　下記のフォームよりご応募いただいた方から抽選で5名様に、正進社のマスコットキャラクターのファイル、ストラップ、コースターをセットにしてプレゼントいたします‼

応募期間：
2023年12月15日（金）～2024年１月14日（日）
アドレス：
https://forms.gle/fGBC3yc2N5d7ndH27

毎年恒例! 日頃の感謝をこめて
歳末感謝祭 2023-2024　教育技術研究所

●日頃のご愛顧に感謝をこめて、歳末感謝祭2023-2024を行います！
「五色百人一首」などの人気教材や向山洋一のお宝資料など、感謝祭ならではの教材をお得にご提供いたします。

キャンペーン期間：
2023年12月8日（金）～ 2024年1月28日（日）
TOSSオリジナル教材：
https://www.tiotoss.jp/

◆このページの教材は**教育技術研究所**でお申込みいただけます。

TOSS教材のお問合わせ、お申込みは
教育技術研究所　0120-00-6564

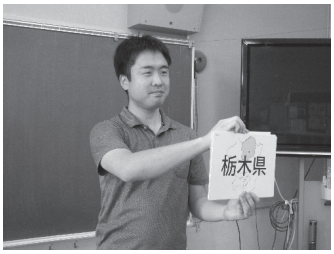
デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます!

リズムとテンポがクセになる！熱中必須の「フラッシュカード」

重要語句を覚えるのに最適。

栃木県足利市立久野小学校　西城（さいじょう）慶太（けいた）

TOSS教材
お得情報!!
くわしくは、下を
ご覧ください。



「市役所！」「警察署！」「消防署！」社会科の授業の開始、いつもフラッシュカードから始める。すると、子供の元気な声が教室に響き渡る。

地図記号や都道府県を覚えさせるとき、プリントに何度も書かせるだけでは苦痛を感じさせてしまう。正進社のフラッシュカードを使えば、短い時間で、子供たちが熱中して取り組む。

以下は都道府県フラッシュカードをやってみての、子供たちのコメント。

「楽しい。その県の有名なものも覚えられる」

「リズムが良いから覚えやすい」

「スピード感があって楽しい」

また、二年前に担任していた子供とフラッシュカードの話題になった。「千葉県、らっかせい！　でしょ?」と、今でも覚えているとのこと。「教材の力」を感じた。

他にも四字熟語・割合・歴史人物・英会話といった様々なテーマで販売されている。使ってみてほしい。

デジタル・トークライン連動！
すぐに使える今月のおすすめレク動画

対戦が苦手な子でも、楽しく参加できる百人一首

負けても、笑顔になるワクワクドキドキの運ゲーム。

広島県三次市立酒河小学校　藤原（ふじわら）司（つかさ）

指示　国語の百人一首と同じように、札を並べなさい。

指示　自分の机の上、札が10枚ありますね。消しゴムを３つ置きなさい。
消しゴムがなければ、鉛筆など、筆記用具を置きなさい。

説明　先生が10枚読みます。読まれた札を取ります。消しゴムを置いた札が多く残った方の勝ちです。１回、練習します。（１回練習をする）

説明　消しゴムが多く残った人が勝ちです。
残った数が同じなら、じゃんけんをします。勝った方が勝ちです。
本番します。（本番をする）

指示　国語の百人一首と同じように、移動しなさい。（本番→移動を繰り返す）

このゲームは運要素の強いゲームである。よって、対戦が苦手な子でも、楽しく参加できる。負けた時の様子を見てみると、皆、笑顔である。「運が悪かったから、負けた」と思えるからだ。

（教育トークライン2023年３月号　千葉雄二氏実践「爆弾ゲーム」修正追試）

デジタル版 DIGITAL
動画を見ることができます!

TOSSランド・TOSS-SNS・TOSSメディア活用実践

「変化させる側」に回る

講座づくりを支えるTOSSメディア。

【今月のコンテンツ】
TOSSメディア
「授業の腕を上げる法則」
「子供を動かす法則」
「学級を組織する法則」

東京都三鷹市立羽沢小学校　小島 庸平（こじま ようへい）

11年前、私は新卒で２年生を担任した。その年のGWを過ぎたあたりから、私の指示が通らなくなり、次第に授業が成立しなくなっていった。今振り返ると、その原因は、「分からない授業」だったと思う。その年は、何とか１年間をつなぎとめることができたが、次年度へ向けて不安が募るばかりであった。

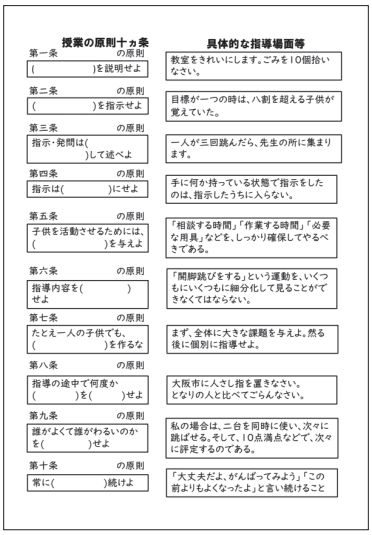
その年の春、「教え方セミナー」というものが、全国各地で開催されていることを知った。自分を変えたいと思い、自宅から近い東京の会場だけでなく、関東各地の教え方セミナーにも数多く参加した。

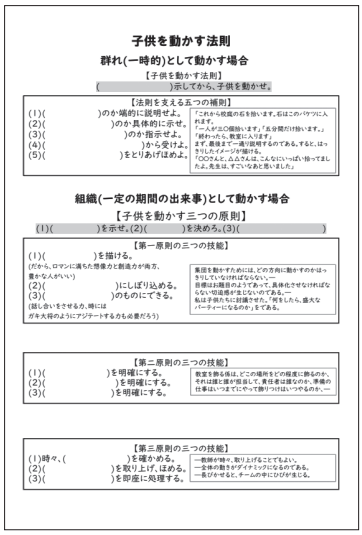
それから数年後、自サークルの教え方セミナーの１講座を任せてもらえるようになった。今では毎年、教え方セミナーの講座をもたせてもらっている。

その際、講座づくりに活用しているのが「TOSSメディア」である。TOSSメディア内には、『新版 授業の腕を上げる法則』『新版 子供を動かす法則』（いずれも学芸みらい社）等、４月からの学級経営に役立つ本を閲覧することができる。これらの本を基本文献にし、資料づくりや講座づくりを行っている。書かれていることを意識するだけで、授業が変わる教師の必読書だと思う。

かつては、「教えてもらう」ばかりだったが、今では「伝える側」に身を置き、これまでの学びをさらに深めることができている。東京大学准教授中原淳氏は著書の中で「大人の学び」として、教えられる側から教える側に回ることを勧めている。「どんなに教え手が、学び手とともに知識をつくり出すとしても、教え手はある程度、場を維持する責任があります。そのためには、あなた自身が『学び続けること』が求められます。」（『「学び」の教科書』かんき出版）

教えられる側から伝える側に回る時、TOSSメディアが大きな武器になる。





GIGAスクール
端末１人１台時代の
指導術

英語のやり取りの録画を活用した学び方

撮影した動画を共有し、友達のやり取りの動画を見て、やり取りの表現や会話のつなげ方を学ぶことができる。

長野県長野市立長野中学校
白鳥（しらとり） 友樹（ともき）

一　録画機能の活用で話せるようになったA子

今年度異動し、「学力的に厳しい」と引き継いだA子に出会った。授業開きから二時間目の授業で、TOSS英会話の指導によって、五往復の会話ができるようになった。一か月半後、一分三〇秒で一二往復できるようになった。A子が話せるようになったのは、

やり取りの録画と共有

をしたことによって、より長く、会話のつなげ方を学んだからだと考える。

次の三つのステップで端末を活用している。

① やり取りを録画する。
② 自分の録画を見て、振り返りを投稿する。
③ 友達の録画を見て、コメントをする。

このサイクルを繰り返すことで、友達のやり取りを真似して、会話のつなげ方を学ぶことができる。

二　やり取りの録画の仕方

ヘッドセットをマイクとして活用している。端末についているマイクでは、音声をクリアに録音できない場合がある。ヘッドセットがあれば、マイク代わりになる。

自撮りでも録画は可能だが、誰かに録画をしてもらうほうが緊張感が増し、即興のやり取りも撮ることができる。

三　振り返りを投稿する前にすべきこと

勤務校ではTeamsを使っている。投稿する前に振り返りの視点を与えることで、学ぶことが焦点化される。最初は、「スラスラと話せたか」「やり取りのつなげ方を工夫したこと」について投稿するように指示した。オリジナルの表現に注目させたい場合は、左上の投稿画面のように、注目させたいことを指示してから、投稿させる。この振り返りを共有することで、「この人の録画を見てみたい」という布石にもなる。

四　教師がコメントを取り上げて褒める

やり取りのつなげ方に注目しているコメントを取り上げて褒める。自分が話すときの参考にもなる。

今後も英語の授業におけるICTの活用について全国の仲間と研究・実践を積み重ねていきたい。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

有段者が教える！学級経営の極意・子供たちのドラマ

暴れん坊の心を開くため、共感的理解・代理の謝罪・モデルの提示（力加減の練習）が鍵になる。

大阪府富田林市立大伴小学校
原田 朋哉（はらだ ともや）

課題

Aは、力のコントロールが難しく、距離感の難しさから毎日、暴言・暴力が続いた。

共感的理解

私の役割は、**学校でのAの頼りになる保護者になること**と考えた。例えば、鬼ごっこの場面で、「タッチした、タッチしてない問題」がよく起こった。夢中になり過ぎて、タッチされたことを本当に気付いていないのかもしれないし、わざとタッチされたことに気付いていないふりをしているのかもしれない。それは本人にしか分からない。そこで、重い心の扉を開けるために、Aが困ったら、寄り添い、相談を聞いた。「なるほど、そう思ったんやな」「それは辛かったな」「でっ、どうしたかったの?」「今度、どうしたらいいと思う?」「じゃあ、それを伝えたらどう?」など共感的理解を示しながら、時間をかけてAの話をじっくり聞いた。急がば回れだと思ったからだ。暴力場面を極力減らすために、時間が許す限り、休みも一緒にい続けた。

率先垂範としての謝罪

Aがトラブルを起こしたら、一緒に謝った。一緒に謝ることで、相手も納得したし、Aも謝りやすくなったからだ。大上段から、悪いものは悪いと指導することも必要かもしれない。しかし、受け皿のないその当時のAにとって、指摘や説教が彼自身の存在拒否にしか捉えられず、指導にならない。**まず、一般論を捨て、Aの心に寄り添い、心を解きほぐすことが、頑ななAの心の氷を溶かし、Aも周りも幸せになることだと信じ、Aと一緒に謝り続けた。**二か月近く経った六月ごろ、Aだけで謝ることができるようになってきた。

喧嘩ごっこ

力加減が分からないA。本当は、みんなと仲良くしたいけど、力が強すぎて、暴力だと思われてしまう。そこで、私と喧嘩ごっこをすることにした。私の掌にパンチを当てる練習を通して、「ちょっと力が強い。もっと優しく」「当たりそうで当たらない所で止めてみて」など言いながら。そこで、力加減を少しずつ学んでいった。

伝えるための文字

ひらがなを全て習った後、Aはうれしくなってクラス全員の名前を一枚の紙に書いた。それを写真に撮り、テレビに投影してクラスのみんなに紹介したら、Aがみんなの事を考えているのが伝わり、拍手と称賛を浴びた。この件から、Aは臆することがなくなり、授業中も、積極的に発表するようになり、周りの仲間との距離もさらに縮まっていった。Aの件から、時間をかけ、モデルを示し、教え、褒め続けることの大切さを再確認することができた。

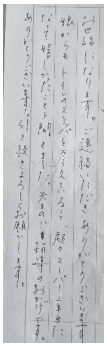
仕事に役立つこのアプリ！
時間短縮の仕事術

Google keep

子供たちを均等に褒め、所見にも使える優れ技。

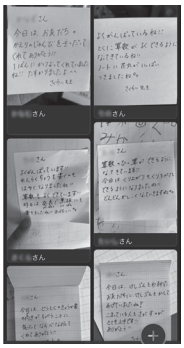
山口県周南市立富田東小学校
櫻井（さくらい） 愛梨（あいり）

子供を褒める方法の一つとして、私は、メモにメッセージを残し、連絡帳に貼って返却している。保護者からも感謝のお手紙をいただいた。



しかし、一つ一つのメッセージを渡して終わりではもったいない。そこで、私はGoogle keepに保存していくことにした。Google keepは山口県の林健広氏に教えていただいた。

次に、Google keepの良いところを記載する。



1 あまりメッセージを渡せていない児童が分かる

やはり勉強の苦手な児童、気になる児童にばかりメッセージを渡してしまいがちになる。一学期はその差が明確になってしまった。Google keepに保存をすることによって、誰に何枚渡したのかが分かるため、大きな差が生じることも防ぐことができる。

2 そのまま所見に使える

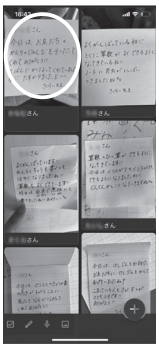
日々の様子を細かく記録しておくことによって、所見を書くときに役立ってくれる。子供・保護者は喜び、自分の仕事にも使える。まさに一石二鳥である。

3 テキスト抽出機能

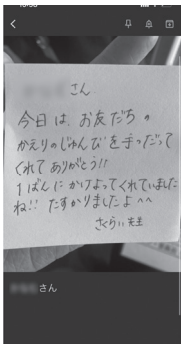
この機能は、島根の太田政男氏から教えていただいた。

画像を自動で読み込み、画像に書かれたテキストを抽出してくれる。つまり、所見で使うときに、コピペも可能となるのである。

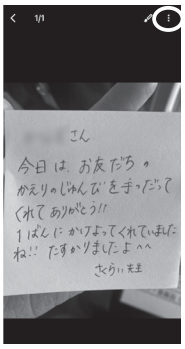
まず、画像を児童個人のファイルを選択する。



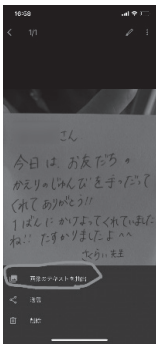
次に、テキスト抽出をしたい画像を選択する。



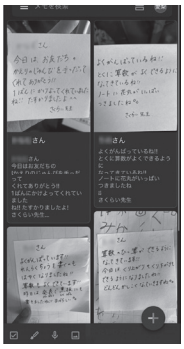
画面右上の「…」を選択。



「テキストを抽出する」を選択。



簡単にかつ速く画像のテキストを文字化してくれる。



デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

TOSS 授業技量検定
指　導　案

自分の関心の地続きにある事柄をテーマに

テーマが宙に浮かないために。

元横浜市小学校教諭
渡辺（わたなべ） 喜男（よしお）

1　テーマが宙に浮いていないか

授業技量検定でしだいに級が上がっていくと、テーマについて悩むことになる。

「現代的な課題」「新たな問題提起」、そんなことが頭をよぎっていくのだ。

すると、目新しい事柄、耳目を集める事柄に飛びつきたくなるのだが、そんなテーマは地に足がついていないことになりがちである。

それは、自分の関心や教室の実践・授業から離れた「宙に浮いたもの」で、その場限りのものなのだ。

2　そもそも、検定指導案や授業にかけるモチベーションが保てない

授業技量検定の指導案づくりや授業づくりは、息の長い取り組みである。

そんな息の長い取り組みでは、「これが最先端だ」「すごいネタだ」といった新奇さでモチベーションを保つことなど、なかなかできない。

すぐに息切れしてしまう。

3　自分の関心の地続きにある事柄をテーマに　1

では、どのようにテーマを選んでいったらよいのか。

それは、自分の関心の地続きにある事柄をテーマにすることだ。これなら、無理なく、自然に、息長く追究していくことができる。

私の場合、初めての検定のテーマ決めの際に最も関心があったのは、「環境問題」だった。

そして、最初につくり上げたのが、

「食品ゴミとリサイクル」

という授業だった。

その授業を皮切りに、一年に一つ授業をつくっていった。

「プラスチックゴミとリサイクル」

「豊かさを維持する知恵」（江戸時代の植林がテーマ）

「大気の歴史」（二酸化炭素と地球温暖化がテーマ）

である。

こうやって見ると、一つの関心において、テーマが「芋づる式」につながっている。

4　自分の関心の地続きにある事柄をテーマに　2

実は、「大気の歴史」の後の検定のテーマは、「環境」ではない。

その時期、私はサークルをもとに、ＮＰＯを立ち上げようとしており、そちらに関心を向けざるをえなかったのである。

授業は、そんなＮＰＯの可能性を取り上げたものだった。

「キャリア教育に『社会貢献』の視点を（ＮＰＯを職業に）」

である。

これも、自分の関心の地続きになっているものである。

ぜひ、自分の関心を大切にして、テーマ設定を行っていただきたい。

TOSS保険でトラブル解決！
事件例

子供を学校に来させない保護者への対応

回答：TOSS顧問弁護士　中井光（なかい ひかる）
構成：南舞衣（みなみ まい）　TOSS弁護団事務局

休みの日に子供同士でトラブルがあり、保護者から「解決するまで学校には行かせない」と言われました。「学校に来させてください」と連絡をしても、欠席する状況が続いています。学校としてどのように対応すればいいでしょうか。

中井弁護士の回答

学校に行かせる義務は保護者にあります。保護者はどのような事情があったとしても、基本的には子供を学校に行かせなければいけません。これに対し、保護者に対して学校に行かせるよう要求する権利をもっているのは子供です。学校に権利があるわけではありません。学校にあるのは、あくまでも、子供が学校に来たときにきちんと学習できるように状況を整える義務です。教師がきちんと子供のことを見る、教室に本人の席がきちんとあるといった状況を整えなければなりません。

教育の主役は子供です。これに応じる義務は第一次に保護者が負い、第二次として学校側が負います。

とはいえ、このような保護者に対して何も働きかけをしなくていいわけではありません。学校としては、あくまでも子供のために学校教育を行うという職務があります。予定や行事を伝え、お子さんを学校に来させてくださいという働きかけは必要です。

原因となっている子供同士のトラブルについては、本当にメンタルをやられるような状況であれば、別室を用意するなどの対応を保護者に伝えることです。

また、保護者が学校に子供を行かせない場合は、育児自体を放棄しているネグレクトの危険もあります。虐待を受けていると思われる場合、早急に児童相談所に通告しなければなりません。

次回の事件簿。回答は、次号。

高校一年担任です。担任しているクラスの女子生徒が妊娠していることが分かりました。相手は交際している同じクラスの男子生徒です。このような事態が起きた場合、学校としてはどのような対応をすればいいのでしょうか。

TOSS教職員賠償責任保険

保護者とのトラブル、同僚とのトラブル、管理職とのトラブル……
裁判になる前から弁護士に相談できるシステムでトラブルに対応します。
保険料は、年間6,380円です。**1日たった約20円**で教師人生を守ってもらえるのです。

TOSS保険

TOSS教職員賠償責任保険ホームページ　https://tosshoken.com/

イラスト：木村雄介

文を長く書く

「授業は面白く、かつ知的でなければならない。いつもうまくいくものではないが、勉強して工夫すれば、今までとちがった授業になってくる。」向山氏の言葉である。向山実践には、子供たちを熱中させるための技術が詰まっている。

北海道浦河高等学校　上田浩人（うえだひろと）

「先生がこれからする動作を作文にしなさい。できるだけ長く書きなさい」と言って廊下に出た。

戸を開けて、教室の中央で子どもたちをみた。

「これだけです。さあ書きなさい」と言った。子どもたちは、「エッ!」と言ってぽかんとしていた。

島崎敬子「先生がドアをあけて教室に入って来て、電気をつけて明るくしてから、みんなの前に立ってから電気を消した。」

この作文は上等の方であった。他の子はもっと短かった。しかし島崎のノートに私はDをつけた。こんな程度ではしかたないのである。

（『教え方のプロ・向山洋一全集22』明治図書）

「先生がこれからする動作を作文にしなさい。できるだけ長く書きなさい」と指示する。

何をしたら良いかをシンプルに伝える。授業の原則一〇カ条の一つ、「簡明の原則」である。子供たちは「この後、先生は何をするのだろう」と思い、教師に注目する。

次に、廊下に出たり、戸を開けたりする。子供たちは教師の行動を不思議そうに見ている。

「これだけです。さあ、書きなさい」と指示をする。追試した際、「これだけ?」「何もしてないよ!」などの声が出る。

子供たちの言葉一つ一つに対応することはしない。にっこり笑って、「書きなさい」とだけ言う。

書けたら、ノートを持って来させる。

それぞれ読み上げ、評定をする。読み上げることで、まだ書けていない子供たちへの例示になる。

おそらく、原稿用紙一～二行程度である。「D評定です。」と言い、ノートにDと書く。特に説明をすることはしない。

その後もD評定が続く。子供たちは、二行以下ならばD評定なのだという評定基準を徐々に理解していく。

やがて、CやB評定が出てくる。評定を伝えた後、読み上げる。プロジェクターやテレビに映してもよい。

評定の良いものと良くないものが出ることで、子供たちは何をしたら良いか理解する。授業の原則一〇カ条の一つ、「個別評定の原則」である。

教師がいちいち説明しなくても、「思ったことを書いた方が良い」等のポイントが子供たちに広まっていく。

以降、持ってくる文章のレベルが激変する。大いに驚き、褒めるとよい。

長谷川博之の
圧倒的実践日誌

「やればできる」でなく「やったらできた」である

「良いとこどり」も悪くはない。悪くはないが、密度が低下する分、成果も下がる。徹底的に実践するには勇気と決意が要る。その分、向上的変容の事実が生まれる。「徹底的に」の部分を追究するのが、これからの私の仕事である。

埼玉県吉見町立吉見中学校　長谷川博之（はせがわ ひろゆき）

統計上七人に一人と言われる境界知能児。以前所属していた「発達障害への対応委員会」（四者協）において、ドクターの何人かは「境界知能は発達障害よりも大変な問題だ」と述べていた。

あくまでも集団式知能検査の結果であるが、某中学校の我が学年はグレーゾーンの子供たちが非常に多かった。しかし、そのような集団であっても、県学調の結果を見るに、国語と数学でどの学力層（埼玉県学調は一人一人の学力の変化を小四から中三まで追い続ける）も例外なく向上した。

入学後の授業によって、である。小学校時は県内最下位層にあった集団が、着実に成長している事実がそこにあった。自治体内のある会議で私は堂々と、「ひとえに授業の成果です」と述べた。

国語の伸びの秘訣は何か。幹の部分は、向山型国語の徹底実施である。挑めば挑むほど、奥の深さが見えてくる。深淵（しんえん）をのぞき込むような気持ちになる。それが向山型国語だ。

その国語の時間、秋口になると次々とドラマが生まれた。たとえば一年六か月を経て、初めての「漢字スキルテスト一〇〇点」を取った子供がいる。彼の日記は入学後八か月間平仮名オンリーだった。すなわち小学校の教育漢字がほとんど書けないのだ。それでいて中学校で習う常用漢字で一〇〇点満点を取る。しかも、連続で取る。

例えば同じ月日を経て、初めての「単元テスト一〇〇点」を取った子供がいた。ある小学校ナンバーワンのやんちゃ坊主だ。入学後も授業妨害で複数回指導を受けた。その彼が満点である。

例えば「指名なし発表」「指名なし討論」という、完全に自由意思に任せられた空間の中で、初めて自らの意思で立って発言した子供がいた。それこそ何人もいた。

入学時から歩みを共にしてきた者として、それらの一つ一つに心底感動したものである。

成果が上がるまで続ける、本人のその努力を支え、励まし、時に叱り、喝を入れ……そのような絶え間ない営みの果てにこそ、偽りのない感動が待っているのである。「やればできる」という言葉を慰めのように、あるいはリップサービスのように、何万遍くり返しても、現実は変わらない。

重要なのは、「やったらできた」という人間の事実を、ひとつでも多く生み出し、眼前に示し続けることである。

それが、我々指導者の仕事の根っこである。

「授業の原則10カ条」

講 座

～子供が変わる教師のベーシックスキル～

【解説】授業の原則10カ条「まえがき」(1)

授業がうまくいかない。子供たちの反応が悪い。分かりやすい授業をしたい。そうした声が若い先生方から出ているという。30名もの児童・生徒を上手に教えるのは「思いつき」ではできない。その基盤としての「授業の原則」を解説していく。

東京都・玉川大学教職大学院教授
谷 和樹（たに かずき）

一　教育書の金字塔

「授業のベーシックスキル」が前回で一応完結した。

今回からは「授業の原則一〇カ条」の解説を始める。「授業の原則一〇カ条」とは向山洋一著『授業の腕を上げる法則』の第一章に掲載されている一〇の原則のことである。

同書には一九八五年初版の明治図書版『授業の腕をあげる法則』と、二〇一五年の学芸みらい社の『新版 授業の腕を上げる法則』がある。内容はほとんど変わらないが、新版では時代の変化に合わせた修正や加筆が行われている。この連載では学芸みらい社の「新版」をもとに書きすすめる予定である。

『授業の腕を上げる法則』は日本の教育出版界におけるベストセラーであり「ロングセラー」セラーでもある。出版から四〇年近いが、すでに一〇〇版をはるかに超え、今も読まれ続けている。教育書のまさに金字塔といってよい存在だろう。

こうした著名な本には、その本の内容に対して賛成・反対にかかわらず、教職に就く者は目を通しておくべきである。

二　授業技術論と授業上達論

この本は、書名にあるとおり「授業の腕を上げる」ことをうたっている。つまり、教師の「上達論」である。上達論について、四〇年前に語っていた本は皆無であった。

かつ「すぐに役立つ」「即効性のある」授業技術が書かれている本でもある。「技術」をそのように紹介した本も、それ以前には皆無であった。

令和の今、こうした教育技術や原則的な考え方は、ネット上で発信している「教育系インフルエンサー」といわれる方々によっても紹介されている。そうした方々が書いた書籍も出版されるようになった。

その多くは、源流をたどればこの『授業の腕を上げる法則』等の向山洋一の書籍群の影響を、たとえ間接的にでも受けているように私には感じられる。

三　どうすればうまくなるのか

『授業の腕を上げる法則』の「まえがき」で向山氏は語る。

> まず何をしたらよいのか。次にどうするのか。それをどのくらいすればよいのか。
> その結果、どの程度の技量が身に付くのか。

今、「探究型」といわれる授業方法が話題になっている。私もそれは大切だと考えている。

しかし、その一方で教師の専門職としての「授業技術」とはどのようなものであり、どのようにして上達させていくのかといった基本的な専門性の向上が等閑（とうかん）になっているなら問題である。若く未来のある教師たちが教室で生き生きと躍動してほしい。そのためには、まず「授業の原則」をしっかりと学び身に付けることが大切である。

私の教師道

TOSS授業技量検定五段

法則化を去ろうと思ったとき

「失敗や間違いは誰にでもあることです」

TOSS Kids浜松きらりタウン教室　高山佳己（たかやまよしみ）

▼私は、向山洋一氏と同時代に生き、教育技術の法則化運動に参加できてつくづく良かったと思う。

二〇代、向山著作、法則化関連書籍を読み、数えきれないほど追試をした。サークル通信、法則化論文、学級通信を量産した。再現し、書くことはそれだけで力になった。合宿に参加し、盟友 杉山裕之氏はじめ、多くの仲間と語り合った。

三〇代、教室実践に磨きをかけた。「まちづくり教育」に没頭する。

四〇代、授業技量検定に次々と挑戦。一方で、学校づくりが視野に入る。大塚の教育と吉永順一氏の海浦小学校への強烈な憧れがあった。

五〇代、教頭職。親守詩、子ども観光大使などの社会貢献活動を通して、国会議員、県議たちと連携。補助教材問題、教材採択の正常化・公正化にも動く。

五九歳、午前五時間制と椿原正和氏の校内研修講師招聘に道筋を付けて、早期退職。教師人生に悔いはない。

▼三九歳。私の生き方を変えた大きな出来事があった。

私は、向山氏に謝罪の手紙を認（したた）めた。それで法則化を去ろうと思った。ほどなく、向山氏から一枚の葉書が届いた。

「拝見しました。失敗や間違いは、誰にでもあることです。今回のことが、高山君の『学び』となり、一層、深みのある教育実践をつくっていく糧となるよう願っております。　向山洋一」

一枚の葉書が私を救った。この四年後、「人にやさしい街づくり実践」を冊子にまとめた。これが向山氏の目に留まり、浜松で「まちづくり教育シンポジウム」全国イベントの事務局長を仰せつかった。

向山氏の葉書の言葉は、私が、子供たちにも、まわりの人たちにも、かかわるときの大きな指針となっている。

▼四八歳。「庭園都市」の授業で、授業技量検定三段を認定されたときのことである。懇親会で、「私はもっとまちづくり教育を全国に広めていきたい」とスピーチした。すかさず、向山氏が言った。

「高山君が、まちづくり教育以外の授業をすればいい。そうすれば広まる」

そうなのだ。授業の守備範囲のキャパを広げれば、子供も、人もついてくる。

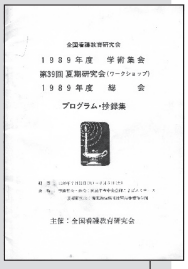
現在、六五歳。TOSS Kids浜松きらりタウン教室を経営し、年中さんから中三までの四〇人の指導。今もなお、鍛えられ充実した道を歩んでいる。

授業力向上に
役立つこの１冊

入院中の病床でも仕事をされた向山氏

看護師の教育研究会に講師の一人として招かれる。

東京都台東区立大正小学校
板倉（いたくら）弘幸（ひろゆき）



「1989年度学術集会　第39回夏期研究会（ワークショップ）1989年度総会　プログラム・抄録集」（全国看護教育研究会）

一　「よく見付けたねえ」

向山氏は冊子を一目見るなり、このように言われた。五〇ページにも満たない研究冊子である。一ページずつめくりながらも懐かしそうであった。

私が「看護教育研究会のときのものです」と話すと、隣の師尾氏が、「え、その研究会、私も一緒に参加している」と言われた。しかも、向山氏が話された内容も覚えていた。

その抄録を読むと、向山氏は病床でも仕事をされていたことが分かる。

向山氏のシンポジウム抄録の末尾に「１９８９年６月24日　病床にて」と記されているからだ。

二　抄録のタイトルの理由を確認する

向山氏のその抄録のタイトルは「教師の腕をあげる」であった。冒頭は概略、次のように続く。

「今、昭和医大外科病棟に入院している。入院して一か月目。腹膜炎を起こし、手術は四時間に及んだ。」

そして本文では、「教える」ということを考え直し、三つの発見について次のように述べている。

ア　ごめんなさいという言葉は人を支える。

イ　約束を守るのは人間関係に大切。

ウ　科学的な見直しは人をやる気にさせる。

このようなことを向山氏は病床で学んだという。

ここで述べた向山氏の学びは、教育技術的な内容というよりも、むしろ人間力のような気がした。だから、タイトルが「教師の腕をあげる」なのかなと、推察した。その点を向山氏に尋ねると、覚えていないとのことであった。師尾氏も「そこまで考えたのではなく、単に教師の腕としたのでは」ということで、私の追究はそこで途絶えた。

三　向山氏が最も参考にしたテーマ

冊子のある一ページ「臨場感を持たせた授業展開」には、向山氏の大量の書き込みが見られた。

とくに、授業分析の内容の小見出し四つに全て、アンダーラインが引かれていた。

① 看護上の問題状況を示す過程
② 解決の模索を示している過程
③ 解決策の結果を示している過程
④ ①～③の過程を解決する過程

これらの四項目は、抄録執筆者の千葉大看護学部助教授の、自身の授業分析である。

この筆者によれば、看護教育とは、看護に必要な医学的・薬学的知識を学ぶ場と人の気持ちや考え方、人との関係のあり方を学ぶ場があるという。臨場感をもたせた授業とは、後者の学びに必要な指導過程を指していることが分かった。向山氏はこの筆者の講演時の内容を、多数書き留めていたと思われる。

さらに、聞いたことだけでなく、他のページの書き込みには、その時に着想したことも向山氏は書き加えている。例えば「看護学の構造を明らかに」の部分では「教育技術の構造・上達論の構造を明らかにする」や「討議を通して解決する」の言葉には「討議」「通して解決」に○囲みがされていた。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

高段者が答える「私が困っていること Q&A」

子供の心に響く語り

「努力する人としない人の分かれ道って?」

回答
山口県下関市立清末小学校
林 健広（はやし たけひろ）

Q 子供たちの心に響く、林先生のおすすめの語りを聞きたいです。

A 好きな本から自分の言葉で語る

自分が読んだ本、旅行の話、宇宙の話、脳の話などを子供たちに話すことが多いです。その中でも曹洞宗の道元が大変好きです。道元の本「随聞記」です。

この本の内容は、よく子供たちに話します。

以下は、卒業間近に子供たちによく話した語りです。

【語り】

道元の弟子にね、懐奘（えじょう）という弟子がおりまして。懐奘が師匠の道元に聞いたわけですね。

懐奘「お師匠様、仏様の道にいながらも、どうして成功する人と成功しない人がいるんですか」

道元「いい質問だな。それはね、どうしてかな。努力するか努力しないかなんだ」

懐奘「あー、なるほど。師匠さん、分かりました」

ところが、次の日です。また弟子が言いました。

懐奘「どうして師匠様、努力する人と努力しない人に分かれるのでしょうか」

道元「それはね、志があるかないかなんだ。志がある人は努力をする。志がない人は努力をしないんだ」

懐奘「分かりました。お師匠様」

ところが、次の日です。

懐奘「お師匠様、まだ分かりません。どうして、志がある人と志のない人に分かれるでしょうか」

道元「それはね、大変いい質問だ。それは自分がいつか死ぬと分かっているかどうかなんです。死ぬと分かっている人は志があり、死ぬと分かっていない人は志がないのです。死ぬと分かっているから志をもち、志あるから努力し、努力するから成功するんですよ」

林先生は、今こうやって偉そうに喋ってますけど、先生も初めての人生なんだ。初めての人生を一生懸命生きてるんだよ。先生もいつか死ぬんだ。死ぬと分かってるから志をもち、努力し、そして人生死ぬ前に成功したって思いたいんだ。じゃ、みんな国語の準備をしましょうか。

このような話を卒業式前にしました。卒業式や同窓会などで、子供たちがいい話だったと言ってくれました。

デジタル版 DIGITAL 動画を見ることができます!

新時代の学校物語 69

令和六年の幕開け

敬愛大学教育学部特任教授
全国連合小学校長会顧問
向山行雄（むこうやまゆきお）

一　平成の時代も遠くなりにけり

龍安寺は、仁和寺の二王門前のなだらかな「きぬかけの路」を上り、金閣寺へ向かう途上にある。一四五〇年、戦国大名細川勝元が創建。昨年、その子孫の細川護熙元首相が、龍のふすま絵を完成させた。禅寺に、龍の雄姿はよく似合う。

二〇二四年という四で割り切れる年は、閏年でありオリンピックイヤー、そして米国大統領選挙がある。令和六年、辰年の始まりである。

港区南青山のブランドショップ街に、名門港区立青南小学校がある。正門横に、卒業生中村草田男の句碑。

降る雪や明治も遠くなりにけり

昭和六年、草田男が大学生の時に、母校を訪ね、詠んだ句である。間に大正期の一五年間を挟みつつ、若い感性は、見もしなかった明治を「遠い昔」と表現した。

令和の時代も五年が過ぎた。前の御代「平成」も、「遠くなりにけり」の実感をもつ人が多いことだろう。

私は、本誌二〇一九年四月号に「平成の世の終焉」として文章を寄せた。「『平成の世はどうだった?』という問いに、『災害の多い時代だった』と答える人は多いだろう。……その答えを否定しない。確かに、地震、津波、洪水、火山噴火、大雪などの災害はあった。未だに不自由な生活を余儀なくされている人が多数いることも事実だ。

しかし、私は『平成の時代は災害が多かった』という印象は違うと思う。人々の印象にあるのは、今上陛下と皇后さま（注　現・上皇上皇后両陛下）が、各地の被災地を献身的にお見舞いに行幸されたからだ。もう一つ、メディアの進歩により、災害の詳細が津々浦々まで、繰り返し伝えられるようになったからだ。

百年後の人々は、平成の時代は戦乱も殺戮も疫病の大流行も、米のとれぬ大干ばつも無い平和な時代だったと思うだろう」

新型コロナ、疫病流行八か月前の文章である。

二　注目の台湾総統選挙

今年は台湾総統選挙。中国は、米国と台湾で行われる選挙動向や国内の治安を虎視眈々と分析している。

習近平は、二〇二一年十一月十一日

の中国共産党中央委員会第六回総会で四〇年ぶりの「歴史認識」を発表した。そこで、「台湾問題を解決し、祖国を統一することは、我が党の代えることのできない歴史的任務」として、台湾支配を宣言した。

二〇二二年十二月の読売新聞社と米国ギャラップ社の日米共同調査。

○中国が今後、台湾に軍事侵攻するか
「思う」　日本六一％　米国五六％
「思わない」日本三一％　米国三三％
○米国は台湾を防衛すべきか
「思う」　日本七二％　米国四八％
「思わない」日本一八％　米国四五％

米国内では、台湾支援についての国論は分かれる。

日本最東端の与那国島と台湾の距離はわずか一一〇㎞。東京から熱海、東京から高崎、東京から水戸とほぼ同じ距離だ。

台湾有事になったら、横須賀を基地とする米国第七艦隊のロナルドレーガンを旗艦とする空母打撃軍が行動する。しかし、空母打撃軍は、敵ミサイル攻撃の大きな射的目標になりやすい。それを避けるために、ミサイル圏外の後方からの行動にならざるを得ない。

その際に、我が国の沖縄から連なる先島諸島防衛をどう構築するか、日本国民は大きな試練を課せられている。

三　未曽有の危機に備える

現行の学習指導要領、小学校社会六年。「グローバル化する世界と日本」「我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行なったりしていることを理解すること」と述べる。

この内容の具現化として、これからの時代の教育をどう実践すべきか。例えば次のような検討が必要である。

○「平和な世界の実現」の不安定要素として、領海侵犯を繰り返す中国やロシアの動きをどう扱うべきか？
○日本領海を目がけてミサイル発射を繰り返す北朝鮮の行為をどう扱うか？
○「地球規模で発生している課題」の例として、例えば、ウクライナ戦争など「武力による紛争」をどう扱うべきか？
○我が国の「国際協力」の一つとして、「日米安全保障条約」を扱うべきか？
○自衛隊による「抑止力」を扱うべきか？　小学生には必要ないか？

政府は、二〇二二年十二月十六日、今後一〇年間程度の外交・防衛の政策の指針となる「国家安全保障戦略」などの三文書を閣議決定した。

文書の一つ「国家防衛戦略の要旨」の「防衛上の課題」で「自国を守るためには、力による一方的な現状変更は困難であると認識させる抑止力が必要で、相手に侵略させないようにする意思を抱かせないようにする必要がある」と記述する。

社会意識調査によると、有事の際に「自分の国を守る」との回答は、回答参加七十余か国中、ダントツの最下位。この調査結果を、周辺国はほくそ笑んで分析している。「平和ぼけ」の日本人の意識を覚醒させないと、子供や孫の時代、我が国の存立は危うくなる。

特別連載

老いの効用

私が一番輝いていた時。

関西外国語大学
教授兼学長補佐
西阪 昇（にしさか のぼる）
nobonisi@kansaigaidai.ac.jp

一 久しぶりに会った息子からの一言

半年ぶりくらいに会った息子が、開口一番言った言葉。

「白くなったなぁ」

はじめ、何のことを言われているのか分からなかったが、ああ髪の毛のことかと分かり、少しショックを受けた。自分ではそんなに感じていなかったが、久しぶりに会う息子にはよく分かったようだ。後で、撮られた写真を見ると、確かに白髪が目に付く。

そのほか、手足や腰が定期的に痛くなる。動作が鈍くなる。人の名前が思い出せない。同じミスをまたしてしまう、などなど。人生の黄昏を感じさせる例は枚挙にいとまがない。

また、私の両親はともに認知症を患った。皆いつか行く道、明日は我が身であるが、じたばたしてもしようがない。

二 あの日に戻りたいか？

私の大学の講義で学生たちに「私が一番輝いていた時」という題でレポートを作成し、発表してもらうことがある。

自分のこれまでの人生での頑張りなどを振り返り、自分という存在を再認識して、これから歩む人生について考えてもらうためである。

圧倒的に多いのは、「中高の部活や習い事で、練習などが大変つらくやめたくなったこともあったが、仲間と励ましあって目標に向かって頑張ったことが今も印象に残っている」ということである。

そういう意味で、部活は学校生活で大きな意味をもっている。教員の働き方改革の観点から、部活の地域社会への移行が議論されているが、生徒たちの多様な活動を推進する面では、部活を学校から安易に切り離すのは問題が多いと思う。特に、経済的に恵まれない子供たちの活動が狭められる点が心配である。また、学校が座学での学力中心のところという意識がより高まり、「学校が楽しくない」という子供が増えないであろうか。この議論は慎重にする必要があると考えている。

その他は、大学受験を頑張ったことなどをあげる学生もいるが、大学での今が一番輝いているという意見も結構ある。これまでは決められた勉強だったが、大学では自分の学びたいことを自分で選び学べ、目標に向かって頑張っている今の姿がいいということで

ある。

この授業の最後に、松山千春さんの「物語」という楽曲を紹介することにしている。この歌は、恋人とけんか別れしてしまった過去を振り返る女性が主人公の歌であるが、次のような歌詞がある。

「あなたを愛して過ごした毎日
私が一番輝いていたわ」
「あんなに誰かを愛したことはない
もちろん今でもこの先も多分
けれどもあの日に戻りたくはない」

学生たちが、この歌をどのように受け止めているかは分からない。これからの人生、思うようにならないこともあろうが、それも受け止め、希望をもって輝いて生きていってほしいと思う。

三 年を取ってよかったこと

私も若くはつらつとした頃に戻りたいという気持ちもあるが、最近は、年を重ねた今の自分が落ち着くようになってきた。

なぜだろうか。

年を取るということは死に近づくということである。否応なくそのような認識を受け止めると、物事がいろんな面から見られるようになるからであろうか。そのことで何事にも寛容になれる。ある意味いいかげんになったということでもあるが。また、自分という存在が、他者とは異なる一個の確立した個人というより、周りの世界との境界もあいまいな存在のように感じることもある。

自分中心の見方、考え方から、自分も大きな世界の中の一つの存在という観点から物事が見られるようになれば、生きることの息苦しさも楽になる。

四 自分という存在

年を取れば自分というものがよく理解できるようになるのではと思っていたが、自分のことはいつまでも分からないものである。

作家の平野啓一郎さんは、近代西洋社会で確立された「個人主義」から、対人関係や環境ごとに分化した異なる人格の総体を自分ととらえる「分人主義」を唱えることで、自分を全否定や全肯定しないしなやかな人間の見方を示してくれた。

また、生物学者の福岡伸一さんは、「私たち人間は、個体レベルでみれば、生から死に向かう一個の生物体であるが、細胞や分子レベルでみれば、常に死と再生を繰り返して変わっている動的な存在で、その意味では、ダイナミックに動いていることが生命の本質だ」と論じている。

人生百年時代といっても、私たち個人はいつかこの世からいなくなる。しかしながら、人類という種、あるいはもっと大きく地球の生命体というレベルでは、常に生命は引き継がれているといえる。その生命の連鎖の一つに私たちもいる。

若い人たちにバトンを渡しつつ、今しばらくは伴走していきたいと思う。

イラスト：水川　勝利

人間の原理・原則を教える「TOSS道徳」

向山氏の目は、授業の向こうにある「国家のあり方」を見据えていた。

兵庫県洲本市立安乎小学校　堀田（ほりた）和秀（かずひで）

道徳が教科になって、六年が経つ。

「考え、議論する」道徳授業が主流となり、教科書教材をどのように議論させるのかが、教材研究の中心となっている。

私も、教科書を活用した議論型の授業をたくさんつくってきた。

その一方で、向山氏の次の主張を忘れたことはない。

> 道徳の授業では何よりも人間の生き方の原理・原則が教えられるべきである。

みんなで議論するのではない。人間としての生き方を、教師が「教える」のである。

しかも、「力のある資料」を教師の「体験・知見に支えられた語り」で進行するという授業スタイルは、向山氏が提唱したTOSS道徳以外にはない。

向山氏は、道徳の指導法だけではなく、カリキュラムについても言及されている。

> 道徳というのは何と何でどのような区切りをつけてその内容は基本的にどう変化していくのですか。

では、「原理・原則とは何か」ということが問題となる。

そうした授業をするためには、次の三つは不可欠である。

> A　力のある資料
> B　力のある授業
> C　体験、知見に支えられた語り

人間の生き方の原理・原則とは何か。

それをくわしく述べると一冊の本になるが、結論からいうと次の五つである。

> 一　相手のことを真剣に考えよう
> 二　弱いものを大切にしよう

向山論文

なぜ「道徳」が必要なのか
どのような「内容」を授業すべきなのか

> このような根本的な問いに答えることこそ、最重要な問題なのである。
> そして、これは「教育」の根幹にかかわる問題であり、日本という「国家のあり方」とかかわる問題なのである。
> （中略　堀田）
> 私の主張は、次のようにまとめられる。
>
> 道徳の授業では何よりも人間の生き方の原理・原則が教えられるべきである。

三　人のためになることをしよう
四　まず自分のできることをしよう
五　人の生き方に学ぼう

この五つのことは、くり返しくり返し学ぶべきである。

小さい時から、教育されるべきである。

いかなる国であっても、このような「人間としての生き方」は、教えられて育つ。

（中略　堀田）

ＴＯＳＳ道徳が提起するのは、「授業すべきことを授業せよ」ということである。

「つまらない道徳」を「面白い道徳」にしようという努力も大切であるが、私個人は全く関心がない。

そんなことより「子どもの時にぜひとも授業すべきこと」を「授業する」ことの方が一〇〇万倍も関心がある。

それこそ日本の教育に欠落していたことであるからだ。

では、「子どもの時にぜひとも授業すべきこと」とは何か？　それこそが大問題なのである。

適当に内容を見つくろえばいいというものではない。

「いいこと」を全部入れればそれで良しというものでもない。

「ぜひとも授業すべきこと」は何かなのである。

「あまり多くのことを教えることなかれ。しかも教えるからには徹底して教えよ」ということなのである。

私は山のように書を積み上げ、自分の体験を整理、ようやく五つの原則に整理した。今の私にできるせいいっぱいのことである。

（『教室ツーウェイ』明治図書、二〇一四年三月号）

（『「社会的規範」を考える道徳教育の提唱』向山洋一　明治図書　五七頁）

この中で向山氏は、「小さい時にこそ正しいことは正しいと教えなければいけない」と主張されている。

ピアジェやコールバーグの発達理論によると、「他者のことを考えることができるのは一〇歳ごろからである」ことが分かっている。

つまり、幼児期から小学校低学年のうちは、議論させるよりも「正しいことを正しいと教える」ことを優先させるほうが、効果的なのである。

そして、小さい時に教えられた行動規範をもとに、小学校中学年以降から徐々に「議論型の道徳」を増やしていく。

これは、道徳教育の「Ｋ12」と言っても過言ではないだろう。

「考え、議論する」道徳が主流になった今も、ＴＯＳＳ道徳が提案してきた授業群は決して色褪せることはない。

「正しいことは正しい」と教える。

そんなＴＯＳＳ道徳の授業群を、私たちはこれからも継承していく。

TOSSで学んでいたから、今が楽しい

郵便教育出前授業講師・トレーナー育成研修会、がんばりました。

株式会社
騒人社　師尾（もろお） 喜代子（きよこ）

郵便教育の「手紙の書き方体験授業」に関わる仕事を一五年前から担当してきた。テキストの作成、セミナーの運営をし、郵便局の方々とも挨拶させてもらうことが多くあった。

児童・生徒に「手紙の書き方」を教え、手紙文化を継承したいと教育現場や日本郵便とも強い思いで推進してきた。

一三年目を迎えた昨年度は全国二万校の小学校の七〇％がこの体験授業を実施するまでになった。

さらにこの教育を進めるために、郵便局の方が出前授業をする講師育成の動きをつくっている。

郵便教育だけでなく、味の素株式会社やヤマキ株式会社など食育の出前授業や研修に関わってきた経験があるということで、私に声がかかった。

出前授業システムをつくることには興味があった。

指導コンテンツと演習ワークシートや指導案、台本があれば、ＴＯＳＳ退職者ならだれでも指導できると想定して「講師育成指導セット」をつくった。

講習はＴＯＳＳ退職者が担当するということで話は進んでいたが、社内で講師育成をしていきたいと方針が変わり、システムをつくった私が講師をすることになった。

六月、名古屋ＪＰタワーでの六時間の「出前授業講師育成研修会」については九月号で報告した。

やっと涼しくなった十月、旗の台ＴＯＳＳアネックスからオンラインで全国の郵便局の支部の方一八名が希望し、講師を育成するトレーナー育成研修会の二回目を実施した。

オンラインの研修会で、模擬授業し、コメントまでできるようにしてほしいとの要望だった。

さすがに希望して参加された郵便局の方々は、その場で指名されても、授業シナリオを手に子供に話すように模擬授業をし、コメントも様々な視点で発言してくれた。三時間の研修を無事終えることができた。

日本郵便のＨＰにあるコンテンツを使って授業をしたいという希望者が多く、私がどのように授業するかも紹介した。

地域の学校にＴＯＳＳの指導法で、郵便局の方が出前授業をしてくれることを願っている。

ＴＯＳＳ退職者の活躍をＴＯＳＳ－ＳＮＳ・Facebook・YouTubeなどで目にすることが多くなった。私も騒人社を足場に発信している。

退職者は皆、「ＴＯＳＳで学んでいたから、今が楽しい」と口をそろえて言う。

向山洋一の
日常から学ぶ仕事術

速報！「令和の教師」の授業力向上のために

日本教育技術学会後援 授業力向上セミナー東京ご案内（令和6年2月22日㈭）

特定非営利
活動法人 TOSS　美崎 眞弓（みさき まゆみ）

岩切洋一先生（東京都練馬区立大泉西小学校長）が企画されたセミナーが開催される。

林四郎先生、向山行雄先生、谷和樹先生が登壇される。

「若手教員は日頃から、誠実な姿勢で勤務しています。しかし、自ら優れた実践を創造しようとする積極性にはやや欠ける面もあり、各種教育研究団体等に参加して学ぼうとする姿勢が乏しいという指摘もあります。また、各教育研究団体もとかく自分たちの枠内での活動にとどまり、かつてのような、他の教育研究団体との教育論議はあまり行われていないのが現状です。

今後、多面的な議論により優れた実践を創造していくうえで非常に由々しきことだと考えます。このような現状をふまえて、異なる主張をもつ実践家が集い、令和の時代に在るべき教師像やそのための授業力の向上について協議する場を設けました。

是非、ご来場をお待ちしています」

と、セミナーの企画意図を岩切先生からお聞きした。

【要項】

1　開催日時
令和6年2月22日㈭
13時45分～16時45分

2　会場
練馬区立大泉西小学校
練馬区西大泉4－25－1

3　参加費　無料（定員50名）

4　講師
林四郎氏（お茶の水女子大学客員教授・全国小学校理科研究協議会顧問）
向山行雄氏（敬愛大学特任教授・全国連合小学校長会顧問）
谷和樹氏（玉川大学教職大学院教授・日本教育技術学会会長）

5　内容
⑴授業公開
①算数（低学年）田代勝氏
東京学芸大学付属大泉小学校
②理科（中学年）水本和希氏
横浜市立高田小学校
③社会（高学年）森友弥氏
練馬区立大泉西小学校
⑵授業別3分科会
⑶シンポジウム（林氏　向山氏　谷氏　進行・岩切）
「『令和の教師』の授業力向上のために」

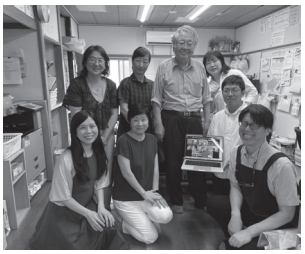
6　申込先
練馬区立大泉西小学校
電話（03）3925－5832
〈担当：副校長 和歌恭子〉

【TOSSの郵便教育】

20年を超えるTOSS郵便教育。毎年手紙の書き方の動画撮影をしている。動画出演者の鈴木恭子先生との撮影現場

【10月の向山洋一先生】

向山先生は新卒時代、学期ごとに研究授業をされていたそうだ



散歩の途中で研究所に寄られた向山先生と研究所メンバー

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

お地蔵さまのような、お母さんのようなベテラン女性教師

いつもにこにこ笑って朝礼台に座ってみんなを見守っていた安心感。

京都府京都市立深草小学校　安江 愛（やすえ あい）

1　お地蔵さまのような存在

二四歳の時に初任だった。その時、かっこいいなあと思った先生は五〇代後半だった。

休み時間になると、運動場に必ずその先生の姿があった。運動場に置いてある朝礼台に〝ちょこん〟と座っていらっしゃった。大きな麦わら帽子を被って、ずっとにこにこ笑って鬼ごっこやドッジボールを見守っていた。

その先生のクラス遊びを見守るだけでなく、全校児童が見守られていた。まるでお地蔵さまのように。その先生は六年生の担任であったが、一年生の子供たちからも頼られていた。怪我をしたり、喧嘩をしたりしたら、朝礼台のところに走っていけば必ずその先生がいるという安心感があった。

四月、学級が始まったばかりの時期には、運動場で一緒に遊ぶ担任の姿をよく見る。しかし二学期になり、行事や生徒指導で忙しくなったら、運動場から担任の姿が消える。その先生は、一年中ずっと子供たちのそばにいらっしゃった。本当にいつも運動場の朝礼台に座って、にこにこしている姿が今でも目に焼き付いている。

2　最後の子供への寄り添い

当時はマラソン大会があった。学校の外まで出て、校区をぐるっと走って戻ってくる行事である。学年ごとに行っていた。

その先生は、学年で最後に走る児童に寄り添って、スタートからゴールまで一緒に走っていた。

走ることが大嫌いな私は、「先生すごいですね。しんどくないですか」と聞いた。五〇代後半の先生が走っていることに驚きしかなかった。その先生は、「学年で体育が大嫌いな子、苦手な子に寄り添えなくなったら、教師やめようと思ってんねん。歩いてもええやん。一緒に歩いて、ゴールしてあげたいねん。退職するまでこうしてたいわ」とおっしゃった。

私が見たのはマラソン大会での姿だけ。でもおそらくその先生は教室でも、どんな教科でも、苦手な子供に寄り添う先生だったのだと思う。

3　若手教員のお母さん

当時、その先生とは同じ学年ではなかった。私が二年生担任の初任者。その先生は六年生担任。ほとんど仕事での関わりはなかったのに、とにかく話しかけてくださった。初任の時、私はよく体調を崩していた。元気がなくなるたびに、気にかけてくださっていた。その先生に「大丈夫。大丈夫。何とかなる。安江ちゃんなら大丈夫」と笑顔で言われると、何もかも大丈夫な気がして救われた。若手を優しく受け入れてくれていた。職場のお母さん的な存在だった。

そういうベテランの先生が職場にいたら、辞めたいなんて思う若手教員は少なくなるだろう。

オーダーメードで参加できる冬休み親子わくわく教室

参加者が参加したい講座に選べる形になっているため満足される。

岐阜県岐南町立西小学校　堂前（どうまえ）貴美子（きみこ）

1 たくさんの講座の中から自分が参加したい講座に参加できるシステム

愛知には、各教科のスペシャリストがいる。その先生方に冬休み親子わくわく教室で講座を行ってもらっている。

これまでに実施した内容は①英語　②漢字文化　③工作　④音楽　⑤書き初め　⑥親学　⑦なわ跳び　⑧理科実験　⑨絵画である。その中から参加者が参加したい講座を三つ選ぶ。

たくさんの講座の中から選べる形でとても嬉しかったです。

と感想をいただいた。参加者にも喜ばれ、愛知の先生方が活躍できるシステムになっている。

2 全体で集まる講座を入れる

全体で集まる講座も入れている。

「英語を楽しもう」は、会の冒頭に入れている。児童同士が初めて会った人たちと楽しく関われるようにゲームの要素を強くしている。

「ご当地観光チャレランで遊ぼう」では、愛知の子ども観光大使が活躍する。実際に、子ども観光大使が考えたチャレランを体験してもらっている。愛知県の事や子ども観光大使講座の取り組みを知ってもらう貴重な機会になっている。

3 たくさんの参加者に来ていただく計画的なプラン

どんなに素敵な内容の子どもTOSSデーを開いても、参加者が少ないと寂しい。

私の冬休み親子わくわく教室の情宣プランである。

八月　講師を募集して、講座決定。チラシ作成完了
九月　後援申請書類を提出
十月　後援申請許可書が届き、各学校にチラシを郵送

計画的に子どもTOSSデーに取り組んでいくことで、開催する二か月前にチラシを郵送できる。その結果、たくさんの参加者に来ていただき、講師が達成感を味わえる。

学校だけではなく、地域の「できた」「分かった」というかわいらしい笑顔に出会うためにこれからも取り組み続ける。

教育コミュニティ　1月号　■CONTENTS■

【連載】
1．TOSS キッズスクール日記……下川善史
2．学校でのビジネスマナー……大場寿子
3．子ども観光大使活動報告……許 鍾萬
4．NPO TOSS予定表（主なセミナーなど）
【特別コンテンツ】
●TOSSの2大イベント　TOSS冬合宿！
今年の「TOSS冬合宿2024」について、申込方法や内容、2023のようすなどをご紹介いたします。

■教育コミュニティ WEB　閲覧方法
①PC・スマートフォンでアクセス
http://kc.tiotoss.jp
②あとは見るだけ、読むだけ、コメントを書き込むだけ！

『教育コミュニティ』とは、1994年に創刊された『ジュニア・ボランティア教育』誌を前身とし、2014年3月にリニューアル創刊した、教師の社会貢献活動を支える雑誌です。2019年4月号より、『教育トークライン』と合体し、ウェブ展開をスタートしました。

場面緘黙の子供が活躍する学級

大人しく問題も起こさないため放っておかれることの多い場面緘黙の生徒が、学級で欠かせない存在となるための3つのアプローチ。

宮城県白石市立福岡中学校　川村（かわむら）　護（まもる）

「二年一組、午後の文化祭も頑張るぞー！」

場面緘黙のA子が合唱コンクール後の指名なし発表でクラスに対して檄を飛ばした。

A子は四月、道徳の題材の朗読もできなかったのである。

1　日記指導と学級通信

A子が、変わるきっかけとなったのが、日記である。自己表現をするためのツールとして、日記は最適であった。時間をかけて文章を考えられるためである。自己開示が始まり、「発表できない悔しさ」や「もっと成長したいという気持ち」を綴った。

私は日記の内容を本人に了承を得て学級通信に載せる。

それらの日記を読んだ他の生徒がA子の気持ちを理解し、A子が発表する時に温かい雰囲気がつくられるようになった。

2　指名なし発表の練習

四月から、帰りの会に簡単な指名なし発表の場をつくってきた。テーマは、「好きな動物とその理由」などである。

A子には、昼休みに「今日のテーマは○○だから、考えておいてね」と声を掛けておく。A子は、瞬時の対応を苦手としているためである。

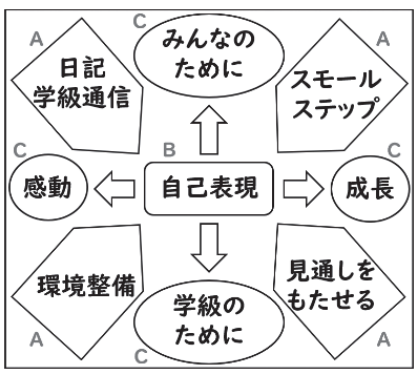
現在では、先に伝えておかなくとも、発表できるようになっている。A子自身から「（伝えなくても）大丈夫です」と言ってきた。

3　意図的な席替え

A子は、発言できたとしても、考えてから言葉にするまでに時間がかかる。それを待てる生徒の存在が最初は必要だと考えた。そのためA子のことをしっかりと理解している生徒を意図的に隣にした。

まず、ペアでの意見交換ができなければ、全体への発表などできないのである。

図のAの働きかけが、Bの自己表現につながり、Cのような事実に現れるようになったのである。



谷編集長の評定

A

場面緘黙の子の変化がすばらしい。この1～3の手順がどの子にも適用できるとは限らないとしても、参考にはなる。

共に教育を語る仲間がいると、教師修業は何倍も楽しくなります！
授業の腕を上げたい先生、子供が熱中する授業をしたい先生は、ぜひTOSSサークルにご参加ください。TOSSサークルウェブページから、各地のサークルを検索できます。

向山・谷日記

向山日記

十月七日㈯　品川「くまざわ書店」で本を買い、「すし好」でお昼。その後、アネックス一階からオンラインで、三島で開かれた社会科セミナーの挨拶。

十月八日㈰　両国で開かれた算数セミナーに参加。挨拶をした。楽しかった。懇親会は、築地「すしざんまい」。恵理子、ケニアへ出発。

十月十一日㈬　原稿チェックと向山日記の執筆。

十月十二日㈭　夕方から中央事務局会議。全国から五〇名参加。会議後、リアルに出席された先生方一八名と木曽路で懇親会。

十月十三日㈮　広尾「おくむら」で昼食後、「明治屋」で買い物。「明治屋」のオーナーは中学の友人。

十月十四日㈯　立川の島村校長先生の学校でセミナーに参加。恵理子、ケニアから帰国。

十月十六日㈪　夕方からアネックス一階で、向山塾「わいわい」に参加。楽しかった。ミニ定規について話をした。

十月十八日㈬　青年事務局、一五人。懇親会は「鵬龍」。

十月二一日㈯　理科セミナー、オンライン。

十月二三日㈪　品川のくまざわ書店と「すし好」。「すし好」は人気のお店で、昼一時なのに満席。

十月二六日㈭　板倉先生、師尾先生、向山の三人会。浅草「みよし」で。ゲストは、元サントリー宣伝部の小野さん。向山よりはるかに年上だが、企画を持参してこられた。

十月二八日㈯　両国で開かれた英語セミナーに参加。挨拶をした。懇親会は、築地「ちゃんこ江戸沢」。

谷日記

十月一日㈰　ずっと関わってきた学生サークル和が一五周年。記念セミナーとパーティーを開催してくれた。一つの区切り。

十月二日㈪　谷ＧＩＧＡセミナー。ＴＯＳＳ大阪主催。

十月三日㈫　5min.アンサー収録、デジタルチーム会議、『Wedge』の取材。すべてオンラインで三連続。

十月四日㈬　小平第一小の校内研で、二年生の生活科を参観。主任は千葉教諭。新百合ヶ丘に移動して正進社の教材関連会議。

十月五日㈭　米ラトガース大日本人研究者からオンライン取材。日本のＩＣＴ教育について。

十月七日㈯　エネルギー・社会セミナー静岡。いずれも盛況。社会では向山氏の探究型を紹介した。

十月八日㈰　大阪に移動して谷道徳セミナー。教科書教材介入が毎回好評。

十月九日㈪　谷企画会議。

十月十日㈫　大学実習指導後、熊谷で長谷川副代表と飲む。話題は多岐にわたり、実に有意義だった。

十月十二日㈭　中央事務局会議。対面一八名の参加。全国からオンラインで五〇以上の案件を検討。一時間で終え、現地は向山最高顧問と懇親会。

十月十四日㈯　立川で学会主催の研究会。子供たちへの授業を検討する。栃木の稲木指導主事や小川晋氏の提案が刺激的。佐藤和紀氏との対談も学びが大きかった。

十月二一日㈯　広島エネルギー！理科セミナー。ＣｈａｔＧＰＴ関連について話す。

十月二八日㈯　英語セミナー両国。玉川大学名誉教授の佐藤久美子氏と。

デジタル・トークライン Digital Talkline

1 今月の 向山洋一教育語録 (動画)

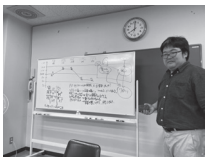
道徳教育を構成する内容として5つの形。
それをこれまでの人類の長い歴史の中から考えるのです。

2 お悩み解決！ 谷編集長の5min. アンサー (動画)

3 高段者が答える 「私が困っていることQ&A」動画版

4 大成功の 絵画工作授業 (本誌4・5ページ)

5 サークル紹介動画



6 本誌掲載論文の 関連カラー画像

※このマークのあるページは、デジタル・トークラインに連動コンテンツがあります！

7 トークライン 本誌 PDF データ

本誌の PDF データのダウンロードができます！ スマートフォン・タブレット・PCでいつでもどこでも読むことができます。

※デジタル・トークラインは3か月限定公開です！

ID：TL1　　パスワード：y3i692

『教育トークライン』2月号
予告　1月15日発行

特集　子供たちが次々に発言する授業

谷　和樹　長谷川博之　松崎　力　水本和希
許　鍾萬　太田政男　桑田和彦　松島博昭
佐藤智彦　塩谷直大　吉原尚寛　堀田和秀
林　健広　小嶋悠紀

教育トークライン：第565号
編集人：向山洋一
編集：谷和樹（編集長）、長谷川博之（副編集長）、
手塚美和、小嶋悠紀、松島博昭、塩谷直大
板倉弘幸（校正）、田村純子（編集実務）
発行人：向山洋一
発行所：教育技術研究所、TOSS
〒142-0064 東京都品川区旗の台2-4-12 TOSSビル
電話：03-3787-6564
FAX：03-5702-2384
印刷所：株式会社　光陽メディア
編集協力：株式会社　友人社
DTP：株式会社　明昌堂

編集後記

▼本誌六五ページ。高山佳己氏がまちづくり教育に熱心に取り組んでいた姿を思い出します。高山氏への向山氏の言葉が衝撃的でした。「高山君が、まちづくり教育以外の授業をすればいい。そうすれば広まる」高山氏はその言葉をうけて、守備範囲のキャパを広げるべく様々な活動をされてきました。その後も数々の実績をあげています。（手塚）

▼教師は、日々、創意工夫の連続だと考えています。現役時代の最後の二年間、今までと全く性質の違う子供たちと出会いました。その子たちを前に、「今までの方法の全てに疑問をもち、この子たちに合うものを探し続けること」を重要視しました。創意工夫は、まさに「子供の姿から出発する」。これも向山氏からの教えでした。（小嶋）

▼めあてや掲示物が必要かどうか、太田学級の子供の事実が教えてくれます。並木校長の「学校で違っていいこと・そろえたいこと」の三指針は簡潔明瞭、参考になります。堂前貴美子氏の冬休み親子わくわく教室は、システムに工夫と配慮が見られます。川村論文では、場面緘黙生徒の変容が実に見事でした。（板倉）

TOSSセミナー アンケート広場

【9.23 TOSS高校セミナー】

衝撃の声が綴られたアンケートが満載でした。
高校セミナー、私もまた参加したいと思います。

【10.7 社会セミナー　静岡】

マニアックなイメージの社会セミナーですが、
分かりやすかったという声を多数いただいています。

TOSS代表
谷 和樹

※TOSS セミナーに寄せ得られたアンケートの中から、TOSS 代表 谷和樹が自ら選んだ回答をご紹介するコーナーです。
※いただいたアンケートは適宜抜粋させていただいています。あらかじめご了解ください。

●TOSS高校セミナー（九月二三日）

【水野正司・北海道】

（二二二字略）京都府立清明高等学校のシステムに度肝を抜かれました。谷先生が日本の学校教育は「2～30年遅れていることは確かだ」と言われていましたが、日本にもこのような高校があるという事実に勇気をいただきました。私は子育て世代のお母さんお父さんたちに紹介させていただきます。（三三六字略）長谷川先生、なんと昨日の教室の映像が見られるなんて！なんて贅沢な！そしてその高い峰！私には分析できません！問いを立てることが生徒をこんなにも熱中させるのか。そして、そのことを「一人も取り残さない授業」として実現できるのか。この二つの疑問に答えた映像を見せつけられたわけですが、私には分析できませんでした。高い峰です。しかし、高校の授業はここを目指していかなければならないのでしょう。そのイメージを見ることができた参加者は幸運だったと思います。（一五四字略）

★高校の先生方の素晴らしい実践が、日本の教育をいわば牽引していくのだと考えています。元気になる感想、感謝です。（谷）

【下釜秀・長崎県】

上田先生の講座に大変感銘を受けました。なんと素晴らしい高校生の事実、高校教師だけでなく、全ての教師が目指すべき姿だと感じました。向山先生や長谷川先生のご実践を踏まえた、とんでもなく素晴らしい実践だと思います！私の目の前の中学校現場でも追試します！（二四四字略）

長谷川先生の授業は、いつも興奮します。考えたくなる、発表したくなる展開に引き込まれます。国語の授業でも道徳の授業でも。今日の授業も頭の中がずっとアクティブになっていました。昭和型から令和型へ。長谷川先生の授業映像を見て、自分がどんな授業を目指しているのか考えさせられます。どんな授業を目指すべきなのか。どんな力を身に付けさせるべきなのか。一教師として探究し続けます。（一三一字略）

★子供の事実で語ることのできるTOSS中高の先生方の発表。多くの先生方に広げていきたいですね。（谷）

【梅田昌孝・和歌山県】

第一回は何かある。確かに違いを感じたセミナーになりました。まず、勢いがある。奥村先生・仙石先生・岡先生。MLへの発信やオープンチャットでの活躍がめざましい先生のエネルギーあふれる授業に圧倒されました。特に、奥村先生のロシア・ウクライナ戦争の授業。地政学の見方・考え方を教えていく授業で最先端の実践だと思いました。自分も高校時代にこの授業を受けていれば、世界史が好きになっていただろうと思いました。次に、衝撃的だったのは、長谷川学級の映像。寝転びながら授業を受ける。動画のどこを切り取っても生徒の発言。こんな授業を見たことがありません。（二九六字略）

★アンケートを拝読して、高校の先生方の実践を、私ももっと勉強したいと思いました。（谷）

●TOSS向山型社会セミナーin静岡　（十月七日）

【藤橋研・東京都】

向山先生が向山学級での討論の授業における初歩のステップを解説してくださった。書籍等にも出ている情報でもご本人がおっしゃるとイメージが全く違う。子供が書いた意見を、名前を読んで様々な言葉で褒めていく。それがあってこそ討論ができる。手順だけを追えば、討論のような形にはなるが、活発な討論にはならない。自分の意見に自信をもち熱中しているからこそ、活発な討論をすることができるのだと学ぶことができた。（二二五字略）谷先生の講座を受けて個別最適な学びの概念が変わった。真の個別最適な学びは教師の圧倒的な知識量なくしては成立しない。今まで自分が捉えきたものとの次元が違いすぎた。K12、探究、個別最適・・・そのベースにあるものをTOSSで修業を続けて身に付けていきたい。

★向山先生の解説に会場がどよめきましたね。教師修業には果てがないとつくづく思います。（谷）

【林田純・千葉県】

K12の視点、学び方について3時間とは思えないくらい膨大な情報が提供されたと感じました。小学校から、高校までの学習指導要領を比較した経験もなく、構造が同じだということも初めて知りました。向山先生の言葉で向山学級の様子、必要な初歩の指導の話を伺えたことは貴重だったと思う。探求学習に向けて、様々な指導過程が提示された。言葉の定義を行うことが大切なのかと思った。QAでは12すべての質問を時間内ですべて的確に回答する講師の先生方のすごさを感じました。自分の予想とは全く違いました。向山先生の工業地帯の授業、雪国の授業は改めて今に通じる授業を行っていることを感じました。子どもの感想がシンキングサイクルにのっかっていることに驚きました。（六五字略）

★向山先生の社会科授業は今で言うところの探究型の授業そのものだという気がしますね。（谷）

【大木貴寛・埼玉県】

頭がパンクしています。やりたいこと、やらねばならないこと、やってみたいことが、先生方の講座を受けながら、次々と頭に浮かんできました。非同期型のセミナーでしたら確実に再生を停止して、頭の中を整理して、という作業を何度も行っていたことかと思います。それができないからこその緊張感があり、今も整理できていない状態です。向山先生のご挨拶が最大の学びでした。自分の意見を持つ。意見をノートに書く。班で話し合う。全体の中で話し合う。この4つのステップを、まずは意識して授業改善に努めて参ります。さらりと仰っていましたが、「どんなことでも褒める」今の私に欠けていたものだと感じました。谷先生も仰っていましたが、「手柄は子どものもの」明日の部活動から意識して行動していきます。

★今回も密度の濃い社会科セミナーでした。「さらり」と向山先生は言われますよね。でも、そのイメージは奥深いです。（谷）

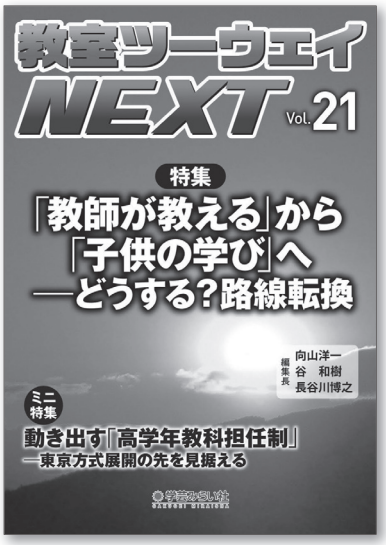
1月

株式会社 学芸みらい社
〒162-0833 東京都新宿区箪笥町31番　箪笥町SKビル3F
TEL:03-5227-1266 FAX:03-5227-1267
E-mail:info@gakugeimirai.jp　HP:https://www.gakugeimirai.jp/

新刊・既刊のご案内

弊社オンラインショップはこちら➡

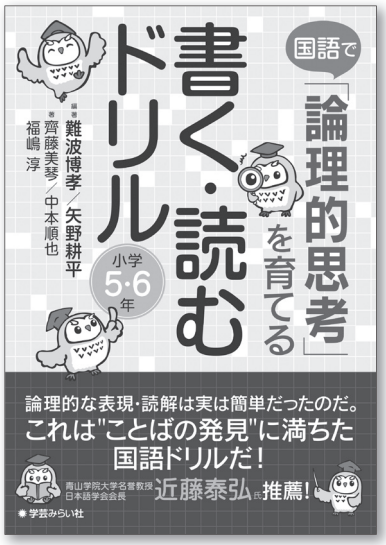
1月 新刊



教室ツーウェイNEXT 21号
特集＝「教師が教える」から「子供の学び」へ
――どうする？路線転換

教室ツーウェイNEXT 編集プロジェクト(編)
A5判並製／144ページ／1,760円

「教師が教える」から「子供の学び」への転換にどう対応するか。数々の研究結果・実践例と共に、自由進度学習やSTEAM、けテぶれ、生成AIの授業活用についても紹介。
教育界を牽引する著者陣が、子供中心の学びにおける“教師の立ち位置”を提案する。



国語で「論理的思考」を育てる 書く・読むドリル 小学5・6年

難波博孝・矢野耕平(編著)
齊藤美琴・中本順也・福嶋淳(著)
B5判並製／120ページ／2,420円

中学受験のパイオニア・矢野耕平氏、国語教育研究の第一人者・難波博孝氏が監修。教科書には学び方が掲載されていない国語学習の核となる「真の論理的思考」が身につく国語ドリル！コピーすることで授業だけでなく自学プリントとしても使える1冊。

樋口万太郎(著・共著) 最新刊／好評既刊

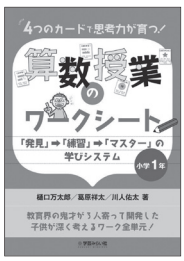
樋口万太郎(著)／モリジ(イラスト)
学校組織の中でトラが吠える 最強の生き方改革
B6判並製／162P／2,530円
教師1人1人が組織の中でどう生きるかを問う。

タブレット算数授業って面白い！ 子供と共有するスキル105

樋口万太郎(著)／モリジ(イラスト)
A5判並製／128P／2,530円
算数授業がグーンと面白くなるスゴ技を大公開!

学習者端末 活用事例付 算数教科書のわかる教え方 1・2年

石井英真(監修)／樋口万太郎(著)
A5判並製／144P／2,530円
「つまずく子ども」に目を向けた算数授業の樋口マジック!



4つのカードで思考力が育つ！ 算数授業のワークシート 小学1年
「発見」→「練習」→「マスター」の学びシステム

樋口万太郎
葛原祥太　(著)
川人佑太
B5判並製／168P／2,750円
算数学力の土台づくりが楽しく学べるワークシート。

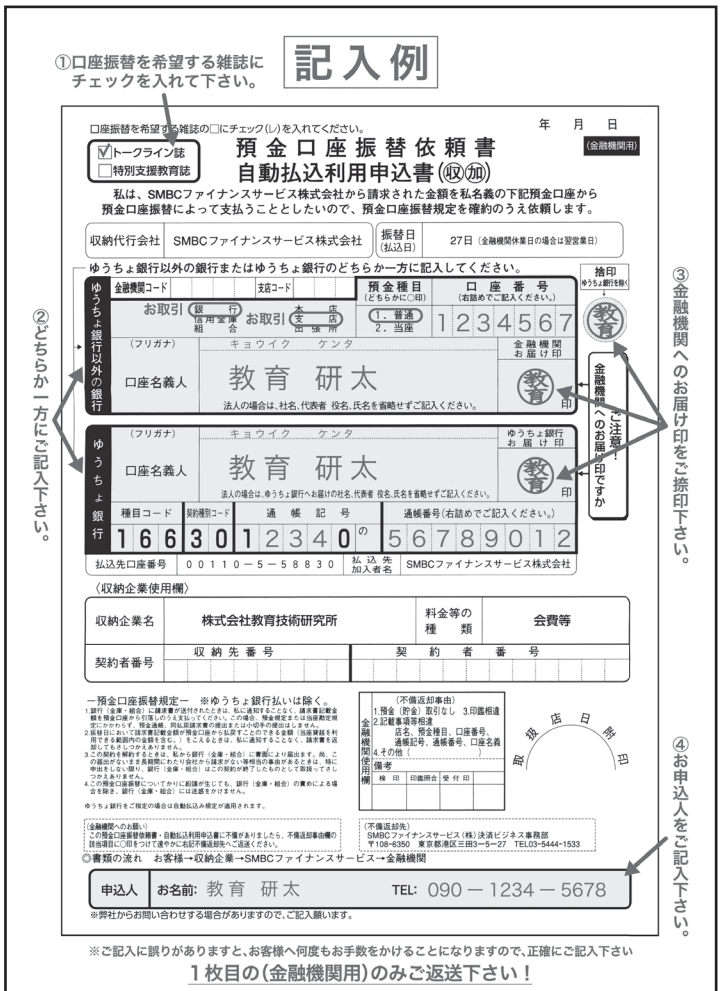
樋口万太郎先生
(イラスト：モリジ)

※定価はすべて税込表示です。

『教育トークライン』誌のご購読

便利な口座振替に切り替えませんか？

購読期間が終了したのに気づかなかった！
忙しくて手続きを忘れてしまった！
そんな声をよく耳にします。
口座振替に切り替えれば、更新忘れを防ぐことができ、
忙しくても更新の手間がかかりません。



預金口座振替依頼書／記入例
（依頼書は TOSS オリジナル教材サイトからダウンロードできます）

★口座振替お申し込み手順★

1、下記サイトの「預金口座振替依頼書」をダウンロードしてください。

https://www.tiotoss.jp/user_data/download_subscription.php

2、ダウンロードした申込用紙に必要事項をご記入していただき、銀行印を捺印の上、ご郵送ください。
※恐れ入りますが、お送りいただく封筒、郵送代はお客様負担となります。

【送付先：〒142-0064
東京都品川区旗の台 2-4-12 TOSS ビル
教育技術研究所宛て】

3、研究所でお申込みを受領して、お申込みは終了です。

ご注意：お申込みいただいてから切り替えまで、２か月ほどお時間をいただきます。更新時期をご確認の上、お申込みください。
また、現在お支払い済みの方は、次の更新での切り替えになります。
書類は切り替え時期まで弊社で保管させていただきますので、ご了承ください。

教育技術研究所
The Institute of Skill Sharing

教師のための教師によるオンラインコミュニティ

TOSS-SNS

2022年3月より
大幅リニューアル！
さらに便利に!!

TOSS-SNSは日々の授業や学級経営についてなど、毎日何でも話せる、オンライン上の会員制教師コミュニティサイトです。2006年の開設以来、のべ数万人の教師による15年以上に渡って蓄積されたダイアリーやコミュニティの書き込みは、とても貴重な教育の知恵そのものです。ぜひご参加お待ちしております!

TOSS-SNSの特長1

会員制サイトなので安心・安全の教師コミュニティサイトです!

教師限定の会員制サイトなので、高い信頼性に基づき運営されています。
日々の教育実践や疑問・悩みなど、安心してやりとりすることができます。

※参加には条件があります。

TOSS-SNSの特長2

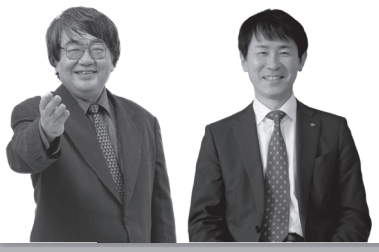
のべ数万名の教師が参加し、活発なやりとりが行われています!

ユーザーのアクティブ率は 70%（日次）を超えています。毎日多くの先生方が投稿やメッセージ、特定のテーマに基づいたグループで積極的に発信しています！

TOSS-SNSの特長3

TOSS代表の谷和樹先生も毎日積極的に参加しています!

日本最大の教育研究団体であるTOSS代表の谷和樹先生、TOSS最高顧問の向山洋一先生をはじめ、全国のTOSS授業技量検定、高段者の先生方が多数参加しています！　リニューアルにより、アプリからのアクセスもさらに速く、便利になりました。



TOSS-SNS 参加条件

①TOSSサークル、または法則化サークルのメンバーであり、活動をしていること※。
②「教育トークライン」を定期購読していること。
「教育トークライン」はTOSSの機関誌です。

※諸事情が生じた場合は、サークル代表の了解をとればよい

新規メンバー募集中!!

https://snsform.toss-online.com/toolsns/shinki/index.php

TOSS-SNSへのご参加には、『教育トークライン』誌のご購読が参加条件となっています!

SNSを更新される際、トークライン番号が必要になりますので、ご準備の上、お手続きをお願いいたします。

教育トークライン 1月号 2024
令和5年12月15日発行（毎月1回15日発行）第505号
発行人：向山洋一　編集人：向山洋一　発行：教育技術研究所
〒142-0064 東京都品川区旗の台2-4-12　印刷所：株式会社光陽メディア

ささエる
わたしが変わるあの子も変わる

『TOSS 特別支援教育』誌と並行して運営してきた「ささエる」が、
2023 年 11 月より、WEB マガジンのみの情報発信が開始に !!

特別支援教育総合 WEBマガジン 「ささエる」

いよいよ 創刊！ 2023年11月

無料記事も多数！
フォローお願いします！
https://sasaeru.info/

ささエるのご紹介

- WEBマガジンは毎週火曜日、2記事ずつUP！
（4ヶ月かけて1マガジンが全て完成するイメージ）
- 無料記事も充実していますが、メンバーシップに登録いただくと全ての記事を読むことができます！

ささエるマガジン第1号テーマ：

「今一度確認したい特別支援教育の基礎基本」

教室の“ちょっと気になるあの子”に本当に効果のあった
こだわりへの対応
特別支援教育の現場で働く先生が、実際に行った効果的な「こだわり」への対応を丁寧にご紹介！

中学校での特別支援
～基本編～
思春期に入る中学生の特別支援教育に特化した記事も掲載予定です。

教室の“ちょっと気になるあの子”に本当に効果のあった
多動への対応
多動の子へ効果のあった OK 対応を実際の事例をもとに解説します。

中学校での特別支援
～部活動編～
中学・高校に欠かせない部活動についてもカバーします！
地域移行への具体的な対応も。

教室の“ちょっと気になるあの子”に本当に効果のあった
二次障害への対応
二次障害は特性に合ったサポートが受けられなかったり、特性に配慮されない環境で生じるストレスや傷つき体験などで引き起こされます。

その他、多数のコンテンツを準備中！
支援に携わる悩んでいる先生方に
参考になる無料記事がたくさん！

※内容は変更になることがございます。予めご了承ください。

<TOSS教材のご注文・お問合せ先>
教育技術研究所
〒142-0064 東京都品川区旗の台2-4-12 TOSSビル
Tel. 0120-00-6564　平日9:30~17:30 土日祝休
Fax.0120-88-2384　24時間 365日受付中!
教育技術研究所 The Institute of Skill Sharing
www.tiotoss.jp

ISBN978-4-910152-74-5
C3437 ¥909E
本体 909 円 ＋税
バーコード

© 2023 TOSS, The Institute of Teaching Skill Sharing. Printed in Japan